

令和4 年度 大久保848号線道路改良工事

工事設計図書
(当初設計)

工事番号

路線名等 大久保848号線

工事箇所 明石市大久保町八木 地内

工 種 道路改良

工 事 費				概 要
	実 施 (前回変更)	今 回 変 更	増 減 額	<ul style="list-style-type: none"> ・作業土工 N= 1 式 ・自由勾配側溝 L=189.9m ・現場打U型側溝 L= 3.2m ・集水桝 N= 6 箇所 ・附帯工 N= 1 式
設 計 額 (内消費税額)	円 (円)	円 (円)	円 (円)	
請 負 額 (内消費税額)	円 (円)	円 (円)	円 (円)	
執行方法	請負	施工日数 または 施工期限	令和5年3月31日	
(起工理由)				

前金払 40%以内
 中間前金払 20%以内
 部分払 1回

特記仕様書

工 事 名 大久保 848 号線道路改良工事

工 事 場 所 明石市大久保町八木地内

工 期 契約締結日の翌日から令和 5 年 3 月 31 日まで

※ただし、本件にかかる予算について、市議会での次年度への繰越承認、国庫補助事業などの繰越承認がなされたときは、令和 5 年 7 月 20 日までとする工期延期を行う予定である。

第 1 条 総則

1-1. 適用

本仕様書は、明石市都市局道路安全室道路整備課が発注する、『大久保 848 号線道路改良工事』に適用する。

設計図書に記載されていない事項は、兵庫県土木請負工事必携（令和 4 年 10 月一部改訂版）、兵庫県土木工事共通仕様書（令和 4 年 10 月一部改訂版）、兵庫県土木工事施工管理基準（令和 4 年 10 月一部改訂版）ならびに、「小型構造物標準図集」（平成 30 年 9 月（第 3 回改訂版）兵庫県土木整備部）（以下、「小型図集」と称する。）によるものとする。（その他追加・改訂通知を含む）

1-2. 設計図書

本工事においては、明石市工事請負契約約款第 1 条に規定するものを設計図書とし、図 1 の構成とする。

設計図書の他に交付する「見積参考図書」とは入札（見積）参加者の適正かつ迅速な見積に資するための資料であり、明石市工事請負契約約款第 1 条でいう設計図書ではない。

従って、「見積参考図書」は請負契約上の拘束力を生じるものではなく、受注者は施工条件及び地質条件等を十分考慮して、仮設、施工方法及び安全対策等、工事目的物を完成するための一切の手段について、受注者の責任において定めるものとする。なお、「見積参考図書」の有効期限は本工事の入札（見積日）までとする。

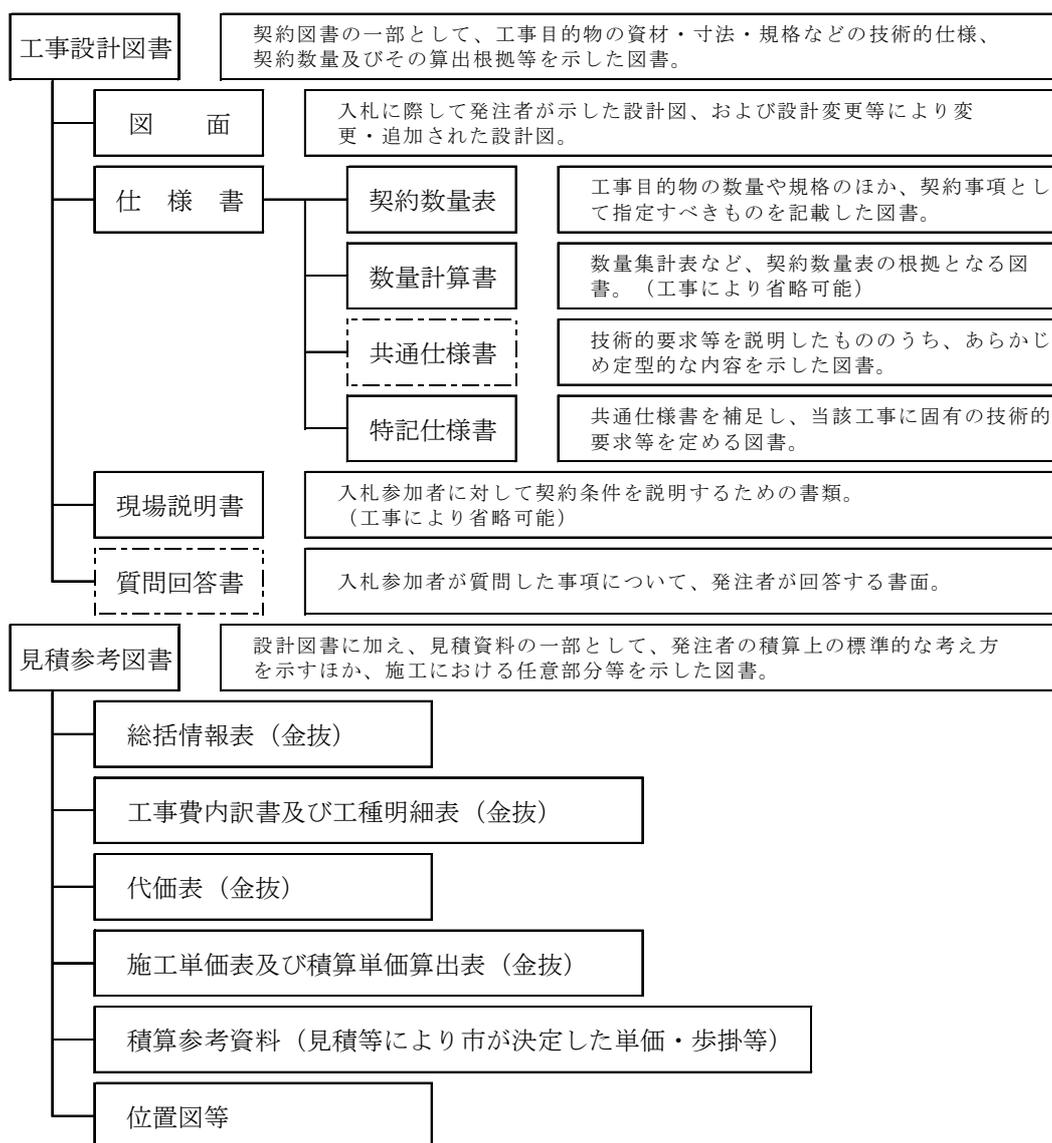


図1 設計図書、見積参考図書の構成

1-3 現場代理人の兼務

本工事は、水道局工務担当が発注する「大久保町八木地内配水管布設工事」と下水道局下水道整備課が発注する「八木家ノ前污水管布設工事」との合併工事である。

本工事については、本合併工事以外の工事との現場代理人の兼務を認めない。

1-4. 施工範囲に関する留意事項

工事内容のうち、現場条件等（現況地盤の状況等）により工事内容を変更する可能性がある。よって、工事着手前に工事内容について監督員の確認を受けるものとする。なお、工事内容に変更を伴う場合は、監督員の指示によるものとし、設計変更の対象とする。

1-5. 設計図書の照査

受注者は、施工前及び施工途中において、自らの費用負担において設計図書の照査を行い、施工条件と工事現場が一致しない等の事実を発見したときは、監督員にその事実が確認できる資料を書面により提出し、確認を求めなければならない。

1-6. 施工計画書

受注者は、工事着手前に施工計画書を監督員に提出し、監督員の承諾を得た後に着手しなければならない。

1-7. 工事カルテ

受注者は、受注時または変更時において工事請負代金額が 500 万円以上の工事について、工事实績情報サービス (CORINS) に基づき、受注・変更・完成・訂正時に工事实績情報として「登録のための確認のお願い」を作成し、受注時は契約後、土曜日、日曜日、祝日等を除き 10 日以内に、登録内容の変更時は変更があった日から土曜日、日曜日、祝日等を除き 10 日以内に、完成時は工事完成後 10 日以内に、監督員の確認を受けたうえ、登録機関に登録申請しなければならない。なお、登録内容に訂正が必要な場合は、工事实績情報サービス (CORINS) に基づき、「訂正のための確認のお願い」を作成し、訂正があった日から 10 日以内に、監督員の確認を受けたうえ、登録機関に登録申請しなければならない。

変更登録は、工期又は技術者に変更が生じた場合に行うものとし、工事請負代金のみ変更の場合は、原則として登録を必要としない。ただし、工事請負代金額が 2,500 万円を跨いで変更があった場合には、変更後の請負代金額に則った登録を行うものとする。

また、登録機関発行の「登録内容確認書」が受注者に届いた際には、その写しを直ちに監督員に提出しなければならない。なお、変更時と完成時の間が 10 日に満たない場合は、変更時の提出を省略できるものとする。

1-8. 施工体制台帳

(施工体制台帳)

施工体制台帳の提出が必要な工事について、受注者は、所定様式 (工事担当技術者) を追加して施工体制台帳を作成し工事現場に備えるとともに、監督員に提出するものとする。なお、様式には監理技術者、主任技術者 (下請負を含む) 及び元請負の専門技術者 (専任している場合のみ) の顔写真、氏名、生年月日、所属会社名を記載するものとする。

下請負に関する契約書の写しは、施工体制台帳に添付するものとし、現地に備え付けるものとする。

(現場の管理)

受注者は監理技術者、主任技術者 (下請負を含む) 及び元請負の専門技術者 (専任している場合のみ) に、工事現場内において、工事名、工期、顔写真、所属会社名及び社印の入っ

た名札を着用させるものとする。

施工体系図は、現地の見やすい場所に掲示すること。

工事関係車両の夜間駐車及び現場外駐車を行わず適切な管理を行うこと。

1-9. 建設副産物

(再生資源の利用の促進)

受注者は、建設副産物適正処理推進要綱（建設事務次官通達、平成14年5月30日）を遵守して、建設副産物の適正な処理及び再生資源の活用を図らなければならない。

1. 提出様式

本工事については、再生資源の活用促進に関する法律に基づく再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を作成するものとする。

なお、再生資源利用計画、再生資源利用促進計画及びその実施状況の記載する様式については、建設副産物対策近畿地方連絡協議会が発行する再生資源利用【促進】計画書（実施書）を使用するものとする。

2. 提出方法

作成した再生資源利用【促進】計画書（実施書）は、1部は自社で工事間完成後1年間保管し、計画書は1部、実施書は1部と再生資源利用【促進】入力システムを用いて作成した実施書を監督員に提出するものとする。

- ・工事着手前：「再生資源利用促進計画書」

施工計画書に計画書を添付する。

- ・工事完成後：「再生資源利用促進実施書」

書面による計画書・実施書及び実施書を竣工図書として提出する。

(ガラ処分について)

1. 本工事は、建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律「建設リサイクル法」に基づき、特定建設資材の分別解体等及び再資源化等の実施について適正な措置を講ずることとする。

2. アスファルト・コンクリートガラは、中間処理(再資源化)とする。

ガラ運搬については処分地まで直接運搬とする。

又、ガラの運搬に際し、シート等にて飛散しないようにし、一般利用者に迷惑のかからないように留意すること。

交通法規を遵守し、特に過積載のないよう管理すること

特定建設資材廃棄物の搬出先は、積算条件として、以下を設定している。

再資源化等をする施設の名称及び所在地等

特定建設資材廃棄物の種類	土砂
施設の名称	田口建材（株）
運搬距離	6.1km
積算数量	130m ³
所在地	明石市大久保町松陰 1126-53
受入等諸条件	県土整備部の「建設副産物の処理ならびに受入価格」に掲載される当該施設の受入条件を遵守すること。
その他	監督員の指示による。

特定建設資材廃棄物の種類	土砂（小規模）
施設の名称	田口建材（株）
運搬距離	6.1km
積算数量	1m ³
所在地	明石市大久保町松陰 1126-53
受入等諸条件	県土整備部の「建設副産物の処理ならびに受入価格」に掲載される当該施設の受入条件を遵守すること。
その他	監督員の指示による。

特定建設資材廃棄物の種類	コンクリート（無筋）（機械）
施設の名称	田口建材（株）
運搬距離	6.5km
積算数量	13m ³
所在地	明石市大久保町松陰字堂屋敷 342-36
受入等諸条件	県土整備部の「建設副産物の処理ならびに受入価格」に掲載される当該施設の受入条件を遵守すること。
その他	監督員の指示による。

特定建設資材廃棄物の種類	コンクリート（無筋）（人力）
施設の名称	明神リサイクルセンター
運搬距離	5.8km
積算数量	0.2m ³
所在地	神戸市西区平野町中津 1337
受入等諸条件	県土整備部の「建設副産物の処理ならびに受入価格」に掲載される当該施設の受入条件を遵守すること。
その他	監督員の指示による。

特定建設資材廃棄物の種類	コンクリート（鉄筋）（機械）
施設の名称	田口建材（株）
運搬距離	6.5km
積算数量	10m ³
所在地	明石市大久保町松陰字堂屋敷 342-36
受入等諸条件	県土整備部の「建設副産物の処理ならびに受入価格」に掲載される当該施設の受入条件を遵守すること。
その他	監督員の指示による。

特定建設資材廃棄物の種類	アスファルト殻
施設の名称	（株）美建
運搬距離	6.6km
積算数量	0.2m ³
所在地	神戸市西区上新地 3 丁目 12-4
受入等諸条件	県土整備部の「建設副産物の処理ならびに受入価格」に掲載される当該施設の受入条件を遵守すること。
その他	監督員の指示による。

上表については、積算条件を明示しているものであり受入施設を指定するものではない。受注者は、県登録施設から搬出先施設を選定し、共通仕様書に基づき施工計画書に含め、監督員に提出しなければならない。なお、受注者の選定した施設が、積算条件と異なる場合においても設計変更は行わない。

ただし、上表の施設が工事発注後に県登録施設からの登録抹消等により受け入れ困難となった場合は、設計変更を行う。

1-10. 段階確認

受注者は、兵庫県土木工事共通仕様書に定める工種については、事前に立会願を監督員に提

出し段階確認を受けなければならない。

1-11. 履行報告

受注者は、工事履行報告書を別添の様式に基づき作成し、工程表及び工事状況写真を添付し、毎月末に監督員に提出しなければならない。

1-12. 工事中の安全確保

(法令遵守)

受注者は、関係諸法規を遵守し、現場内外の安全管理に万全を期し、工事施工に伴う諸手続きは、受注者の責任において関係諸官庁に提出し許可を得ること。

(地下埋設物件の事故防止)

1. 工事の施工にあたって予想される地下埋設物件は、管理者と現地立会のうえ、当該物件の位置・深さを確認し、保安対策について十分打合せを行ない、事故の発生を防止すること。
2. 受注者の責により地下埋設物件に損害を与えた場合は、すみやかに監督員に報告するとともに関係機関に連絡し応急措置をとり、受注者の負担によりこれを補修しなければならない。
3. 埋設物件等の管理者不明のものがある場合は、監督員に報告し、その処置については、占有企業者全体の立会を求め、管理者を明確にしなければならない。その結果、死管の処置を受注者が企業者より依頼を受けた場合には、文書によってその責任を明確にしておかなければならない。

(道路付属物ならびに占有物件の処置)

工事施工のため支障となる道路の付属物並びに占有物件がある場合には、その処置について予め監督員と打合せを行うものとする。

1-13. 環境対策

(低騒音型・超低騒音型の使用)

本工事箇所は、特に生活環境を保全する必要がある地域であるので、施工にあたっては、低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する規定にもとづき指定された建設機械を使用すること。

(排出ガス対策型建設機械)

本工事において下表に示す建設機械を使用する場合は、排出ガス対策型建設機械指定要領に基づき指定された排出ガス対策型建設機械を使用するものとする。

なお、排出ガス対策型建設機械を使用できない場合は、「建設技術評価制度」又は「民間開発建設技術の審査証明事業」により評価された「排出ガス浄化装置」を装着した建設機械を使用することで同等とみなす。

ただし、これにより難しい場合は、監督員と協議するものとする。

上記において、「これにより難しい場合」とは、受注者の都合で調達できない場合を含むものとする。

なお、施工現場において使用する建設機械が排出ガス対策型建設機械であることを確認できる写真を撮影し、完成書類として提出するものとする。

機 種	備 考
<ul style="list-style-type: none"> ・バックホ ・トラクタショベル（車輪式） ・ブルドーザ ・発動発電機（可搬式、溶接兼用機含） ・路面切削機（ホイール式・廃材積込装置付） ・空気圧縮機（可搬式） ・油圧ユニット <p>（以下に示す基礎工事用機械のうち、バースマシーンとは別に、独立したディーゼルエンジン駆動の油圧ユニットを搭載しているもの：</p> <p>油圧ハンマ、ハイドロハンマ、油圧式鋼管圧入・引抜機、油圧式杭圧入・引抜機、アースオーガ、ホルケーシング掘削機、リバースサーキュレシヨントリル、アースドリル、地下連続壁施工機、全回転型ホルケーシング掘削機）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ロードローラ、タイヤローラ、振動ローラ ・ホイールクレーン 	<p>ディーゼルエンジン</p> <p>（エンジン出力7.5kw以上、260kw以下）</p> <p>を搭載した建設機械に限る</p>

1-14. 交通安全管理

（安全対策費）

安全対策については、交通誘導員を計上しているが、道路管理者及び所轄警察署の打合せの結果により変更等が生じた場合は監督員と協議するものとし、設計変更の対象とする。また、条件変更及び受注者にて特に必要と認めた場合は、その対策等について監督員と協議するものとし、設計変更の対象とする。

（安全施設類）

標識類、防護柵等の安全施設類については、現場条件に応じて設置する他、道路管理者及び所轄警察署と打合わせを行い実施するものとする。なお、打合わせの結果又は条件変更等に伴い、道路保安施設設置基準（案）以上の保安施設類が必要な場合、監督員と協議するものとし、設計変更の対象とする。

（交通誘導員の配置）

1. 交通誘導員については、道路管理者及び所轄警察署の打合せの結果に従い適正に配置し、道路使用許可証（警察署提出）を遵守すること。打ち合わせの結果又は、条件変更に伴い員数に増減が生じた場合は、設計図書に関して監督員と協議するものとし、設計変更の対象とする。

なお、交通誘導員 A,B の定義は次のとおり。

交通誘導員 A : 警備業者の警備員（警備業法第 2 条第 4 項に規定する警備員をいう。）で、交通誘導警備業務（警備員等の検定等に関する規則第 1 条第 4 号に規定する交通誘導警備業務をいう。）に従事する交通誘導警備業務に係る 1 級検定合格警備員又は 2 級検定合格警備員

交通誘導員 B : 警備業者の警備員で、交通誘導員 A 以外の交通の誘導に従事するもの。
（交通誘導員の配置）

本工事における交通整理箇所については、作業中は交通誘導員を常時配置するものとし、休憩時等における交替要員を考慮するものとする。

【本工事】

施工内容	編成	昼夜間	備考
現道部以外	交通誘導警備員 B : 3 名	昼間	人数に交替誘導員 1 名含む
現道部（里道）	交通誘導警備員 B : 5 名	昼間	人数に交替誘導員 1 名含む

【附帯工事】

施工内容	編成	昼夜間	備考
附帯工事	交通誘導警備員 B : 3 名	昼間	人数に交替誘導員 1 名含む

（安全教育・研修訓練）

工事現場における安全対策の重要性に鑑み、全工事・全作業員を対象とし、次の各号から実施する内容を選択し、定期的に安全教育・研修訓練を行うものとする。また、実施項目については、施工計画書に本工事の内容に即した安全・訓練等の具体的な計画を作成し、監督員に提出するものとする。

- 1) 安全活動のビデオ等視覚資料による安全教育
- 2) 当該工事内容等の周知徹底
- 3) 土木工事安全施工技術指針等の周知徹底
- 4) 当該工事における災害対策訓練
- 5) 当該工事現場で予想される事故対策
- 6) その他、安全・訓練等として必要な事項

安全教育・研修訓練は、工事期間中月 1 回（半日）以上実施し、監督員に実施状況報告書を提出するものとする。

なお、安全教育・研修訓練に要する必要な費用（労務者の日当）は、現場管理費に含んでいる。

1-15. 諸法令の遵守

（道路法等の遵守）

受注者は、道路法、道路運送車両法及び道路交通法の趣旨に基づき、資材運搬等に必要な車両の諸元について当該法律を遵守しなければならない。

(過積載による違法運行の防止について)

受注者は過積載防止について、その具体的内容を施工計画書に記載するものとする。

(不正軽油の使用の禁止)

1. 受注者は、工事の施工にあたり、使用する車両及び建設機械等の燃料として、不正軽油（地方税法第 700 条の 22 の 2（製造等の承認を受ける義務等）の規定に違反する燃料をいう。）を使用してはならない。
2. 受注者は、不正軽油の使用が判明した場合には、速やかに是正措置を講じなければならない。

(特殊車両通行許可制度の徹底)

道路法第 47 条の 2 に基づく通行許可の確認において、受注者は下記の資料を監督員に提出し、確認を得なければならない。

車両制限令第 3 条における一般制限値を超える車両について

- ① 施工計画書に一般的制限値を超える車両を記載
- ② 出発地点、走行途中、現場到着地点における写真（荷姿全景、ナンバープレート等通行許可書と照合可能な写真）なお、走行途中の写真撮影が困難な場合は監督員の承諾を得て省略できるものとする。
- ③ 通行許可書の写し
- ④ 夜間通行が条件の場合、車両通行記録計（タコグラフ）の写し

第2条 材料

2-1. 適用

(品質規格)

本工事に使用する材料の品質規格は、共通仕様書及び「小型図集」によるものとする。

2-2. セメントコンクリート製品

本工事に使用するセメントコンクリート製品は、共通仕様書及び「小型図集」によるものとする。なお、「小型図集」に示す構造規格を満足する側溝等の使用に当たっては、監督員の承諾を得て使用することができるものとし、それに係る請負代金の変更は行わないものとする。

第3条 その他

3-1. 産業廃棄物管理票

受注者は、本工事で排出される建設廃棄物を現場外に搬出して処理(再資源化施設、積み替え保管場所経由で最終処分)する場合、産業廃棄物管理票(マニフェスト)により、適正に処理されていることを確認するものとする。

3-2. 工事測量

工事着手後直ちに測量を実施し、測量標(仮BM)、用地境界、中心線、縦断、横断等を確認しなければならない。

測量結果が設計図書に示されている数値と差異を生じた場合は速やかに監督員へ報告するとともに、指示を受けること。

3-3. 品質管理

コンクリート構造物に使用するコンクリートの水セメント比は、鉄筋コンクリートについては55%以下、無筋コンクリートについては60%以下としなければならない。

鉄筋のかぶりを確保するためスペーサーを構造物の側面については1㎡につき2個以上、底面については4個以上設置すること。

レディミクストコンクリートの使用にあたっては、品質確保の観点から、「2017年制定コンクリート標準示方書(施工編)」に基づき、工場を選定すること。

3-4. 写真管理

工事写真の管理については、写真管理基準(土木工事施工管理基準)に準じるものとし、デジタル写真で提出する場合は、デジタル写真管理情報基準(案)に準じること。

3-5. 注意事項

- ① 関係各署における各届出書は期限までに必ず提出すること。

- ② 関係機関における連絡は確実に実施すること。特に地元自治会や小学校等において工事のPRを市の監督員と協議し、徹底すること。施工時期、施工方法、施工時間については各関係機関の承諾を得てから施工すること。
- ③ 通学路の安全対策事業を実施するにあたり、通学児童等の交通安全を確保すると共に小学校と密に連絡調整を行うこととする。
- ④ 民地との取り合い部において、隣接者と高さ等の調整が発生する場合は、各隣接者に個別に対応を行うこと。
- ⑤ 各工事中のすりつけ及び段差表示等安全対策は、特に徹底すること。民地や現道とのすりつけは入念に行うものとし、段差が生じる場合には、注意看板の設置や夜間照明等の安全対策を行うこと。
- ⑥ 工事中の仮区画線の明示・工事予告看板の設置を徹底すること。
- ⑦ 本工事の施工上知り得た情報を他人に漏らしたり、利用したりしてはならない。
- ⑧ 各工種においては、現地の状況等により数量変更の可能性があることを認識し、変更が生じた場合は監督員と協議し速やかに対応すること。
- ⑨ 最終の設計変更に伴う資料については、工期の1ヶ月前までに受注者が十分精査したうえで提出すること。
- ⑩ 設計図書に変更が生じた場合や、その他地元協議等によるものも含め変更に伴う測量・施工図面の修正・新規追加及び数量計算については、受注者の負担により行うものとする。
- ⑪ 工事完了時、出来形成果表及び完成図面を紙ベース（1部）並びに電子データにて監督職員へ提出するものとする。
- ⑫ 公共基準点の有無について確認し、監督職員に報告すること。公共基準点の周辺にて施工する場合は、「明石市公共基準点管理保全要綱」に基づき適正に申請及び復元等の処理をすること。
- ⑬ 施工の影響でやむを得ず官民境界標を亡失した場合は、必ず復旧すること。
- ⑭ 安全施設類においては、周辺住民の生活環境への配慮をすること。
- ⑮ 受注者は施工に際し周辺構造物等の保全について十分配慮し、事前、事後の確認を行い、損傷を及ぼした場合は、受注者の責において真摯に対応し、原形復旧すること。
- ⑯ 本工事は、合併工事と共通仮設費、現場管理費、一般管理費の経費調整を行っている。
- ⑰ 本工事の積算で設定した見積単価、見積歩掛等を「積算参考資料」として見積参考図書の巻末に添付している。
- ⑱ 本工事は、合併工事との調整を十分に行い施工すること。
- ⑲ 道路用地と民地との境界杭等のデータは発注者から受注者に提供する。なお、その調査・測量、丁張等に要する費用は共通仮設費率に含まれるものとする。
- ⑳ 本工事は、既設水路から今回工事で設置する自由勾配側溝へ水路系統を切り替え

ることを目的としているが、既設水路から切り替えを行うための工種（自由勾配側溝、集水桝及びVUφ450、VUφ300等）は、令和5年4月30日までに現場作業を完了させること。

- ②1 No.4及びNo.6付近の電柱は移設予定である。関西電力と工程調整を行うこと。
- ②2 集水桝Cへ設置する堰板（角落し板）の費用（材工共）は本工事に含まれているものとする。
- ②3 集水桝C型の構造造については、地権者との協議により変更となる可能性がある。設計に変更が生じた場合は、発注者と協議のうえ、設計変更の対象とする。
- ②4 地中から建物基礎（鉄筋コンクリート）が出てくることを想定し、構造物取壊し（鉄筋）を計上している。現地状況と設計との差が生じた場合は、発注者と協議のうえ、設計変更の対象とする。

契約数量表

	費目・工種明細など	規格1・規格2	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量増減
本工事費						
道路改良						
道路土工						
作業土工						
床掘り			式		1	
床掘り						
埋戻し			式		1	
埋戻し						
埋戻し						
基面整正			式		1	
基面整正						
残土処理工						
土砂等運搬			式		1	
土砂等運搬						
残土等処分			式		1	
処分費						
排水構造物工						
側溝工						

契約数量表

頁0-0002/0008

費目・工種明細など	規格1・規格2	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量増減
自由勾配側溝		式		1	
自由勾配側溝	B:600×H: 700	m		28	
自由勾配側溝	B:600×H: 700 土留め	m		132	
自由勾配側溝	B:600×H: 800	m		23	
自由勾配側溝	B:600×H: 800 土留め	m		5	
側溝蓋		式		1	
コンクリート蓋		枚		190	
集水柵・マンホール工					
現場打ち集水柵		式		1	
集水柵A	800×800×1000	箇所		1	
集水柵B	800×800×1100	箇所		1	
集水柵C	800×800×1000	箇所		3	
集水柵D	800×800×1973	箇所		1	
場所打水路工					
現場打水路		式		1	
現場打U型側溝		m		3	
側溝蓋		式		1	
現場打側溝蓋		m		3	

契約数量表

頁0-0003/0008

費目・工種明細など	規格1・規格2	単 位	数量 (前回)	数量 (今回)	数量増減
構造物撤去工					
構造物取壊し工					
コンクリート構造物取壊し		式		1	
構造物とりこわし工	無筋構造物	m3		13	
構造物とりこわし工	鉄筋構造物	m3		10	
舗装版切断		式		1	
舗装版切断(アスファルト舗装版)	As舗装版厚->15cm以下	m		5	
舗装版破碎		式		1	
舗装版破碎(アスファルト舗装版)		m2		3	
運搬処理工					
殻運搬		式		1	
殻運搬	コンクリート(無筋)構造物とりこわし	m3		13	
殻運搬	コンクリート(鉄筋)構造物とりこわし	m3		10	
殻運搬	舗装版破碎	m3		0.2	
殻処分		式		1	
処分費	コンクリート殻(無筋)	式		1	
処分費	コンクリート殻(鉄筋)	式		1	
処分費	アスファルト殻	式		1	

契約数量表

頁0-0004/0008

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量増減
仮設工					
土留・仮締切工					
アルミ矢板土留		式		1	
アルミ矢板建込引抜工(両側分)					
土留支保工		式		1	
土留支保工(設置+撤去)					
鋼材賃料		式		1	
アルミ矢板賃料					
アルミ矢板整備費(基本料)					
アルミ製支保工賃料(軽量鋼矢板2.5m用)					
交通管理工					
交通誘導警備員		式		1	
交通誘導警備員 B					
舗装					
舗装工					
アスファルト舗装工					
上層路盤(車道・路肩部)		式		1	
上層路盤(車道・路肩部)	粒調碎石 M-25, M-30, M-40	m2		3	

契約数量表

頁0-0006/0008

費目・工種明細など	規格1・規格2	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量増減
附帯工事費(1)					
道路改良					
道路土工					
作業土工					
床掘り		式		1	
床掘り					
埋戻し		式		1	
埋戻し					
残土処理工					
土砂等運搬		式		1	
土砂等運搬					
残土等処分		式		1	
処分費					
排水構造物工					
管渠工					
暗渠排水管		式		1	
硬質塩化ビニル管布設工	径 450mm	m		4	
硬質塩化ビニル管布設工	VU φ 300	m		2	

契約数量表

頁0-0007/0008

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量増減
削孔	300mm用	孔		1	
防護コンクリート	300mm用	箇所		1	
基礎材		式		1	
砂基礎		m3		1	
止壁工					
止壁工		式		1	
止壁1		箇所		1	
止壁2		箇所		1	
止壁3		箇所		1	
止壁4		箇所		1	
土間コンクリート					
土間コンクリート		式		1	
土間コンクリート		m2		6	
構造物撤去工					
構造物取壊し工					
コンクリート構造物取壊し		式		1	
構造物とりこわし工	無筋構造物	m3		0.2	
運搬処理工					

令和4年度

大久保848号線道路改良工事

数量計算書

(本体工)

令和4年10月

明石市都市局道路安全室道路整備課

数量総括表

道 路 土 工

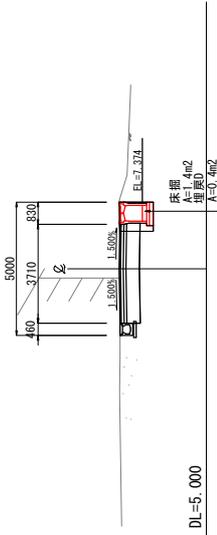
作業土工計算書

測 点	距 離	床掘 (左)			床掘 (右)			埋戻D (左)			埋戻D (右)		
		面 積	平均面積	体 積									
		m ²	m ²	m ³	m ²	m ²	m ³	m ²	m ²	m ³	m ²	m ²	m ³
NO. 0 + 0.000	---												
NO. 1 + 0.000	20.000				1.4	0.70	14.0				0.4	0.20	4.0
NO. 1 + 2.787	2.787				1.4	1.40	3.9				0.4	0.40	1.1
NO. 1 + 17.261	14.474				1.1	1.25	18.1				0.3	0.35	5.1
NO. 2 + 0.000	2.739				1.1	1.10	3.0				0.3	0.30	0.8
NO. 2 + 8.367	8.367				1.2	1.15	9.6				0.5	0.40	3.3
NO. 3 + 0.000	11.633				0.3	0.75	8.7				0.4	0.45	5.2
NO. 3 + 10.766	10.766				1.2	0.75	8.1				0.3	0.35	3.8
NO. 4 + 0.000	9.234				1.3	1.25	11.5				0.5	0.40	3.7
NO. 5 + 0.000	20.000				1.5	1.40	28.0				0.6	0.55	11.0
NO. 5 + 15.461	15.461				1.2	1.35	20.9				0.4	0.50	7.7
NO. 6 + 0.000	4.539				1.2	1.20	5.4				0.4	0.40	1.8
NO. 7 + 0.000	20.000				1.5	1.35	27.0				0.6	0.50	10.0
NO. 8 + 0.000	20.000				1.1	1.30	26.0				0.4	0.50	10.0
NO. 9 + 0.000	20.000				0.9	1.00	20.0				0.3	0.35	7.0
NO. 9 + 9.430	9.430				1.0	0.95	9.0				0.4	0.35	3.3
NO. 9 + 17.558													
NO. 10 + 0.000													
NO. 10 + 5.686													
NO. 11 + 0.000													
NO. 11 + 18.466													
計							213.2						77.8

横断図 (1) S=1:100

NO. 1+2.787 IP.1

GH=8.199
FH=8.237



道路土工	単位	数量
掘削	トブツ	m ²
掘削	土砂	m ²
掘削	コンクリート取返し	m
掘削	コンクリート取返し	m ²

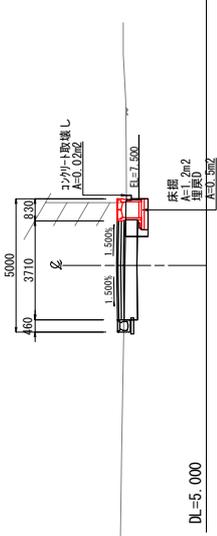
作業土工	単位	数量
床掘	トブツ	m ²
床掘	土砂	m ²
床掘	D	m ²
床掘	炭	m ²

道路土工	単位	数量
掘削	トブツ	m ²
掘削	土砂	m ²
掘削	コンクリート取返し	m
掘削	コンクリート取返し	m ²

作業土工	単位	数量
床掘	トブツ	m ²
床掘	土砂	m ²
床掘	D	m ²
床掘	炭	m ²

BC. 3

GH=8.096
FH=8.332



道路土工	単位	数量
掘削	トブツ	m ²
掘削	土砂	m ²
掘削	コンクリート取返し	m
掘削	コンクリート取返し	m ²

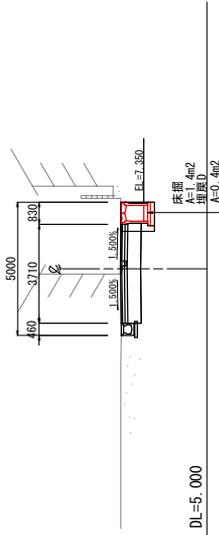
作業土工	単位	数量
床掘	トブツ	m ²
床掘	土砂	m ²
床掘	D	m ²
床掘	炭	m ²

道路土工	単位	数量
掘削	トブツ	m ²
掘削	土砂	m ²
掘削	コンクリート取返し	m
掘削	コンクリート取返し	m ²

作業土工	単位	数量
床掘	トブツ	m ²
床掘	土砂	m ²
床掘	D	m ²
床掘	炭	m ²

NO. 1

GH=8.154
FH=8.224



道路土工	単位	数量
掘削	トブツ	m ²
掘削	土砂	m ²
掘削	コンクリート取返し	m
掘削	コンクリート取返し	m ²

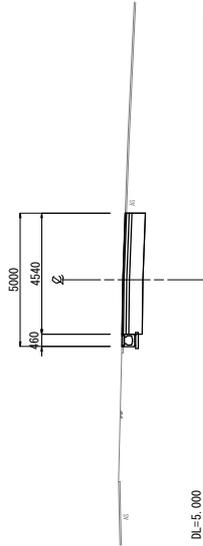
作業土工	単位	数量
床掘	トブツ	m ²
床掘	土砂	m ²
床掘	D	m ²
床掘	炭	m ²

道路土工	単位	数量
掘削	トブツ	m ²
掘削	土砂	m ²
掘削	コンクリート取返し	m
掘削	コンクリート取返し	m ²

作業土工	単位	数量
床掘	トブツ	m ²
床掘	土砂	m ²
床掘	D	m ²
床掘	炭	m ²

BP NO. 0

GH=8.071
FH=8.071



道路土工	単位	数量
掘削	トブツ	m ²
掘削	土砂	m ²
掘削	コンクリート取返し	m
掘削	コンクリート取返し	m ²

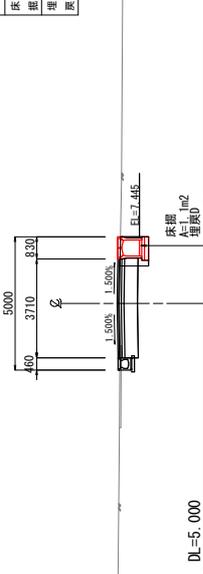
作業土工	単位	数量
床掘	トブツ	m ²
床掘	土砂	m ²
床掘	D	m ²
床掘	炭	m ²

道路土工	単位	数量
掘削	トブツ	m ²
掘削	土砂	m ²
掘削	コンクリート取返し	m
掘削	コンクリート取返し	m ²

作業土工	単位	数量
床掘	トブツ	m ²
床掘	土砂	m ²
床掘	D	m ²
床掘	炭	m ²

NO. 1+17.261 IP. 2

GH=8.232
FH=8.275



道路土工	単位	数量
掘削	トブツ	m ²
掘削	土砂	m ²
掘削	コンクリート取返し	m
掘削	コンクリート取返し	m ²

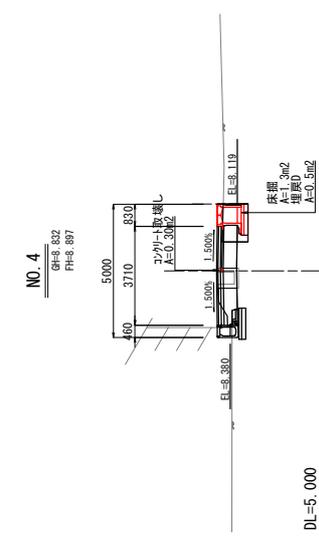
作業土工	単位	数量
床掘	トブツ	m ²
床掘	土砂	m ²
床掘	D	m ²
床掘	炭	m ²

道路土工	単位	数量
掘削	トブツ	m ²
掘削	土砂	m ²
掘削	コンクリート取返し	m
掘削	コンクリート取返し	m ²

作業土工	単位	数量
床掘	トブツ	m ²
床掘	土砂	m ²
床掘	D	m ²
床掘	炭	m ²

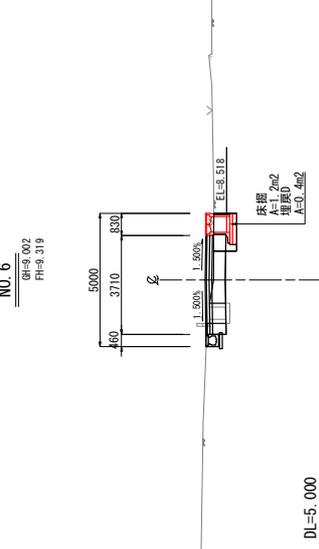
横断面図(2) S=1:100

道路土工	単位	数量
掘削	トブツ	m ²
埋戻	土砂	m ²
コンクリート取壊し	m	0.30



NO. 4
GH=8.822
FH=8.897

作業土工	単位	数量
掘削	トブツ	m ²
埋戻	土砂	m ²
コンクリート取壊し	m	0.5

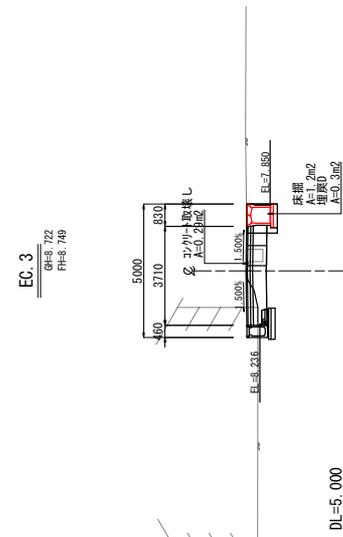


NO. 6
GH=9.002
FH=9.319

道路土工	単位	数量
掘削	トブツ	m ²
埋戻	土砂	m ²
コンクリート取壊し	m	-

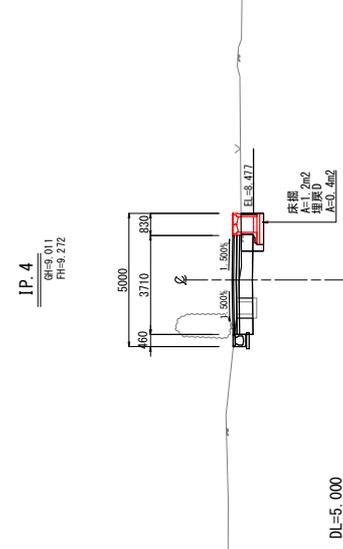
作業土工	単位	数量
掘削	トブツ	m ²
埋戻	土砂	m ²
コンクリート取壊し	m	1.2

道路土工	単位	数量
掘削	トブツ	m ²
埋戻	土砂	m ²
コンクリート取壊し	m	0.29



EC. 3
GH=8.722
FH=8.749

作業土工	単位	数量
掘削	トブツ	m ²
埋戻	土砂	m ²
コンクリート取壊し	m	0.3

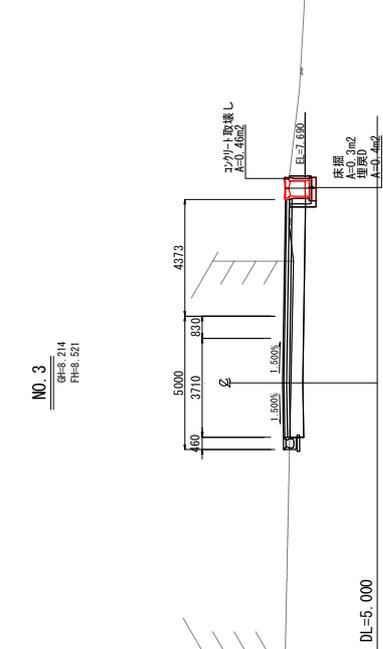


IP. 4
GH=9.011
FH=9.272

道路土工	単位	数量
掘削	トブツ	m ²
埋戻	土砂	m ²
コンクリート取壊し	m	-

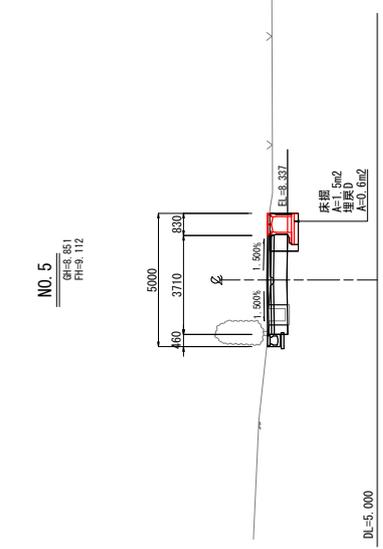
作業土工	単位	数量
掘削	トブツ	m ²
埋戻	土砂	m ²
コンクリート取壊し	m	1.2

道路土工	単位	数量
掘削	トブツ	m ²
埋戻	土砂	m ²
コンクリート取壊し	m	0.46



NO. 3
GH=8.214
FH=8.521

作業土工	単位	数量
掘削	トブツ	m ²
埋戻	土砂	m ²
コンクリート取壊し	m	0.4



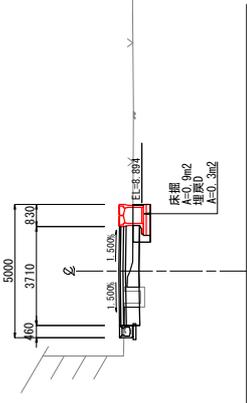
NO. 5
GH=8.851
FH=9.112

道路土工	単位	数量
掘削	トブツ	m ²
埋戻	土砂	m ²
コンクリート取壊し	m	-

作業土工	単位	数量
掘削	トブツ	m ²
埋戻	土砂	m ²
コンクリート取壊し	m	1.5

横断図 (3) S=1:100

NO. 9
GH=9.334
FH=9.750

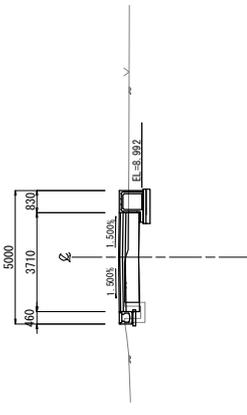


道路土工	単位	数量
掘削	トブツ	m ²
埋戻	土砂	m ²
コンクリート取壊し	m	
コンクリート取壊し	m ²	

作業土工	単位	数量
掘削	トブツ	m ²
埋戻	土砂	m ²
埋戻	D	m ²
戻		

DL=5.000

NO. 10
GH=9.594
FH=9.861

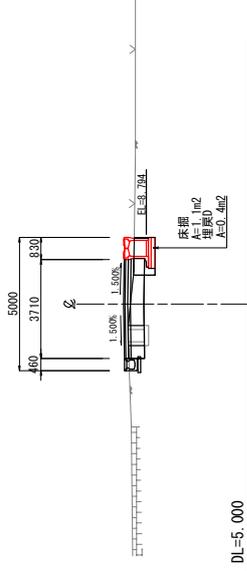


道路土工	単位	数量
掘削	トブツ	m ²
埋戻	土砂	m ²
コンクリート取壊し	m	
コンクリート取壊し	m ²	

作業土工	単位	数量
掘削	トブツ	m ²
埋戻	土砂	m ²
埋戻	D	m ²
戻		

DL=5.000

NO. 8
GH=9.384
FH=9.652

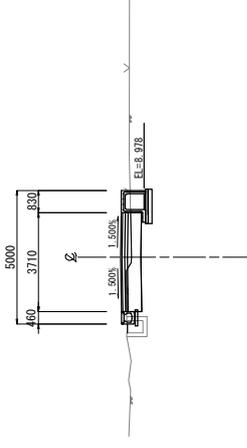


道路土工	単位	数量
掘削	トブツ	m ²
埋戻	土砂	m ²
コンクリート取壊し	m	
コンクリート取壊し	m ²	

作業土工	単位	数量
掘削	トブツ	m ²
埋戻	土砂	m ²
埋戻	D	m ²
戻		

DL=5.000

SP. 5
GH=9.499
FH=9.847

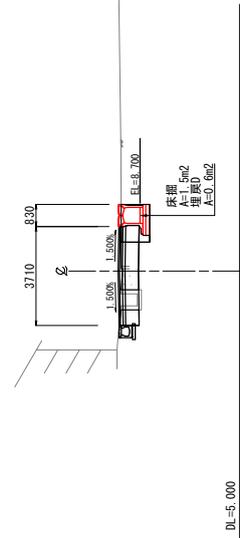


道路土工	単位	数量
掘削	トブツ	m ²
埋戻	土砂	m ²
コンクリート取壊し	m	
コンクリート取壊し	m ²	

作業土工	単位	数量
掘削	トブツ	m ²
埋戻	土砂	m ²
埋戻	D	m ²
戻		

DL=5.000

NO. 7
GH=9.537
FH=9.515

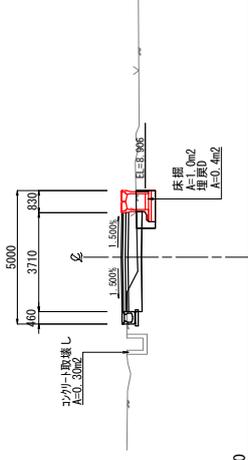


道路土工	単位	数量
掘削	トブツ	m ²
埋戻	土砂	m ²
コンクリート取壊し	m	
コンクリート取壊し	m ²	

作業土工	単位	数量
掘削	トブツ	m ²
埋戻	土砂	m ²
埋戻	D	m ²
戻		

DL=5.000

BC. 5
GH=9.099
FH=9.802



道路土工	単位	数量
掘削	トブツ	m ²
埋戻	土砂	m ²
コンクリート取壊し	m	
コンクリート取壊し	m ²	

作業土工	単位	数量
掘削	トブツ	m ²
埋戻	土砂	m ²
埋戻	D	m ²
戻		

DL=5.000

横断図 (4) S=1:100

EP NO. 11+18.466

GP=9.374
FH=10.075

道路土工		単位	数量
掘削	土砂	m ²	-
埋戻	土砂	m ²	-
コンクリート取直し	コンクリート	m ²	-

作業土工		単位	数量
左	土砂	m ²	-
右	土砂	m ²	-
埋戻	D	m ²	-
取直し	コンクリート	m ²	-

DL=5.000

NO. 11

GP=9.375
FH=9.972

道路土工		単位	数量
掘削	土砂	m ²	-
埋戻	土砂	m ²	-
コンクリート取直し	コンクリート	m ²	-

作業土工		単位	数量
左	土砂	m ²	-
右	土砂	m ²	-
埋戻	D	m ²	-
取直し	コンクリート	m ²	-

DL=5.000

EC. 5

GP=9.383
FH=9.982

道路土工		単位	数量
掘削	土砂	m ²	-
埋戻	土砂	m ²	-
コンクリート取直し	コンクリート	m ²	-

作業土工		単位	数量
左	土砂	m ²	-
右	土砂	m ²	-
埋戻	D	m ²	-
取直し	コンクリート	m ²	-

DL=5.000

排水工 作業土工計算書

工 種	単位	延長及び 個数	床掘 (m ³)		埋戻 (m ³)				残土 (m ³)		基面整正 (m ²)		摘 要
			土砂		D		再生切込碎石						
			単位当り	数量	単位当り	数量	単位当り	数量	単位当り	数量	単位当り	数量	
自由勾配側溝	標準ﾀｲﾌﾟ 600×700	m	28.4								8.8	25.0	
	土留ﾀｲﾌﾟ 600×700	m	132.9								11.7	155.5	
	標準ﾀｲﾌﾟ 600×800	m	23.1								8.8	20.3	
	土留ﾀｲﾌﾟ 600×800	m	5.5								11.7	6.4	
現場打U型側溝		m	3.2								9.3	3.0	
集水柵A型	800×800×1000	箇所	1										
集水柵B型	800×800×1100	箇所	1										
集水柵C型	800×800×1000	箇所	3										
集水柵D型	800×800×1973	箇所	1	10.9	10.9			7.3	7.3		1.7	1.7	
横断面より					213.2				77.8				
計					224.1				77.8		137.7		211.9

排水構造物工

数 量 調 書

名 称	測 点		左・右	単位	数量	摘要
	自	至				
自由勾配側溝 600×700 標準タイプ	NO. 1 + 4.2	NO. 2 + 18.6	右	m	14.4	
	NO. 2 + 19.6	NO. 3 + 8.6	右	m	9.0	
	NO. 3 + 10.5	NO. 3 + 15.5	右	m	5.0	
計				m	28.4	

数 量 調 書

名 称	測 点		左・右	単位	数量	摘要
	自	至				
自由勾配側溝 600×700 土留タイプ	NO. 1 + 18.6	NO. 2 + 19.0	右	m	24.0	
	NO. 3 + 10.8	NO. 5 + 18.9	右	m	47.5	
	NO. 6 + 0.0	NO. 7 + 15.3	右	m	35.4	
	NO. 7 + 16.4	NO. 9 + 2.4	右	m	26.0	
計				m	132.9	

数 量 調 書

名 称	測 点		左・右	単位	数量	摘要
	自	至				
自由勾配側溝 600×800 標準タイプ	NO. 0 + 1.7	NO. 0 + 3.4	右	m	3.0	
	NO. 0 + 4.7	NO. 1 + 4.8	右	m	20.1	
計				m	23.1	

数 量 調 書

名 称	測 点		左・右	単 位	数 量	摘 要	
	自	至					
自由勾配側溝 600×800 土留タイプ	NO. 9 + 3.4	NO. 9 + 9.0	右	m	5.5		
	計				m	5.5	

数 量 調 書

名 称	測 点		左・右	単位	数量	摘要
	自	至				
現場打U型側溝	NO. 0 + 3.4	NO. 0 + 4.7	右	m	1.3	
	NO. 3 + 8.6	NO. 3 + 10.5	右	m	1.9	
計				m	3.2	

数量調査書

名称	測点		左・右	単位	数量	摘要	
	自	至					
集水桝 A型	NO.	2 + 19.5	右	箇所	1		
	計				箇所	1	

数 量 調 書

名 称	測 点		左・右	単 位	数 量	摘 要	
	自	至					
集水桝 B型	NO.	9 + 9.5	右	箇所	1		
	計				箇所	1	

数量調書

名 称	測 点		左・右	単位	数量	摘要
	自	至				
集水枮 C型	NO. 6 + 0.0		右	箇所	1	
	NO. 7 + 15.5		右	箇所	1	
	NO. 9 + 3.0		右	箇所	1	
計				箇所	3	

数 量 調 書

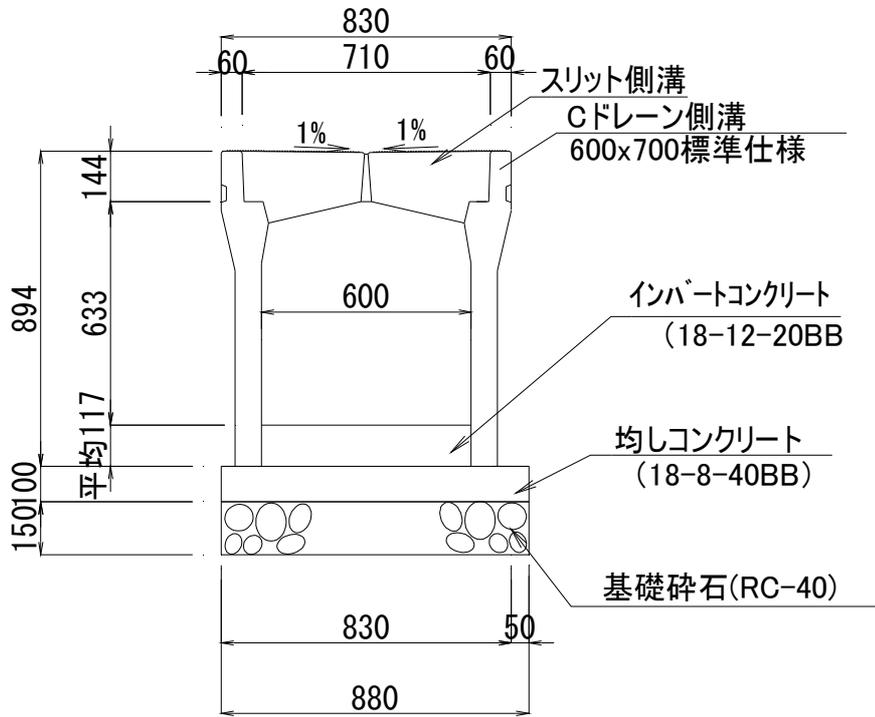
名 称	測 点		左・右	单 位	数 量	摘 要
	自	至				
集水枮 D型	NO. 0 + 0.0		右	箇所	1	
計				箇所	1	

単位当り数量計算書

材 料 計 算 書 (1)

算 式 根 拠 と な る 構 造 図

自由勾配側溝 標準タイプ
600×700



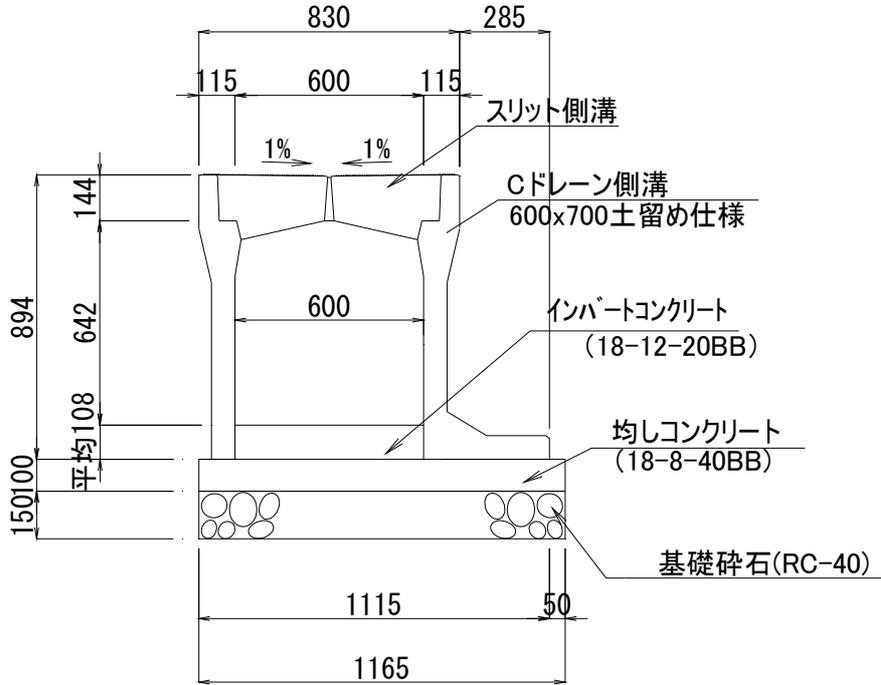
10.0m当り

名 称	種 別	算 式	単 位	数 量
Cドレーン側溝	標準タイプ 600×700		m	10.0
インバートコンクリート	18-12-20	$0.600 \times 0.117 \times 10.0$	m ³	0.702
	t=150	$0.880 \times 0.10 \times 10.0$	m ³	0.880
均しコンクリート	18-8-40BB	0.880×10.0	m ²	8.800
均し型枠		$0.100 \times 2 \times 10.0$	m ²	2.000
	t=150	$0.880 \times 0.15 \times 10.0$	m ³	1.320
基礎碎石	RC-40	0.880×10.0	m ²	8.800
コンクリート蓋	T-25、L=500 スリット付き		枚	10.000
基面整正		0.880×10.0	m ²	8.8

材 料 計 算 書 (2)

算 式 根 拠 と な る 構 造 図

自由勾配側溝 土留タイ°
600×700



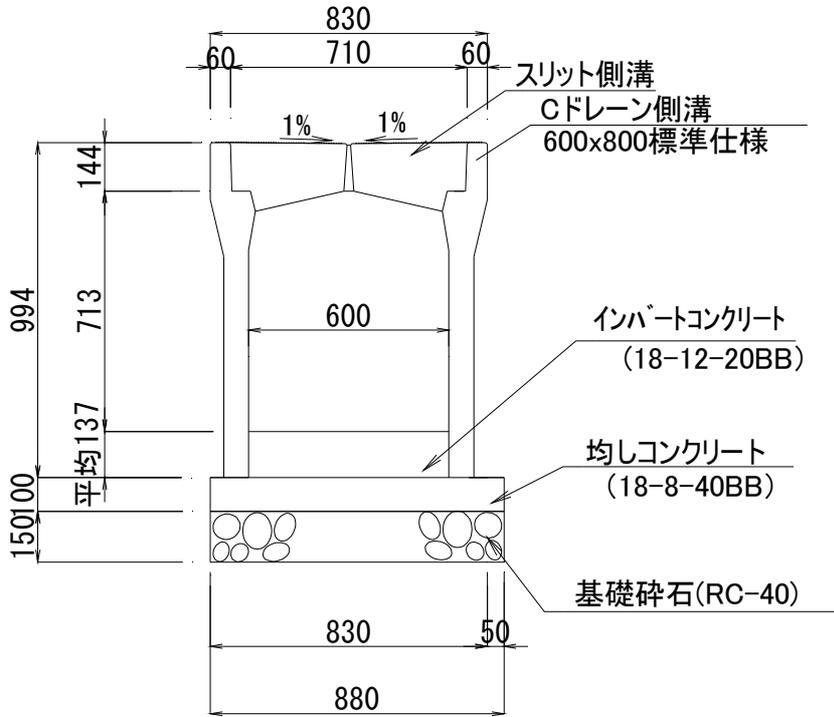
10.0m当り

名 称	種 別	算 式	単 位	数 量
Cドレーン側溝	土留タイ° 600×700		m	10.0
インバートコンクリート	18-12-20BB	$0.600 \times 0.108 \times 10.0$	m ³	0.648
	t=100	$1.165 \times 0.10 \times 10.0$	m ³	1.165
均しコンクリート	18-8-40BB	1.165×10.0	m ²	11.650
均し型枠		$0.100 \times 2 \times 10.0$	m ²	2.000
	t=150	$1.165 \times 0.15 \times 10.0$	m ³	1.748
基礎砕石	RC-40	1.165×10.0	m ²	11.650
コンクリート蓋	T-25、L=500 スリット付き		枚	10.000
基面整正		1.165×10.0	m ²	11.7

材 料 計 算 書 (3)

算 式 根 拠 と な る 構 造 図

自由勾配側溝 標準タイプ
600×800



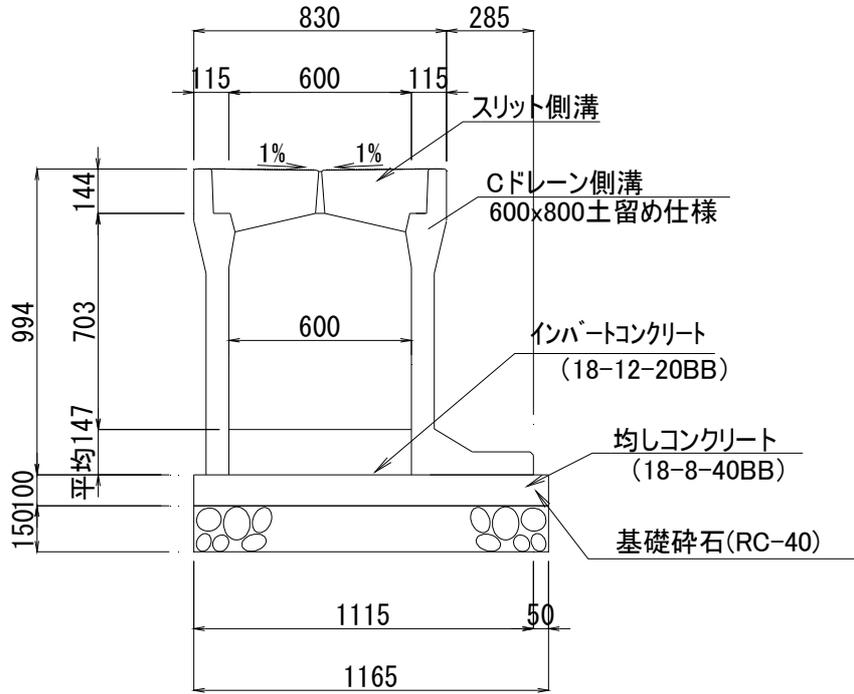
10.0m当り

名 称	種 別	算 式	単 位	数 量
Cドレーン側溝	標準タイプ 600×800		m	10.0
インバートコンクリート	18-12-20BB	$0.600 \times 0.137 \times 10.0$	m ³	0.822
	t=100	$0.880 \times 0.10 \times 10.0$	m ³	0.880
均しコンクリート	18-8-40BB	0.880×10.0	m ²	8.800
均し型枠		$0.100 \times 2 \times 10.0$	m ²	2.000
	t=150	$0.880 \times 0.15 \times 10.0$	m ³	1.320
基礎碎石	RC-40	0.880×10.0	m ²	8.800
コンクリート蓋	T-25、L=500 スリット付き		枚	10.000
基面整正		0.880×10.0	m ²	8.8

材 料 計 算 書 (4)

算 式 根 拠 と な る 構 造 図

自由勾配側溝 土留タイ°
600×800



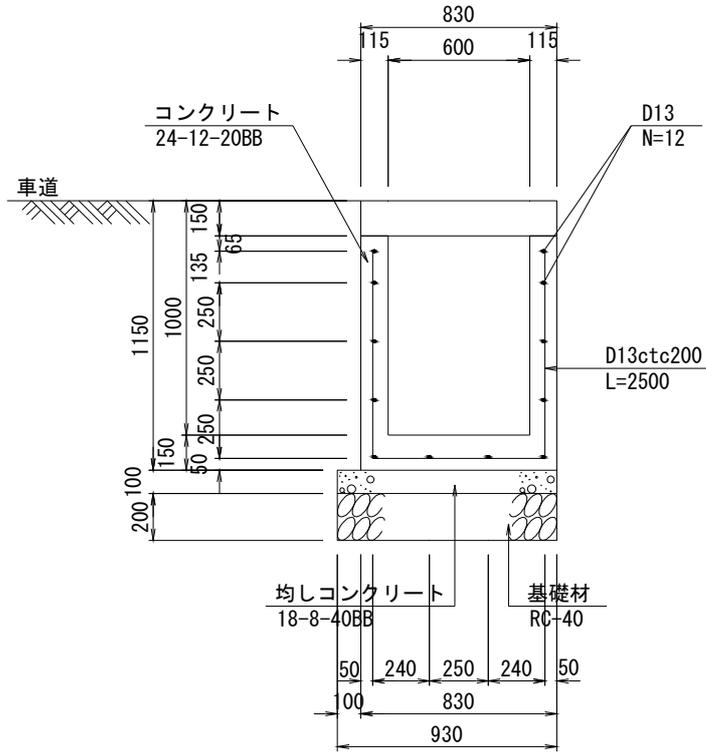
10.0m当り

名 称	種 別	算 式	単 位	数 量
Cドレーン側溝	土留タイ° 600×800		m	10.0
インバートコンクリート	18-12-20BB	$0.600 \times 0.147 \times 10.0$	m ³	0.882
	t=100	$1.165 \times 0.10 \times 10.0$	m ³	1.165
均しコンクリート	18-8-40BB	1.165×10.0	m ²	11.650
均し型枠		$0.100 \times 2 \times 10.0$	m ²	2.000
	t=150	$1.165 \times 0.15 \times 10.0$	m ³	1.748
基礎砕石	RC-40	1.165×10.0	m ²	11.650
コンクリート蓋	T-25、L=500 スリット付き		枚	10.000
基面整正		1.165×10.0	m ²	11.7

材料計算書(5)

算式根拠となる構造図

現場打U型側溝



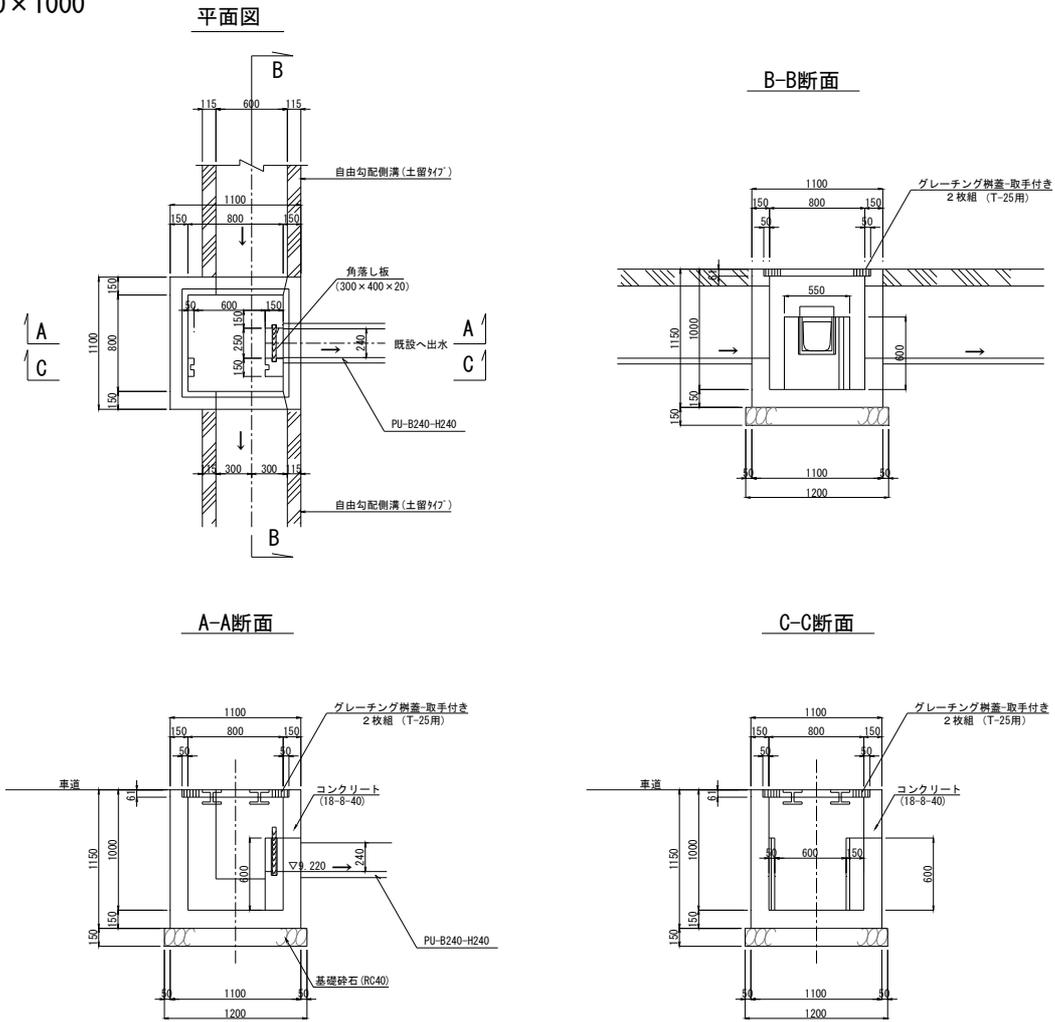
10.0m当り

名称	種別	算式	単位	数量
		$A=0.93 \times 10$	m ²	9.3
基礎材	RC-40、t=200	$V=0.20 \times 0.93 \times 10$	m ³	1.9
	一般型枠			
均しコンクリート型枠	均しコンクリート	$V=0.10 \times 2 \times 10$	m ²	2.0
	18-8-40BB	$A=0.93 \times 10$	m ²	9.3
均しコンクリート	t=100	$V=0.10 \times 0.93 \times 10$	m ³	0.9
	一般型枠			
型枠	小型構造物	$A=2 \times ((1.15-0.15) + (1.00-0.15)) \times 10$	m ²	37.0
コンクリート	24-12-20BB	$V=((1.15-0.15) \times 0.83 - (1.00-0.15) \times 0.60) \times 10$	m ³	3.2
鉄筋	D13、SD345	$G=0.995\text{kg/m} \times (10/0.20 \times 2.50 + 10 \times 12)$	kg	244
基面整正		0.930×10.0	m ²	9.3

材 料 計 算 書 (9)

算 式 根 拠 と な る 構 造 図

集水枳C型
800 × 800 × 1000

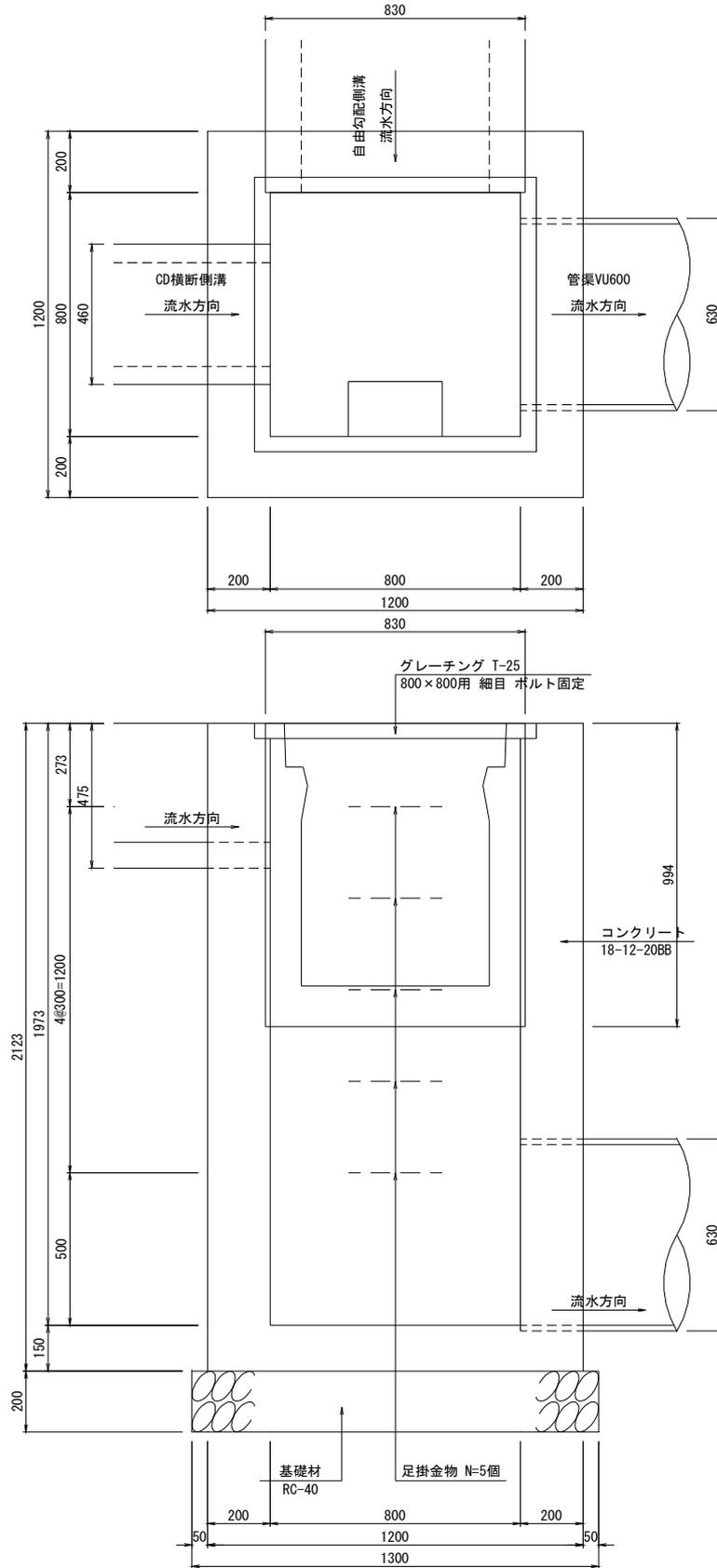


1箇所当り

名 称	種 別	算 式	単 位	数 量
コンクリート	18-12-20BB	$1.100 \times 1.100 \times 1.150 - 0.800 \times 0.800 \times 1.000 + (0.050 + 0.550) \times 0.150 \times 0.600 - 0.600 \times 0.600 \times 0.150 \times 2$	m ³	0.698
型枠		$(1.100 + 0.800) \times 4 \times 1.150 + (0.050 \times 2.000 + 0.150 + 0.150 \times 2.000 + 0.550) \times 0.600$	m ²	9.400
枳蓋	グレーチング蓋 (T-25用) 2枚組 - 取手付き 細目		(kg)	122
	ボルト固定式 枳穴 800 × 800 用		枚	2
	杉板			
角落し板	300 × 400 × 20		枚	1
	t=150			
基礎碎石	RC-40	1.200×1.200	m ²	1.440

材料計算書(10)
算式根拠となる構造図

集水柵D型
800×800×1973

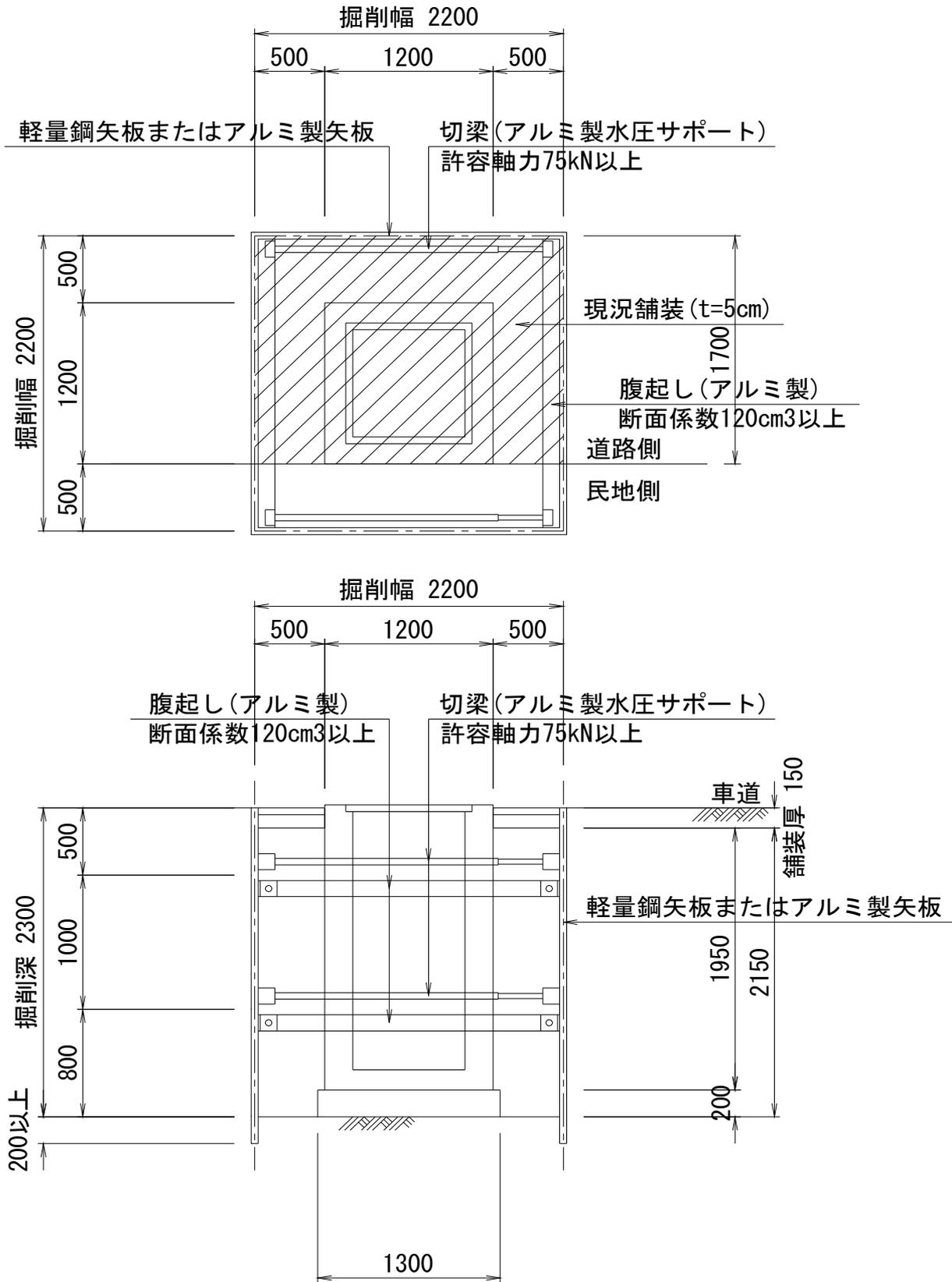


鉄筋は小構造物図を参照

材料計算書(11)

算式根拠となる構造図

集水桝D型 作業土工



1箇所当り

名 称	種 別	算 式	単 位	数 量
作業土工				
床掘	土砂	$V=2.30 \times 2.20 \times 2.20 - 0.05 \times 2.20 \times 1.70$	m3	10.9
埋戻	RC-40	$V=2.15 \times 2.20 \times 2.20 - 0.20 \times 1.30 \times 1.30 - 1.95 \times 1.20 \times 1.20$	m3	7.3
基面整正		$A=1.30 \times 1.30$	m2	1.7
	t=100			
上層路盤	M-30	$A=2.20 \times 2.20 - 1.20 \times 1.20$	m2	3.4
	再生密粒度As			
表層	(top13) t=50	$A=2.20 \times 2.20 - 1.20 \times 1.20$	m2	3.4
舗装版切断	As、t=5cm	$L=2.20+1.70 \times 2$	m	5.6
舗装版破碎	As、t=5cm	$A=2.20 \times 1.70$	m2	3.7
殻運搬・殻処分	As殻	$V=0.05 \times 2.20 \times 1.70$	m3	0.2

インバート平均高さ計算書

タイプ別	高さ	平均高さ	延長	面積	摘 要	
	m	m	m	m ²		
自由勾配側溝 600×700 標準タイプ	0.056				延長は現場打U型側溝を含む	
	0.132	0.094	14.418	1.355		
	0.134	0.133				
	0.140	0.137	15.900	2.178		
	合計			30.318		3.533
	平均高さ		0.117			
自由勾配側溝 600×700 土留タイプ	0.132					
	0.131	0.132	24.000	3.168		
	0.140					
	0.115	0.128	47.500	6.080		
	0.114					
	0.078	0.096	35.400	3.398		
	0.076					
	0.056	0.066	26.000	1.716		
	合計			132.900	14.362	
	平均高さ		0.108			14.362 / 132.900

インバート平均高さ計算書

タイプ別	高さ	平均高さ	延長	面積	摘 要	
	m	m	m	m ²		
自由勾配側溝 600×800 標準タイプ	0.129				延長は現場打U型側溝を含む	
	0.142	0.136	21.755	2.959		
	0.149	0.146	2.693	0.393		
	合計			24.448	3.352	
	平均高さ		0.137			3.352 / 24.448
自由勾配側溝 600×800 土留タイプ	0.150					
	0.144	0.147	5.500	0.809		
	合計			5.500	0.809	
	平均高さ		0.147			0.809 / 5.500

舖 裝 工

撤 去 工

撤去図より
構造物取壊し

(無筋)

$$V = 1.0 = 1.0 \text{ m}^3$$

(鉄筋)

$$V = 1.0 + 2.0 + 2.0 + 5.5 = 10.5 \text{ m}^3$$

令和4年度

大久保848号線道路改良工事

数量計算書

(附帯工)

令和4年10月

明石市都市局道路安全室道路整備課

数量総括表

道 路 土 工

排水工 作業土工計算書

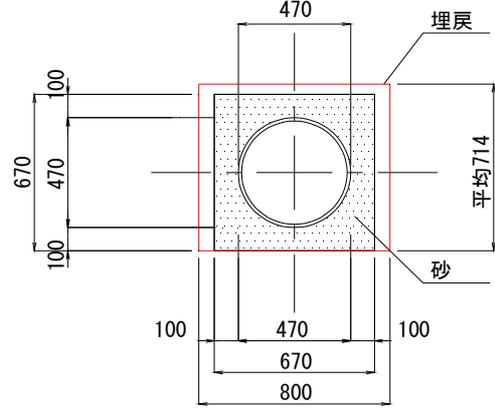
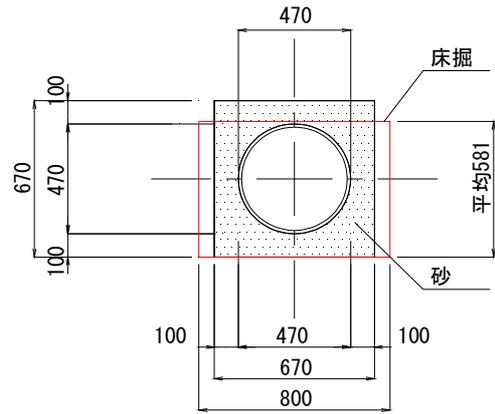
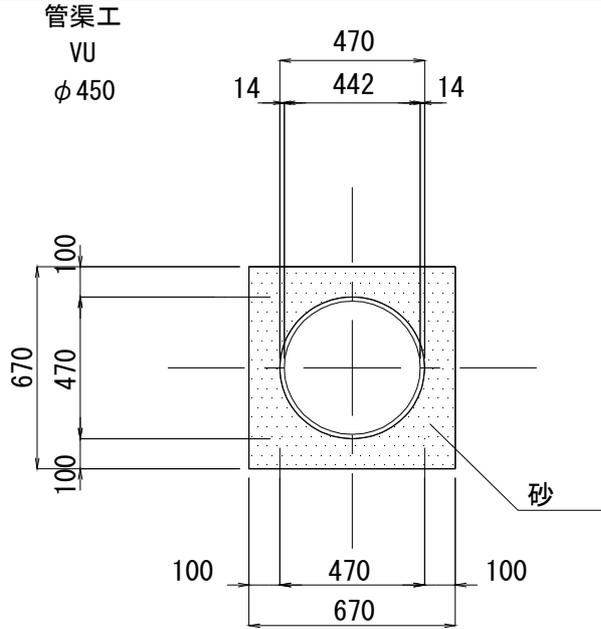
工 種	単位	延長及び 個数	床掘 (m ³)		埋戻 (m ³)		残土 (m ³)		砂基礎		摘 要
			土砂		D				洗砂		
			単位当り	数量	単位当り	数量	単位当り	数量	単位当り	数量	
暗渠排水管 Vuφ450	m	4.6	4.6	2.1	1.2	0.6			2.8	1.3	
Vuφ300	m	2.7	4.9	1.3	3.0	0.8			1.9	0.5	
横断図より											
計				3.4		1.4		1.8		1.8	

排水構造物工

単位当り数量計算書

材料計算書(1)

算式根拠となる構造図



【床掘】			
上流	714	平均	
下流	447	581	
【埋戻】			
上流	714	平均	
下流	714	714	

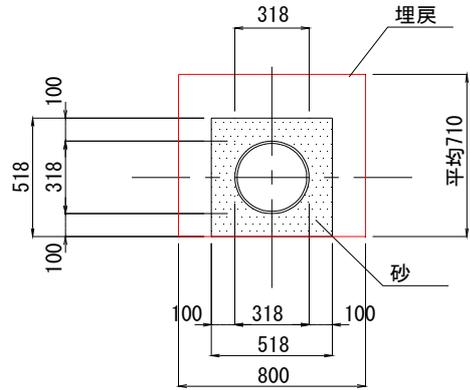
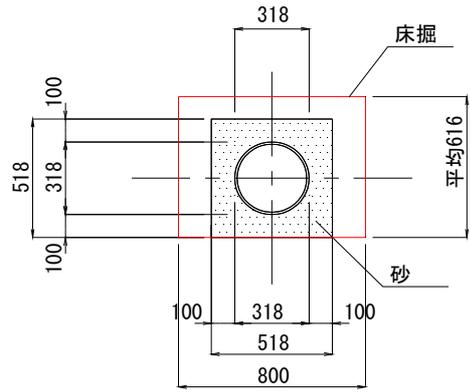
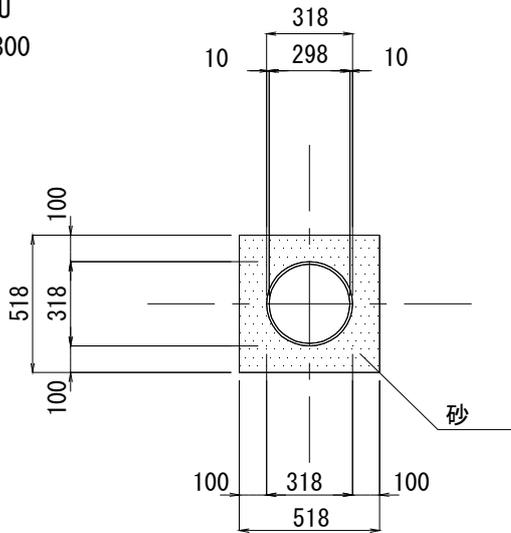
10.0m当り

名称	種別	算式	単位	数量
管渠	VU φ450		m	10.0
砂基礎	洗砂	$(0.67 \times 0.67 - \pi/4 \times 0.47 \times 0.47) \times 10.0$	m ³	2.8
作業土工				
床掘	土砂	$0.800 \times 0.581 \times 10.0$	m ³	4.6
埋戻		$(0.800 \times 0.714 - 0.670 \times 0.670) \times 10.0$	m ³	1.2
基面整正		0.000×0.0	m ²	0.0

材料計算書(2)

算式根拠となる構造図

管渠工
VU
φ300



【床掘】			
上流	580	平均	
下流	651	616	
【埋戻】			
上流	714	平均	
下流	714	714	

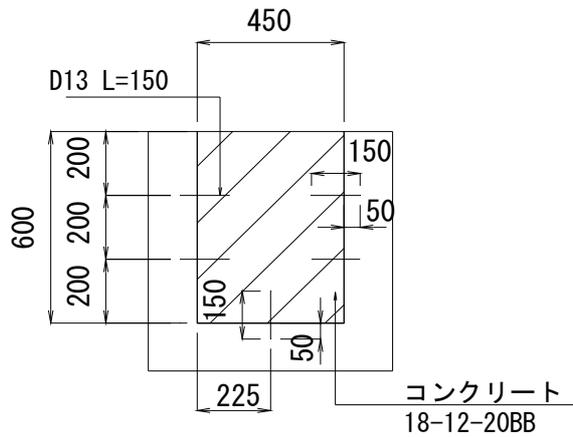
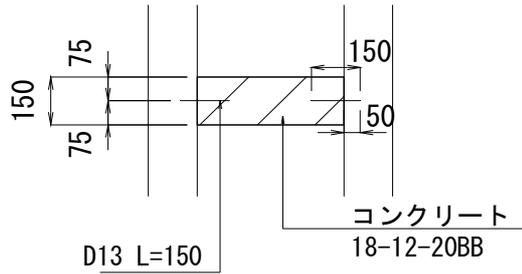
10.0m当り

名称	種別	算式	単位	数量
管渠	VU φ300		m	10.0
砂基礎	洗砂	0.189×10.0	m ³	1.9
作業土工				
床掘	土砂	$0.800 \times 0.616 \times 10.0$	m ³	4.9
埋戻		$(0.800 \times 0.710 - 0.518 \times 0.518) \times 10.0$	m ³	3.0
基面整正		0.000×0.0	m ²	0.0

材料計算書(5)

算式根拠となる構造図

止壁1



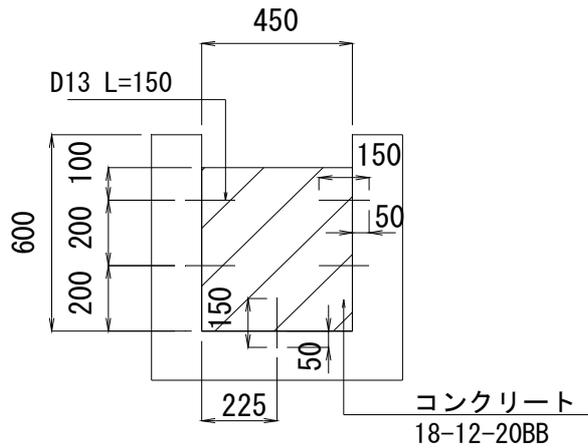
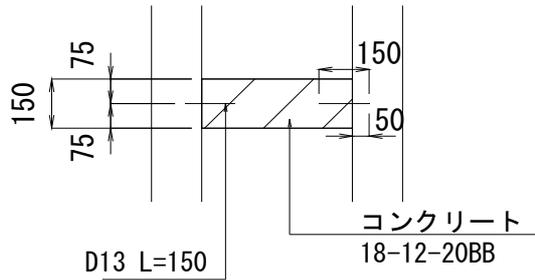
10.0箇所当り

名称	種別	算式	単位	数量
型枠	小型構造物	$0.600 \times 0.450 \times 2.0 \times 10.0$	m ²	5.4
コンクリート	18-12-20BB	$0.600 \times 0.450 \times 0.15 \times 10.0$	m ²	0.4
鉄筋	SD345, D13	$0.995 \times 5 \times 0.15 \times 10.0$	kg	7
削孔		5×10.0	孔	50
作業土工				
床掘	土砂		m ³	0.0
埋戻	D		m ³	0.0
基面整正			m ²	0.0

材 料 計 算 書 (6)

算 式 根 拠 と な る 構 造 図

止壁2

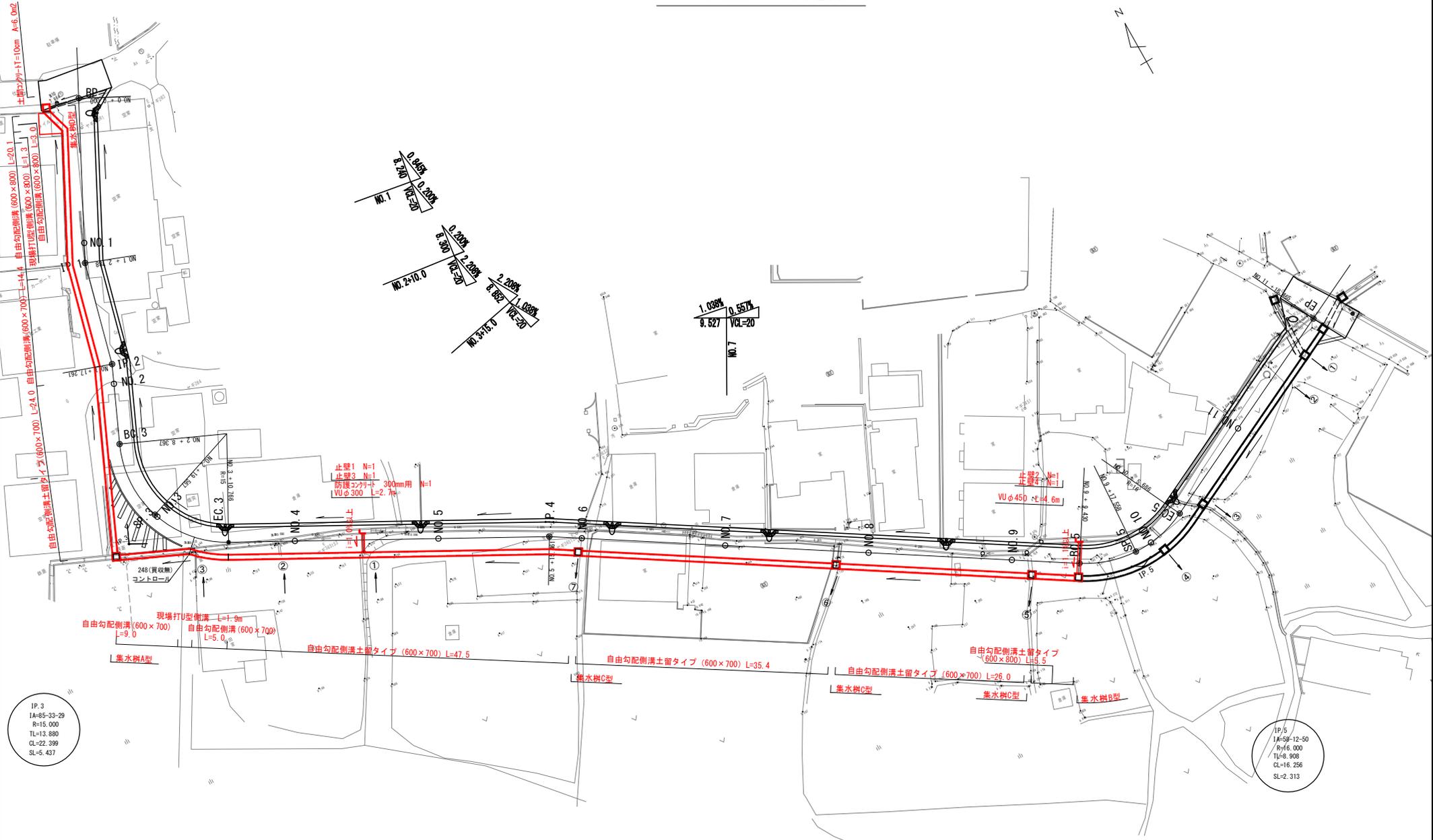


10.0箇所当り

名 称	種 別	算 式	単 位	数 量
型枠	小型構造物	$0.500 \times 0.450 \times 2.0 \times 10.0$	m ²	4.5
コンクリート	18-12-20BB	$0.500 \times 0.450 \times 0.15 \times 10.0$	m ²	0.3
鉄筋	SD345, D13	$0.995 \times 5 \times 0.15 \times 10.0$	kg	7
削孔		5×10.0	孔	50
作業土工				
床掘	土砂		m ³	0.0
埋戻	D		m ³	0.0
基面整正			m ²	0.0

撤 去 工

平面図 1:250



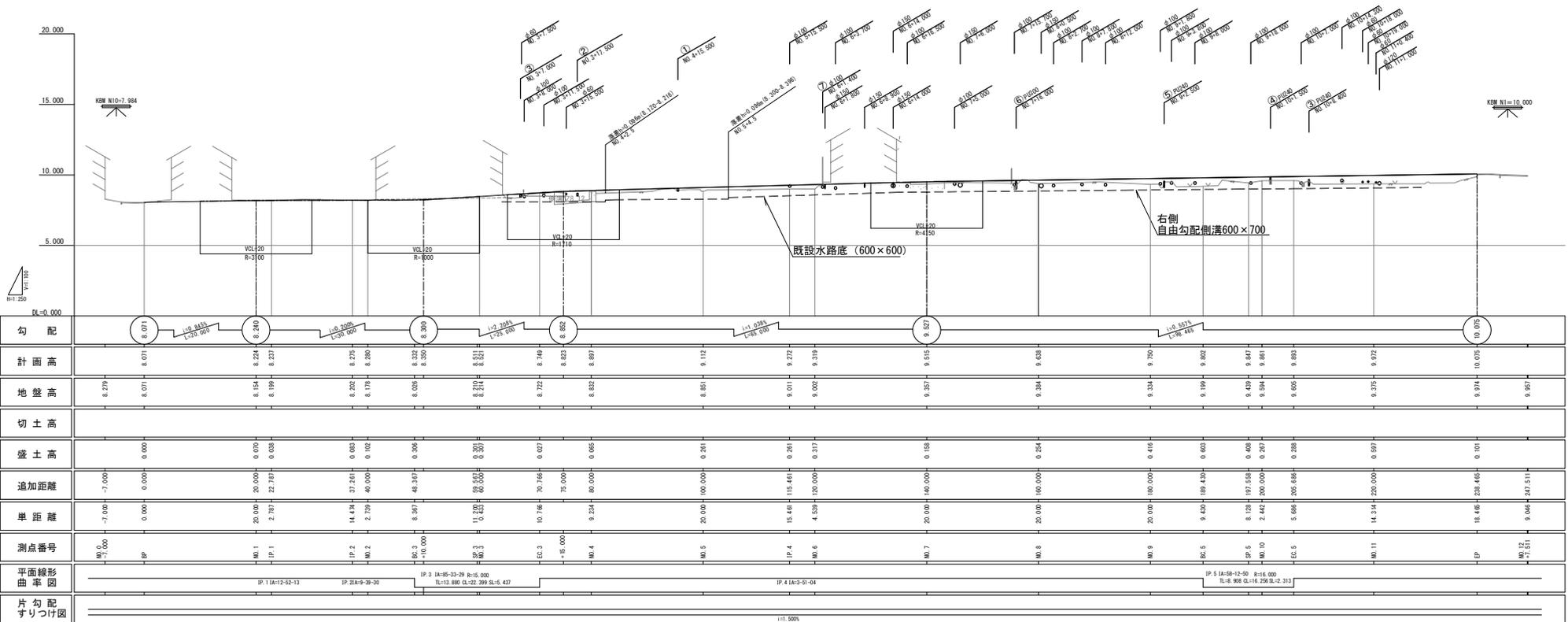
IP.3
IA=85-33-29
R=15,000
TL=13,890
CL=22,389
SL=5,437

IP.5
IA=58-12-50
R=6,000
TL=6,908
CL=16,256
SL=2,313

令和4年度	
大久保848号線道路改良工事	
明石市大久保町八木地内	
図名	平面図
縮尺	1:250
1/19	
明石市都市局道路安全室道路整備課	

縦断図

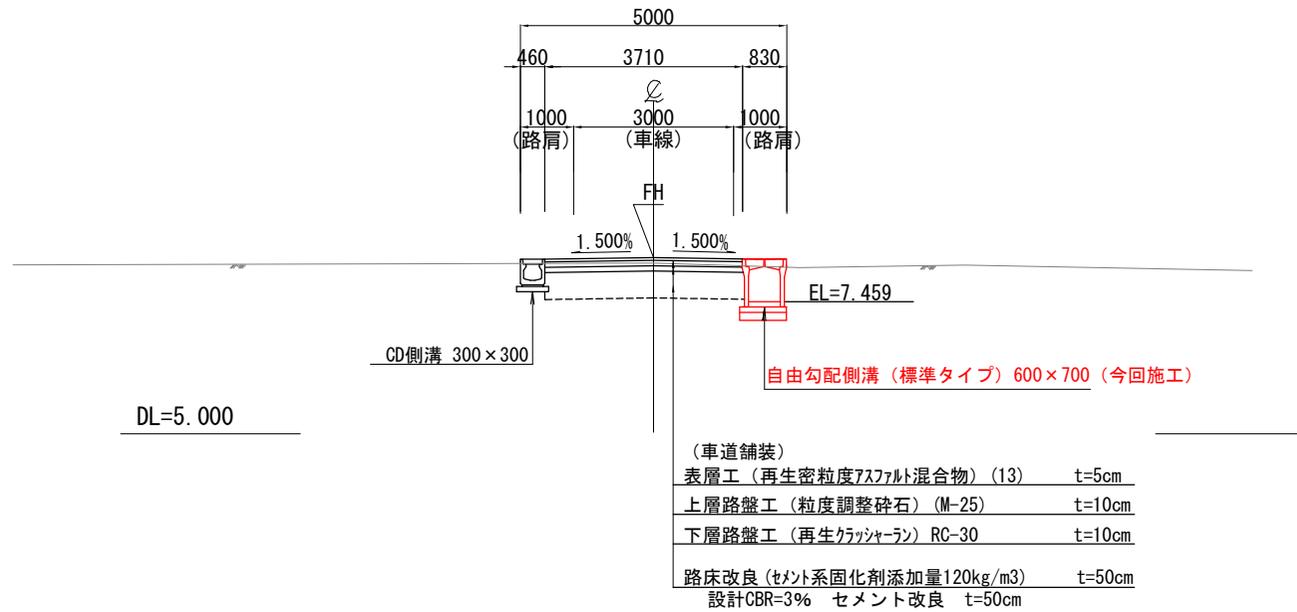
施工延長 L=189.4m



勾配												
計画高	8.071	8.231	8.276	8.332	8.398	8.474	8.519	8.608	8.750	8.862	8.977	9.075
地盤高	8.278	8.071	8.164	8.109	8.202	8.178	8.026	8.214	8.222	8.851	9.011	9.002
切土高												
盛土高	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
追加距離	-7.000	0.000	20.000	27.261	40.000	48.381	70.766	75.000	100.000	115.441	150.000	180.000
単距離			2.737	2.737	2.737	2.737	2.737	2.737	2.737	2.737	2.737	2.737
測点番号	MP 0.000	MP 1	MP 2	MP 3	MP 4	MP 5	MP 6	MP 7	MP 8	MP 9	MP 10	MP 11
平面線形 曲率図												
片勾配 すりつけ図												

標準断面図(1)

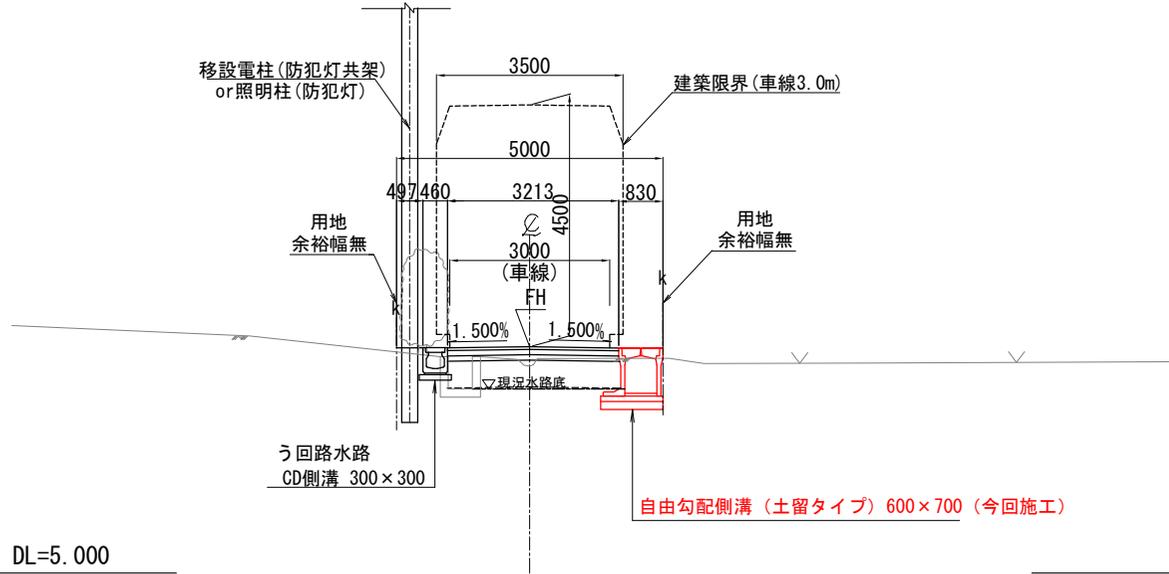
NO. 2付近(標準部)



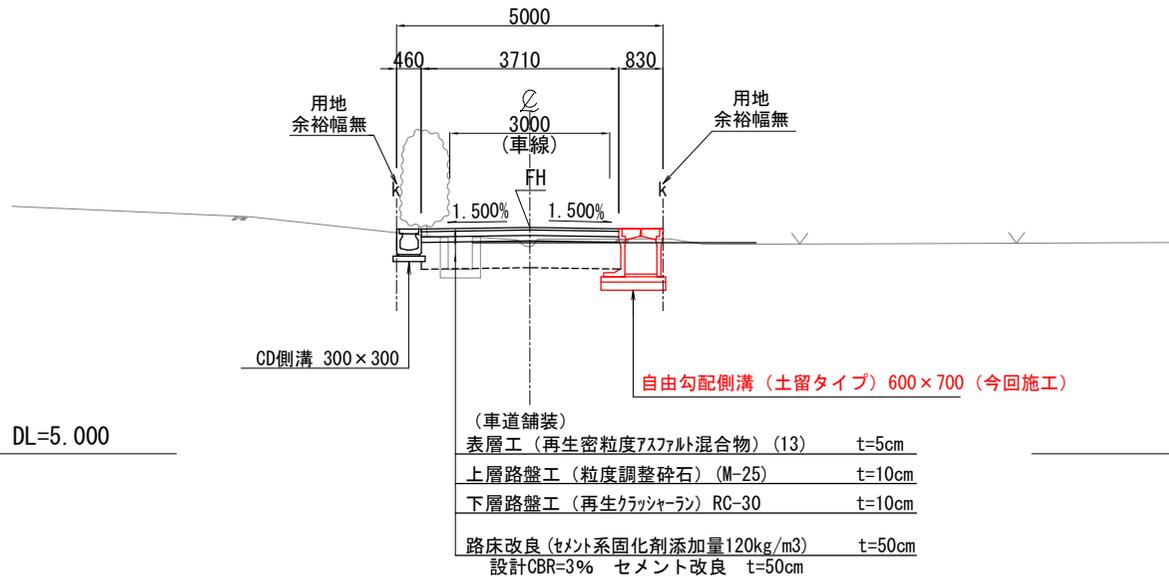
令和 4 年度			
大久保駅前幹線道路改良工事			
明石市大久保町八木地内			
図名	標準横断面図(1)	3	19
縮尺	1:100		
明石市都市局道路安全室道路整備課			

標準断面図(2)

NO. 5付近(電柱又は照明柱部)



NO. 4付近(標準部)

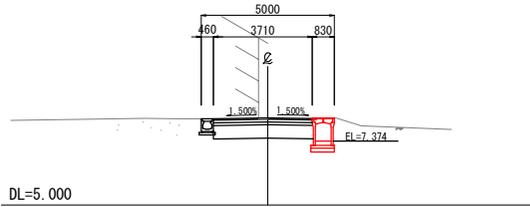


令和 4 年度			
大久保848号線道路改良工事			
明石市大久保町八木地内			
図名	標準断面図(2)	4	※
縮尺	1:100		19
明石市都市局道路安全室道路整備課			

横断図(1) S=1:100

NO. 1+2.787 IP. 1

GH=8.199
FH=8.237

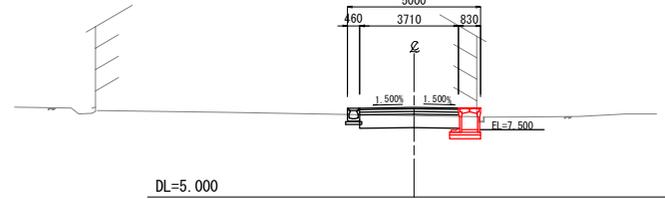


道路土工		単位	数量	
掘削	土砂	オープン	m2	-
			m2	-
	路床改良	m		
	コンクリート取壊し	m2		-

作業土工		単位	数量	
床掘	土砂	オープン	m2	1.4
	埋戻	D	m2	0.4

BC. 3

GH=8.026
FH=8.332

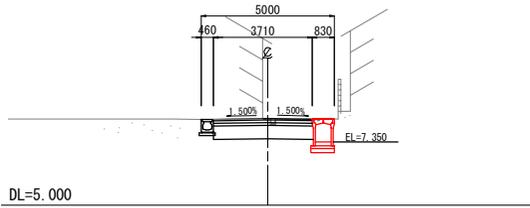


道路土工		単位	数量	
掘削	土砂	オープン	m2	-
			m2	-
	路床改良	m		
	コンクリート取壊し	m2		0.02

作業土工		単位	数量	
床掘	土砂	オープン	m2	1.2
	埋戻	D	m2	0.5

NO. 1

GH=8.154
FH=8.224

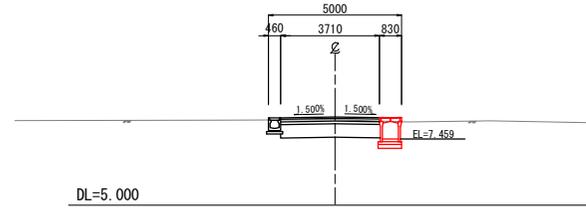


道路土工		単位	数量	
掘削	土砂	オープン	m2	-
			m2	-
	路床改良	m		
	コンクリート取壊し	m2		

作業土工		単位	数量	
床掘	土砂	オープン	m2	1.4
	埋戻	D	m2	0.4

NO. 2

GH=8.178
FH=8.280

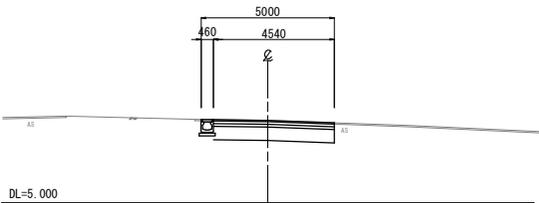


道路土工		単位	数量	
掘削	土砂	オープン	m2	-
			m2	-
	路床改良	m		
	コンクリート取壊し	m2		-

作業土工		単位	数量	
床掘	土砂	オープン	m2	1.1
	埋戻	D	m2	0.3

BP NO. 0

GH=8.071
FH=8.071

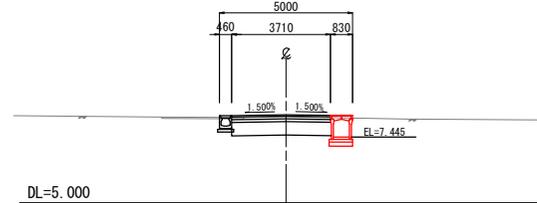


道路土工		単位	数量	
掘削	土砂	オープン	m2	-
			m2	-
	路床改良	m		
	コンクリート取壊し	m2		-

作業土工		単位	数量	
床掘	土砂	オープン	m2	-
	埋戻	D	m2	-

NO. 1+17.261 IP. 2

GH=8.202
FH=8.275



道路土工		単位	数量	
掘削	土砂	オープン	m2	-
			m2	-
	路床改良	m		
	コンクリート取壊し	m2		-

作業土工		単位	数量	
床掘	土砂	オープン	m2	1.1
	埋戻	D	m2	0.3

令和 4 年度

大久保4号線道路改良工事

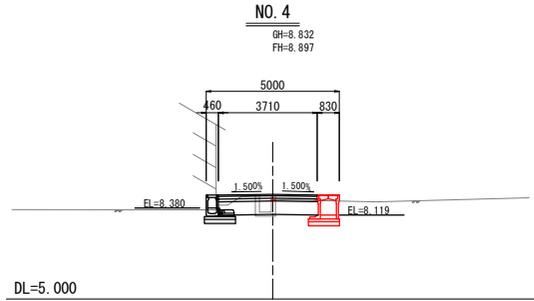
明石市大久保町八木地内

図名 横断図(1)

縮尺 1:100

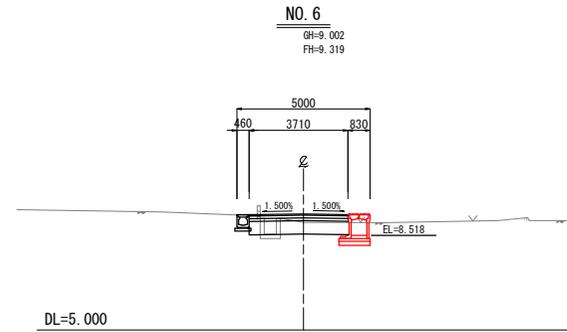
明石市都市局道路安全室道路整備課

横断図 (2) S=1:100



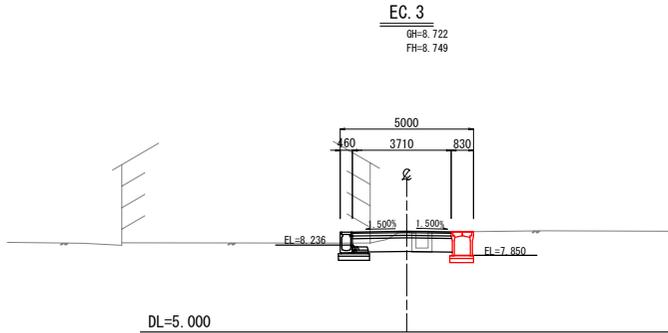
道路土工		単位	数量	
掘削	土砂	オープン	m2	-
路床改良		m		
コンクリート取壊し		m2	0.30	

作業土工		単位	数量	
床掘	土砂	オープン	m2	1.3
埋戻	D	m2	0.5	



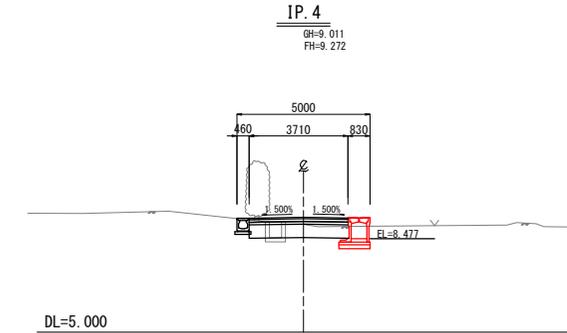
道路土工		単位	数量	
掘削	土砂	オープン	m2	-
路床改良		m		
コンクリート取壊し		m2		

作業土工		単位	数量	
床掘	土砂	オープン	m2	1.2
埋戻	D	m2	0.4	



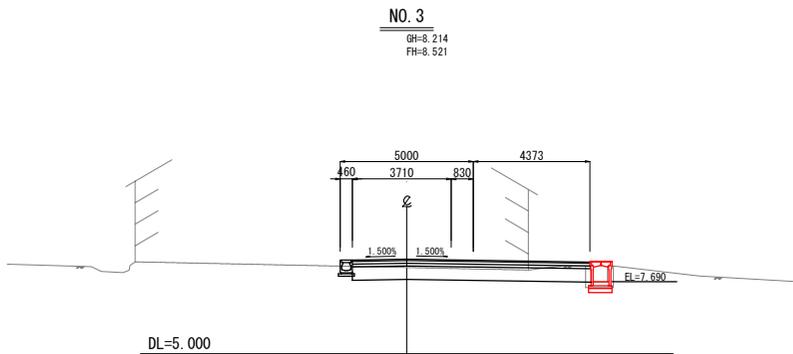
道路土工		単位	数量	
掘削	土砂	オープン	m2	-
路床改良		m		
コンクリート取壊し		m2	0.29	

作業土工		単位	数量	
床掘	土砂	オープン	m2	1.2
埋戻	D	m2	0.3	



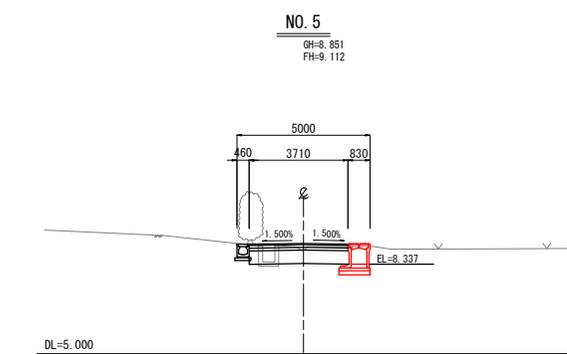
道路土工		単位	数量	
掘削	土砂	オープン	m2	-
路床改良		m		
コンクリート取壊し		m2		

作業土工		単位	数量	
床掘	土砂	オープン	m2	1.2
埋戻	D	m2	0.4	



道路土工		単位	数量	
掘削	土砂	オープン	m2	-
路床改良		m		
コンクリート取壊し		m2	0.46	

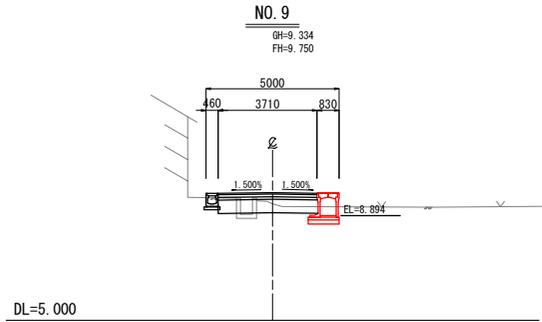
作業土工		単位	数量	
床掘	土砂	オープン	m2	0.3
埋戻	D	m2	0.4	



道路土工		単位	数量	
掘削	土砂	オープン	m2	-
路床改良		m		
コンクリート取壊し		m2		

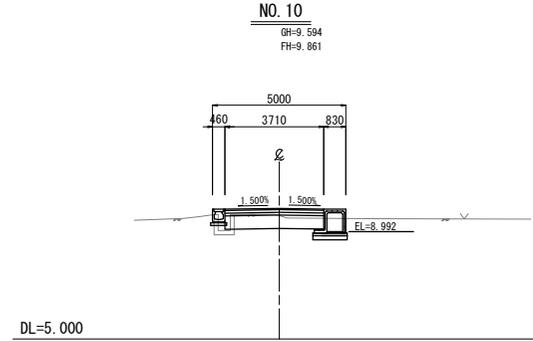
作業土工		単位	数量	
床掘	土砂	オープン	m2	1.5
埋戻	D	m2	0.6	

横断図 (3) S=1:100



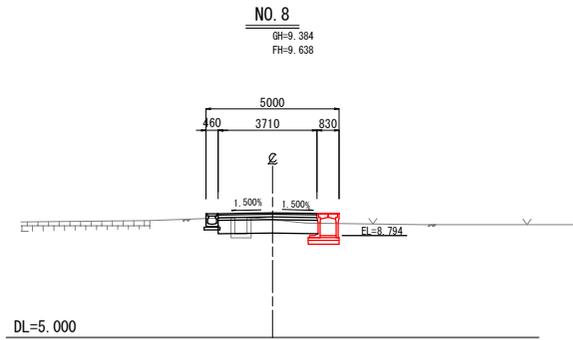
道路土工		単位	数量	
掘削	土砂	オープン	m2	-
			m2	-
路床改良		m		
コンクリート取壊し		m2		

作業土工		単位	数量	
床掘	土砂	オープン	左	0.9
			右	
埋戻		D	m2	0.3
戻				



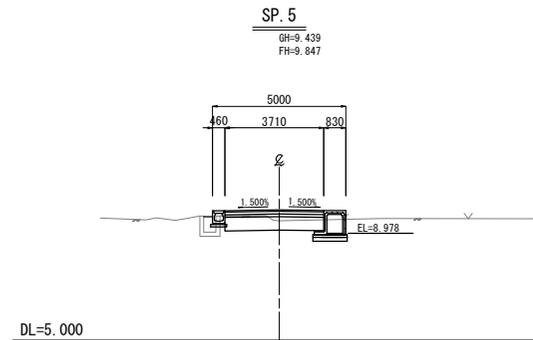
道路土工		単位	数量	
掘削	土砂	オープン	m2	-
			m2	-
路床改良		m		
コンクリート取壊し		m2		

作業土工		単位	数量	
床掘	土砂	オープン	左	-
			右	
埋戻		D	m2	-
戻				



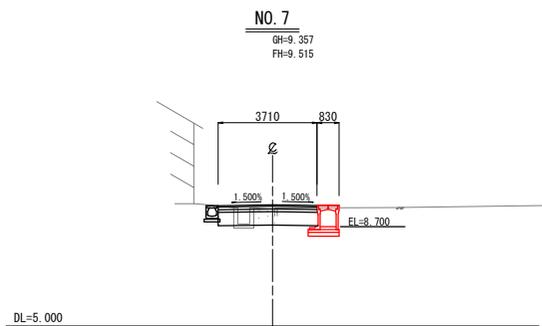
道路土工		単位	数量	
掘削	土砂	オープン	m2	-
			m2	-
路床改良		m		
コンクリート取壊し		m2		

作業土工		単位	数量	
床掘	土砂	オープン	左	1.1
			右	
埋戻		D	m2	0.4
戻				



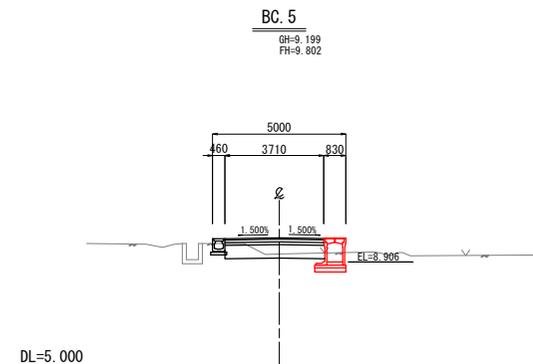
道路土工		単位	数量	
掘削	土砂	オープン	m2	-
			m2	-
路床改良		m		
コンクリート取壊し		m2		

作業土工		単位	数量	
床掘	土砂	オープン	左	-
			右	
埋戻		D	m2	-
戻				



道路土工		単位	数量	
掘削	土砂	オープン	m2	-
			m2	-
路床改良		m		
コンクリート取壊し		m2		

作業土工		単位	数量	
床掘	土砂	オープン	左	1.5
			右	
埋戻		D	m2	0.6
戻				



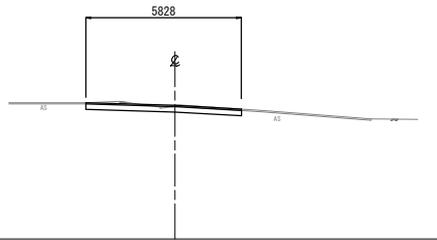
道路土工		単位	数量	
掘削	土砂	オープン	m2	-
			m2	-
路床改良		m		
コンクリート取壊し		m2		

作業土工		単位	数量	
床掘	土砂	オープン	左	1.0
			右	
埋戻		D	m2	0.4
戻				

横断図(4) S=1:100

EP NO. 11+18.466

GH=9.974
FH=10.075

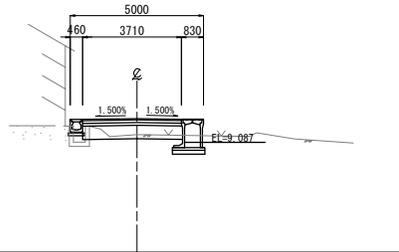


道路土工		単位	数量	
掘削	土砂	オープン	m2	-
			m2	-
路床改良		m	-	
コンクリート取壊し		m2	-	

作業土工		単位	数量	
			左	右
床掘	土砂	オープン	m2	-
埋戻		D	m2	-
戻				

NO. 11

GH=9.375
FH=9.972

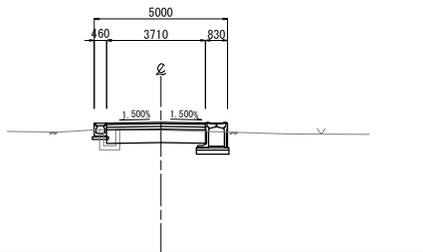


道路土工		単位	数量	
掘削	土砂	オープン	m2	-
			m2	-
路床改良		m	-	
コンクリート取壊し		m2	-	

作業土工		単位	数量	
			左	右
床掘	土砂	オープン	m2	-
埋戻		D	m2	-
戻				

EC. 5

GH=9.805
FH=9.893



道路土工		単位	数量	
掘削	土砂	オープン	m2	-
			m2	-
路床改良		m	-	
コンクリート取壊し		m2	-	

作業土工		単位	数量	
			左	右
床掘	土砂	オープン	m2	-
埋戻		D	m2	-
戻				

令和 4 年度

大久保4号線道路改良工事

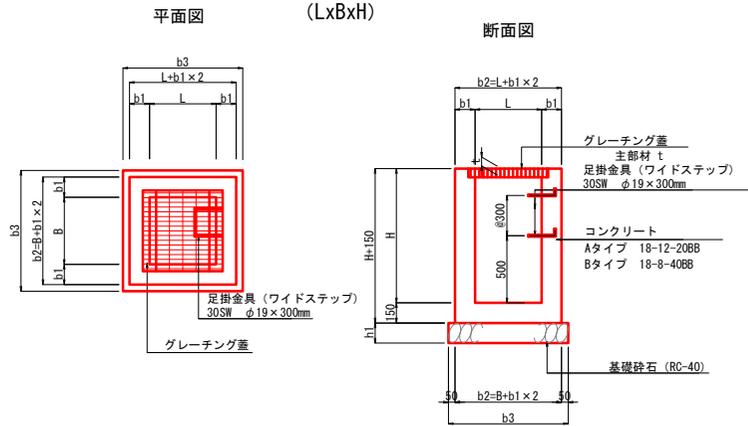
明石市大久保町八木地内

図名	横断図(4)	8
縮尺	1:100	19

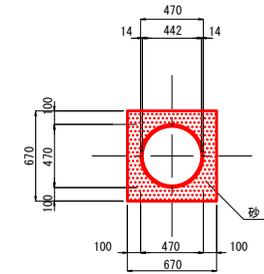
明石市都市局道路安全室道路整備課

排水工構造図 (1) S=1:20

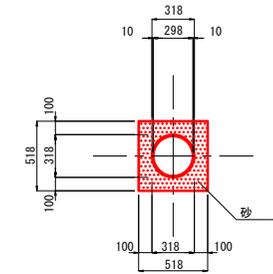
集水桝



vu φ 450



vu φ 300

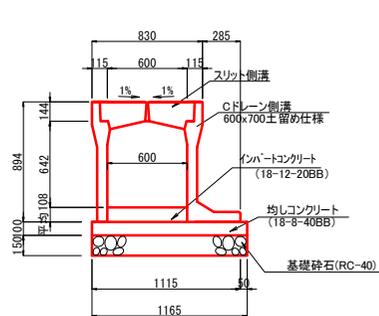


集水桝の寸法表および材料表

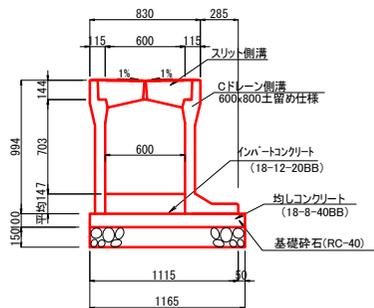
タイプ別	呼び名 (G-BxLxH)	寸法 (mm)							グレーチング蓋 (枚)	足掛金具 (個)	摘要		
		B	L	H	b1	b2	b3	h1				t	
A	800×800×1000	800	800	1000	150	1100	1200	150	90	1-900x890x90-122kg	T-25用	2	ボルト固定式
B	800×800×1100	800	800	1100	200	1200	1300	200	90	1-900x890x90-122kg		2	ボルト固定式

自由勾配側溝

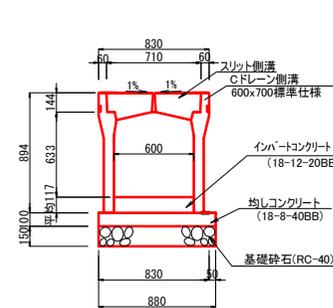
600×700 土留めタイプ



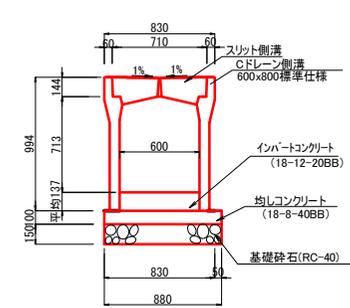
600×800 土留めタイプ



600×700 標準タイプ



600×800 標準タイプ



令和 4 年度

大久保峠等幹線道路改良工事

明石市大久保町八木地内

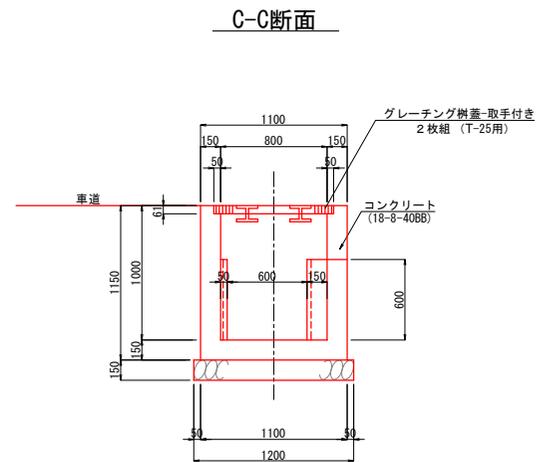
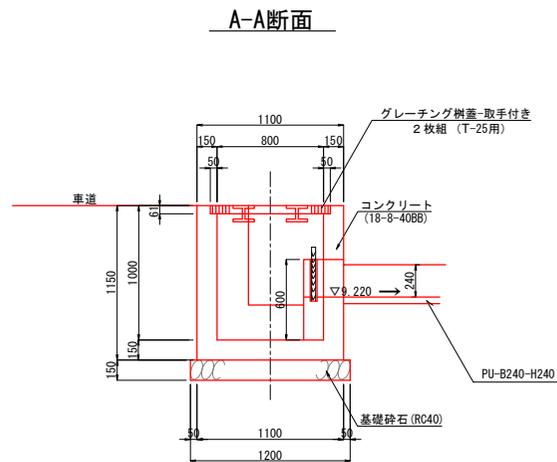
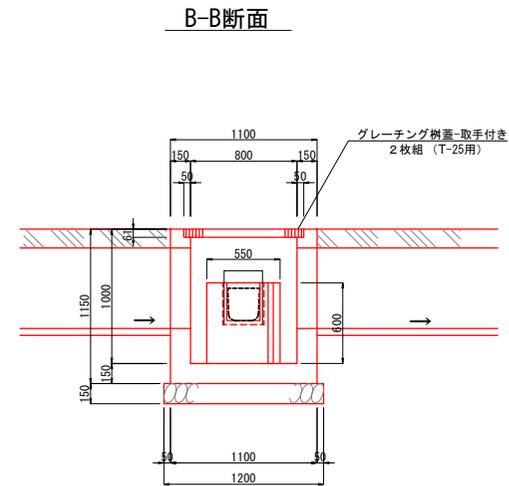
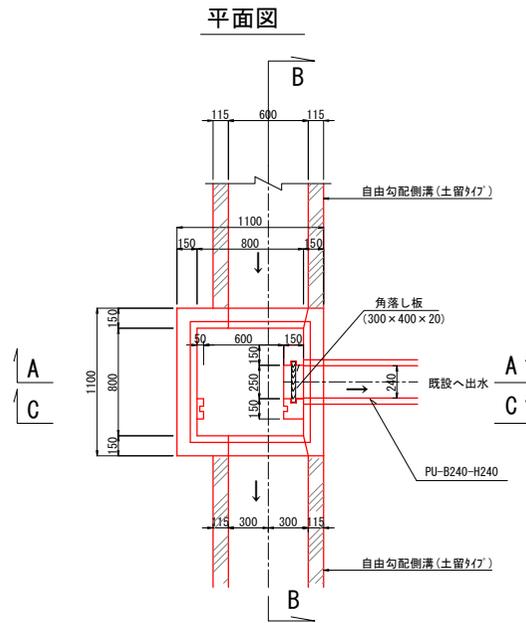
図名 排水工構造図 (1)

縮尺 1 : 20

明石市都市局道路安全室道路整備課

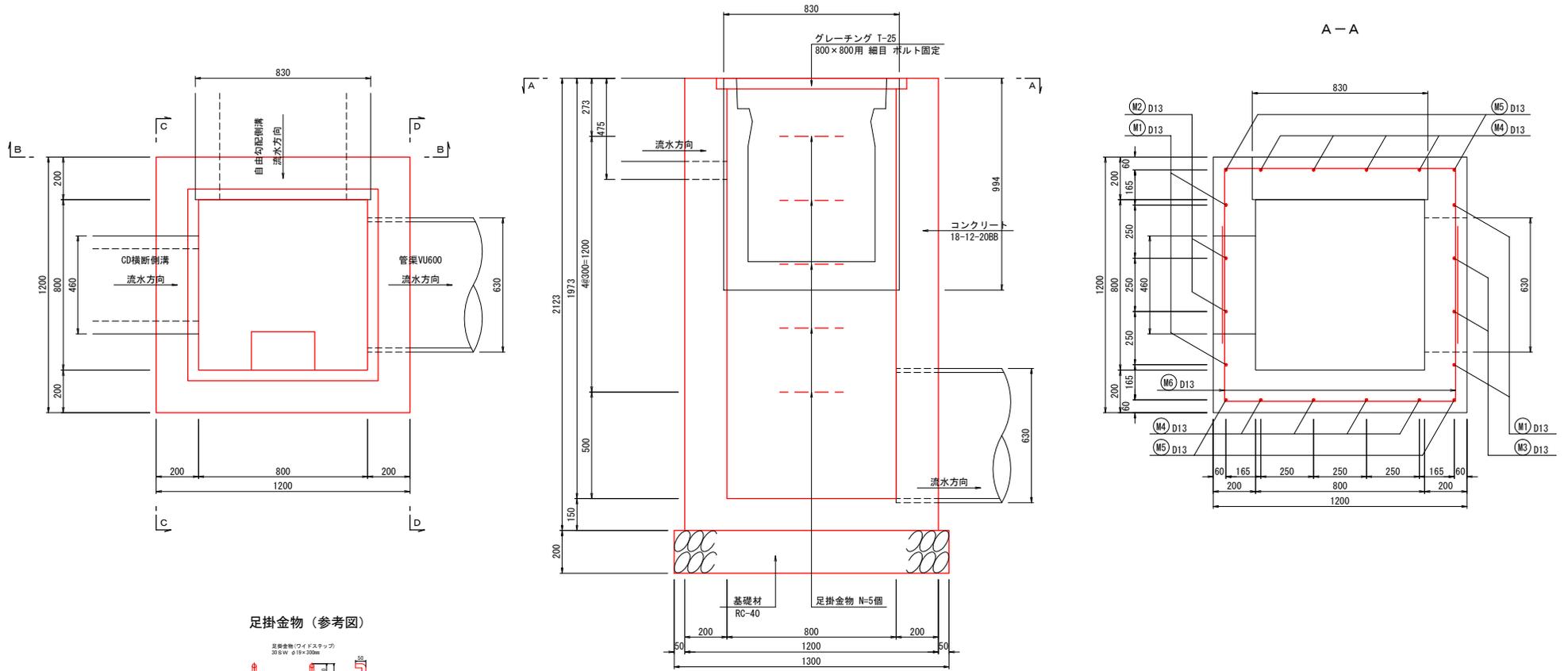
排水工構造図 (2) S=1:20

集水樹C型

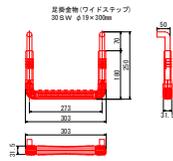


令和 4 年度		
大久保町等幹線道路改良工事		
明石市大久保町八木地内		
図名	排水工構造図 (2)	10 冊
縮尺	1 : 20	19
明石市都市局道路安全室道路整備課		

集水樹D型



足掛金物 (参考図)

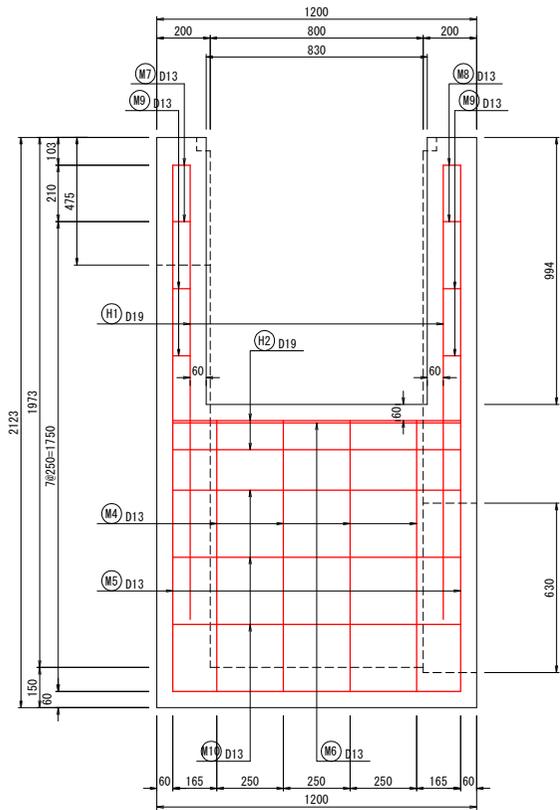


令和 4 年度	
大久保848号線道路改良工事	
明石市大久保町八木地内	
図名	排水工構造図(3) 11 葉全
縮尺	S=1:20 19
明石市都市局道路安全室道路整備課	

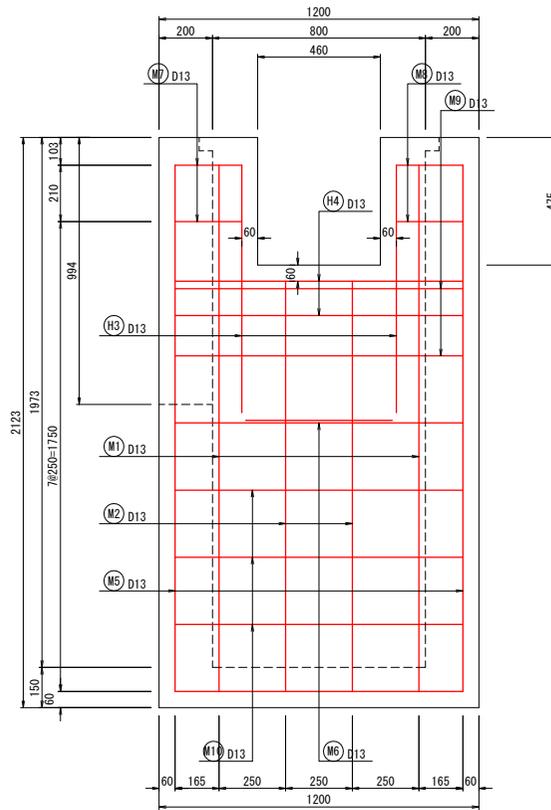
排水工構造図(4) S=1:20

集水樹D型

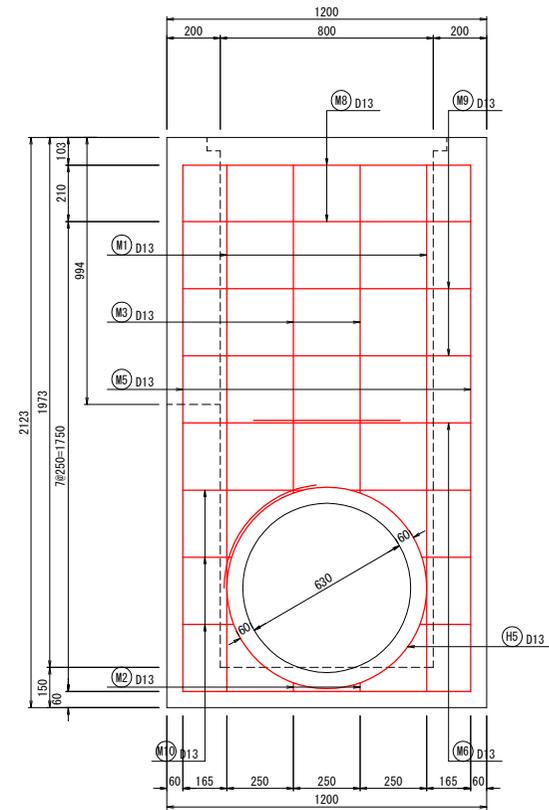
B-B



C-C



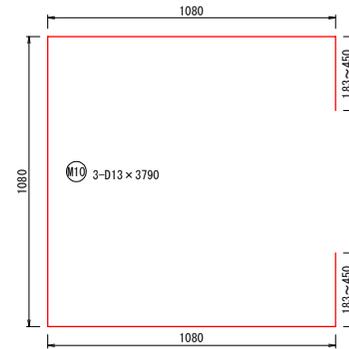
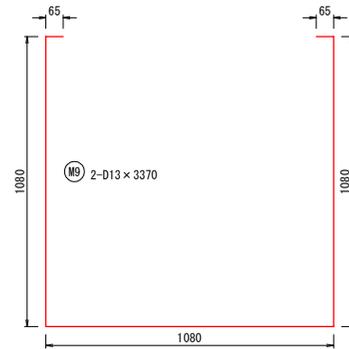
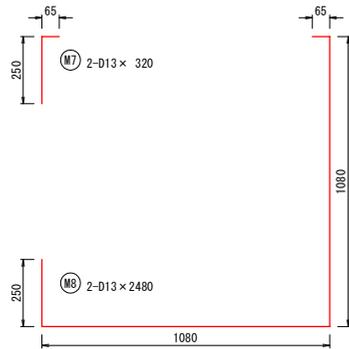
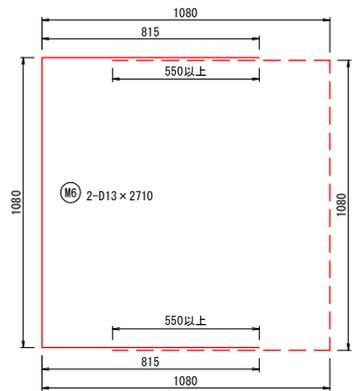
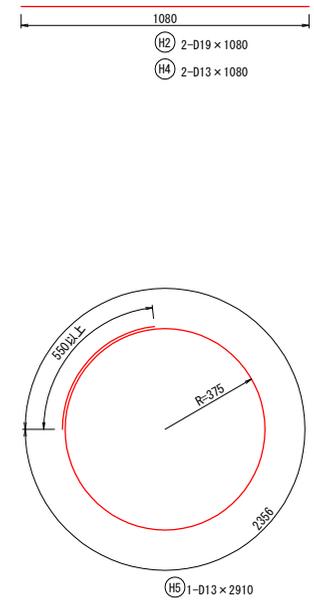
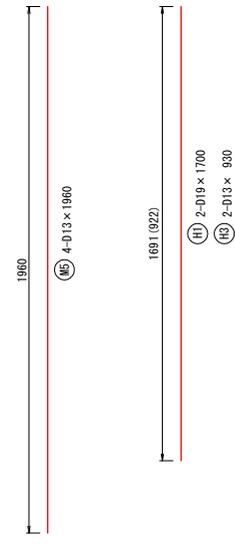
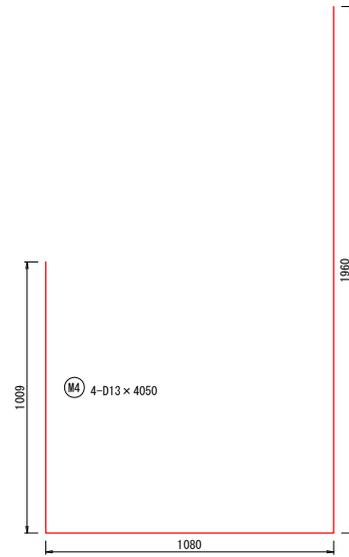
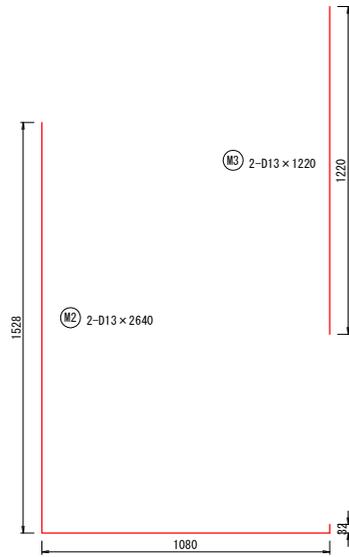
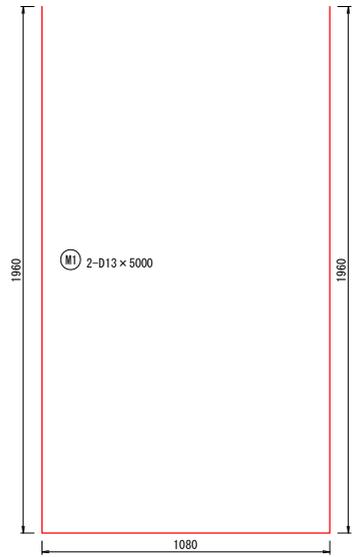
D-D



令和 4 年度	
大久保848号線道路改良工事	
明石市大久保町八木地内	
図名	排水工構造図(4) 12 葉全
縮尺	S=1:20 19
明石市都市局道路安全推進課	

排水工構造図(5) S=1:20

集水柵D型

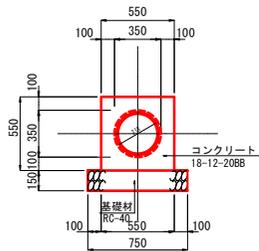
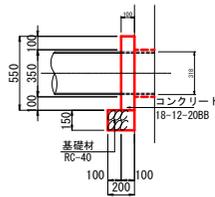


令和 4 年度	
大久保848号線道路改良工事	
明石市大久保町八木地内	
図名	排水工構造図(5) 13 葉全
縮尺	S=1:20 19
明石市都市局道路安全室道路整備課	

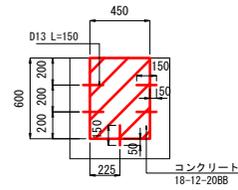
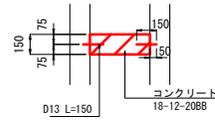
排水工構造図 (6) S=1:20

防護コンクリート

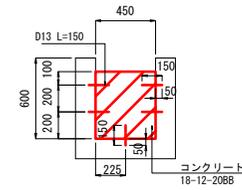
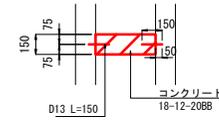
300mm用



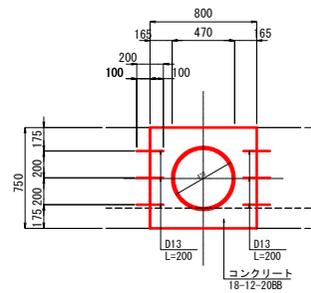
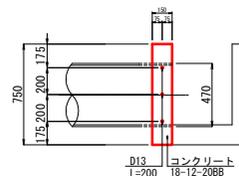
止壁1



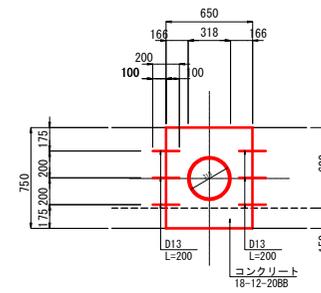
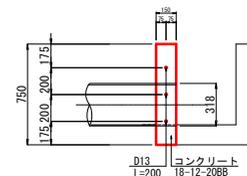
止壁2



止壁3



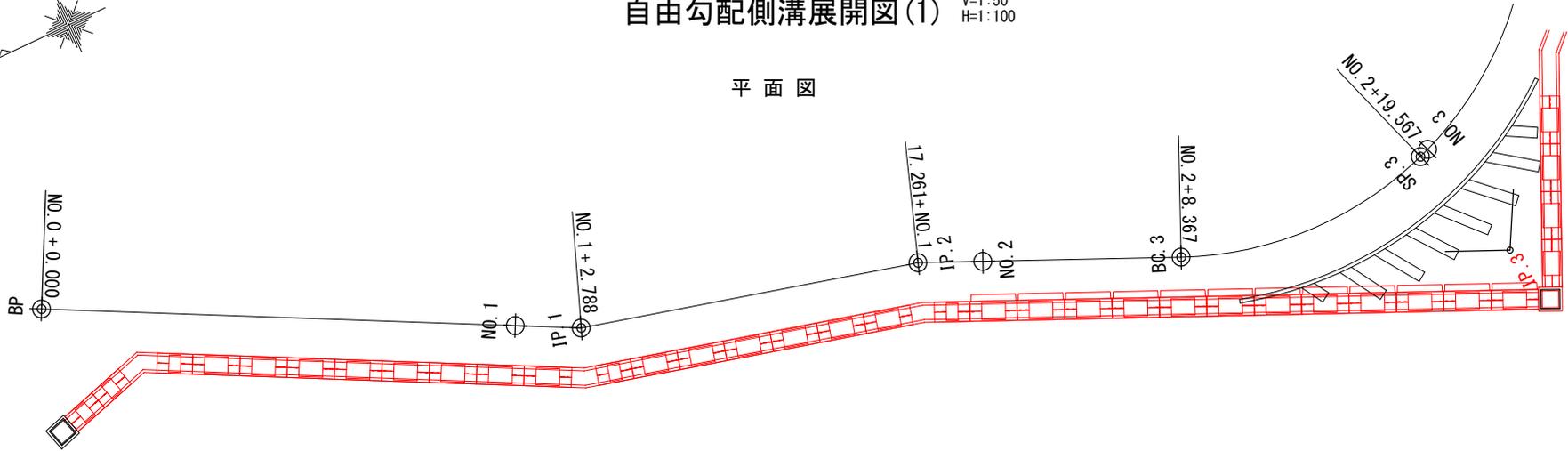
止壁4



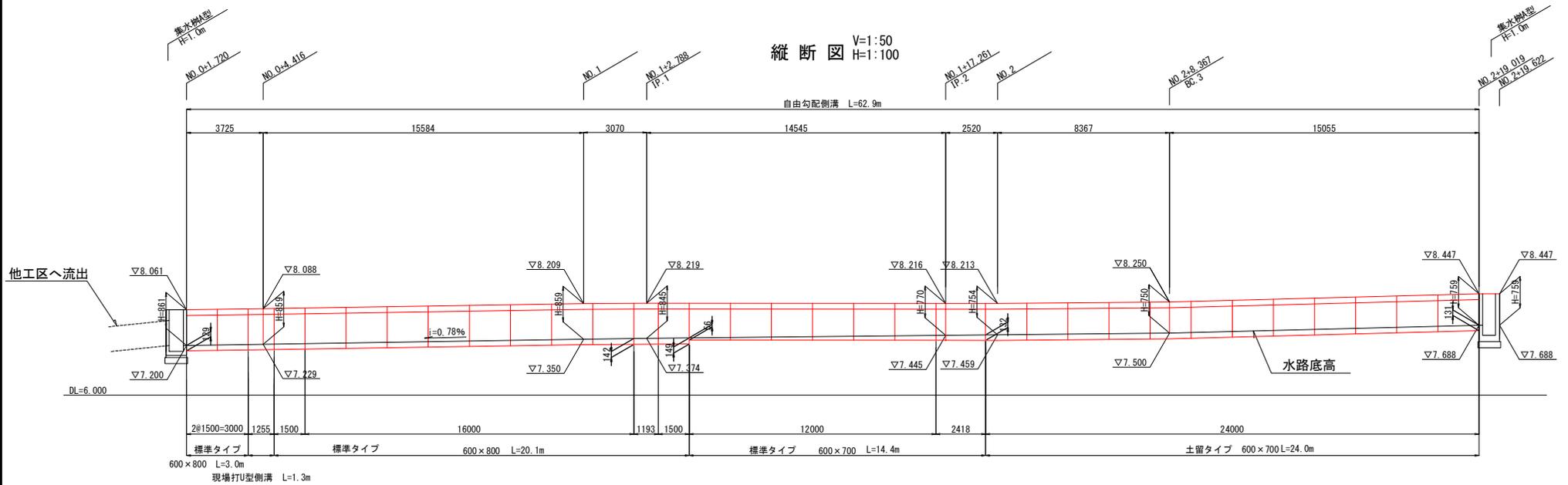
令和 4 年度	
大久保町等幹線道路改良工事	
明石市大久保町八木地内	
図名	排水工構造図 (6) 14
縮尺	1 : 20 19
明石市都市局道路安全室 道路整備課	

自由勾配側溝展開図(1) V=1:50 H=1:100

平面図



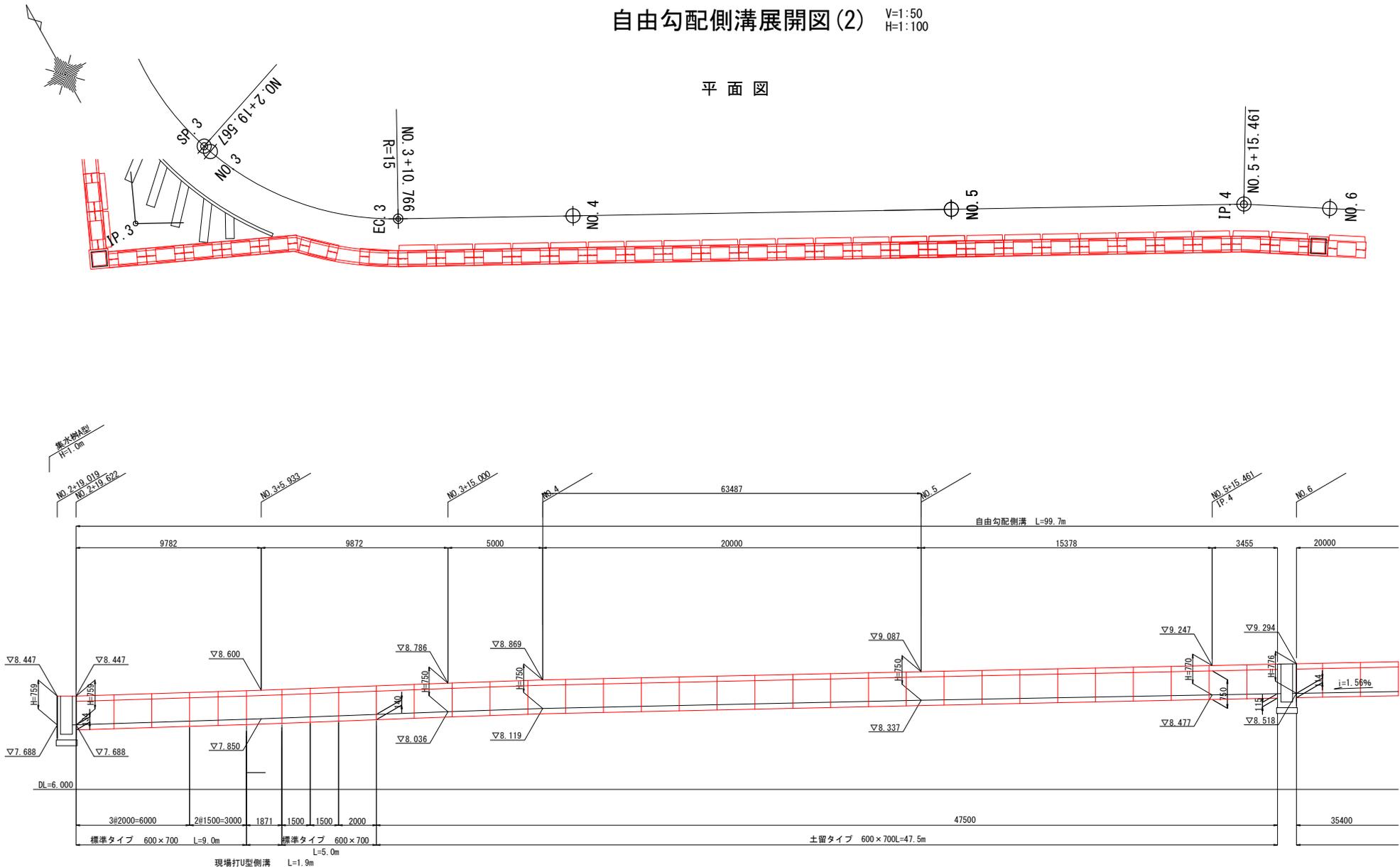
縦断図 V=1:50
H=1:100



令和 4 年度			
大久保4号線道路改良工事			
明石市大久保町八木地内			
図名	自由勾配側溝展開図(1)	15	冊
縮尺	V=1:50 H=1:100	19	冊
明石市都市局道路安全室道路整備課			

自由勾配側溝展開図(2) V=1:50 H=1:100

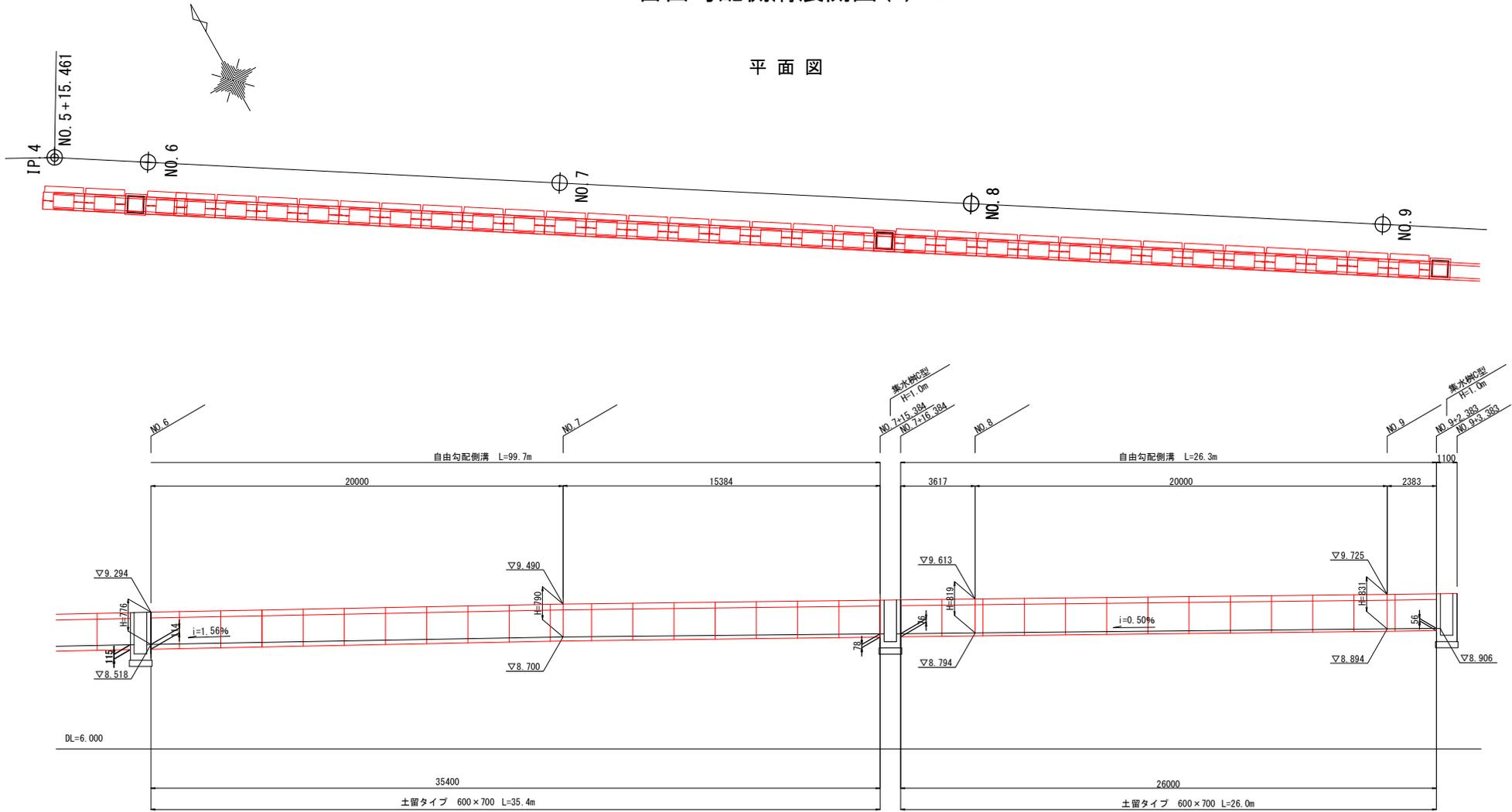
平面図



令和 4 年度			
大久保4号線道路改良工事			
明石市大久保町八木地内			
図名	自由勾配側溝展開図(2)	16	冊
縮尺	V=1:50 H=1:100	19	冊
明石市都市局道路安全室道路整備課			

自由勾配側溝展開図(3) V=1:50 H=1:100

平面図

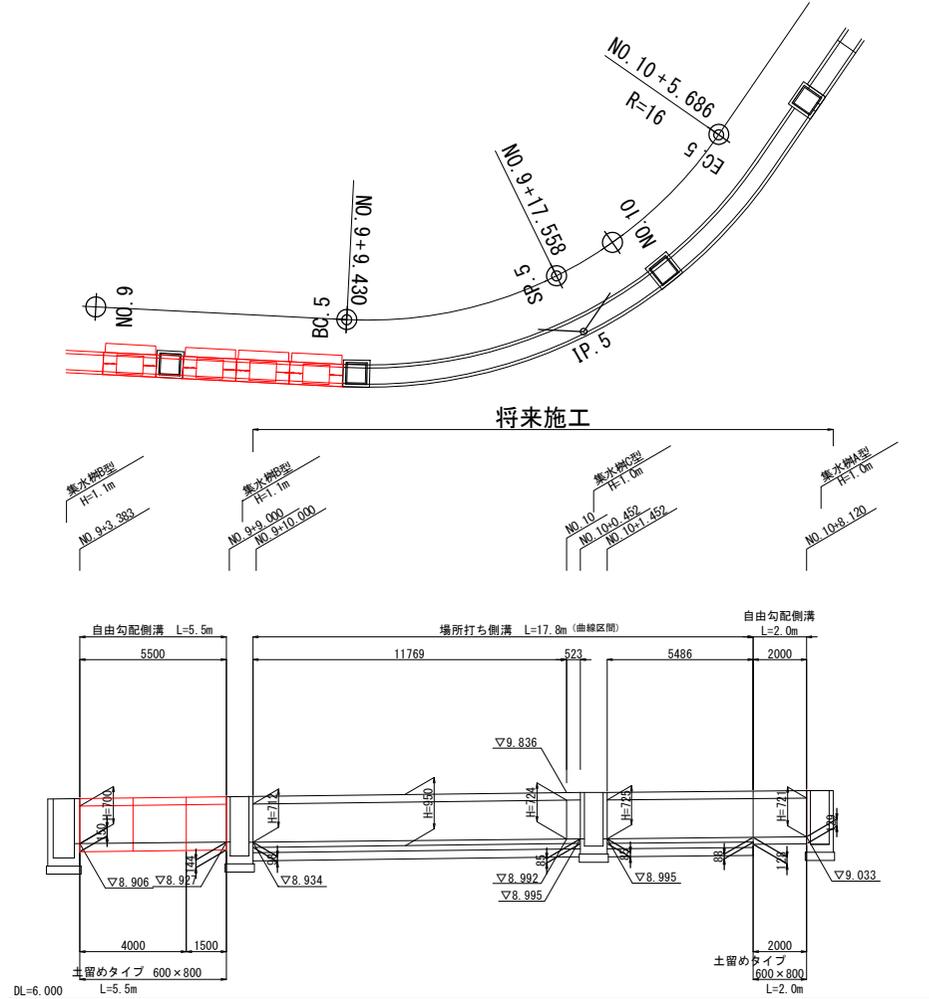


令和 4 年度	
大久保峠等幹線道路改良工事	
明石市大久保町八木地内	
図名	自由勾配側溝展開図(3) 17/19
縮尺	V=1:50 H=1:100 19
明石市都市局道路安全室道路整備課	

自由勾配側溝展開図(4) V=1:50
H=1:100



現場打ち側溝
側面図(曲線区間)
平面図



令和 4 年度	
大久保峠等線形道路改良工事	
明石市大久保町八木地内	
図名	自由勾配側溝展開図(4) 18 冊
縮尺	V=1:50 H=1:100 19
明石市都市局道路安全室道路整備課	

撤去図 1:250



舗装板切断 L=5.6m
 舗装板撤去 A=3.7m²
 仮復旧t=5cm A=3.4m²



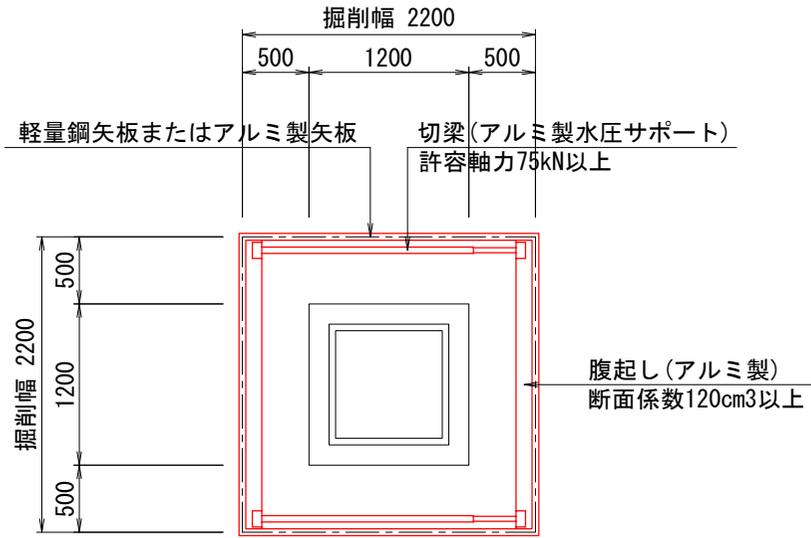
IP. 5
 IA=58-12-50
 R=6,000
 TL=6,908
 CL=16,256
 SL=2,313

令和 4 年度	
大久保848号線道路改良工事	
明石市大久保町八木地内	
図名	撤去図 19/19
縮尺	1:250
明石市都市局道路安全室道路整備課	

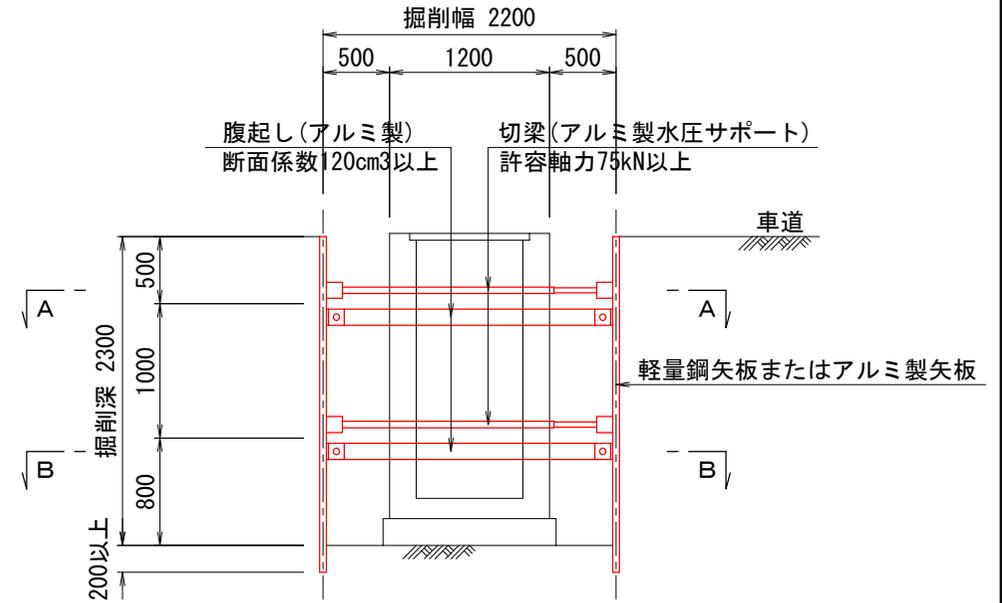
土留・仮締切工参考図

S=1:40

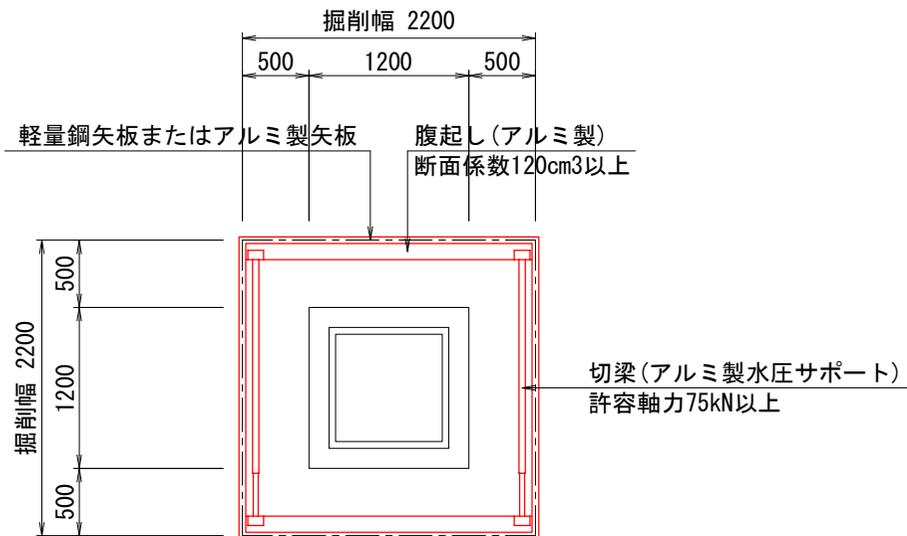
A-A



断面図



B-B



※軽量鋼矢板
板厚 $t=5\text{mm}$
有効幅 $B=250\text{mm}$
高さ $h=36\text{mm}$
断面係数 $Z_x=33.3\text{cm}^3$

※アルミ製矢板
板厚 $t=4\text{mm}$ 以上
有効幅 $B=333\text{mm}$
高さ $h=35\text{mm}$ 以上
断面係数 $Z_x=20.6\text{cm}^3$ 以上

参考図

令和4年度	
大久保848号線道路改良工事	
明石市大久保町八木地内	
図名	土留・仮締切工
縮尺	S=1:40
葉全	
明石市都市局道路安全室道路整備課	

令和4 年度 大久保848号線道路改良工事

見積参考図書
(当初設計)

工事番号 _____

路線名等 大久保848号線 _____

工事箇所 明石市大久保町八木 地内 _____

工 種 道路改良 _____

総括情報表

単価適用年月日	0-04.10.01(0)		
工種区分(公共) 施工地域区分	今回 04 道路改良 36 市街地(DID補正)(1)-3	前回	

工事費内訳書

頁0-0002/0123

	費目・工種・種別・細目	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
本工事費							
道路改良							
道路土工							
作業土工							
床掘り							
		1		式			工種 第0001号明細表
埋戻し							
		1		式			工種 第0002号明細表
基面整正							
		1		式			工種 第0003号明細表
残土処理工							
土砂等運搬							
		1		式			工種 第0004号明細表

工事費内訳書

頁0-0003/0123

費目・工種・種別・細目	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
残土等処分						
	1		式			工種 第0005号明細表
排水構造物工						
側溝工						
自由勾配側溝						
	1		式			工種 第0006号明細表
側溝蓋						
	1		式			工種 第0007号明細表
集水枥・マンホール工						
現場打ち集水枥						
	1		式			工種 第0008号明細表
場所打水路工						
現場打水路						
	1		式			工種 第0009号明細表

工事費内訳書

頁0-0004/0123

費目・工種・種別・細目	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
側溝蓋						
	1		式			工種 第0010号明細表
構造物撤去工						
構造物取壊し工						
コンクリート構造物取壊し						
	1		式			工種 第0011号明細表
舗装版切断						
	1		式			工種 第0012号明細表
舗装版破碎						
	1		式			工種 第0013号明細表
運搬処理工						
殻運搬						
	1		式			工種 第0014号明細表
殻処分						
	1		式			工種 第0015号明細表

工事費内訳書

頁0-0005/0123

費目・工種・種別・細目	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
仮設工						
土留・仮締切工						
アルミ板土留						
	1		式			工種 第0016号明細表
土留支保工						
	1		式			工種 第0017号明細表
鋼材賃料						
	1		式			工種 第0018号明細表
交通管理工						
交通誘導警備員						
	1		式			工種 第0019号明細表
舗装						
舗装工						

工事費内訳書

頁0-0006/0123

費目・工種・種別・細目	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
アスファルト舗装工						
上層路盤(車道・路肩部)						
	1		式			工種 第0020号明細表
表層(車道・路肩部)						
	1		式			工種 第0021号明細表
直接工事費計						
共通仮設費計						
運搬費						
			式			
仮設材運搬費						
	1		式			工種 第0022号明細表
共通仮設費率分						
			式			
純工事費計						

工事費内訳書

頁0-0007/0123

	費目・工種・種別・細目	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
現場管理費				式			
工事原価計							
一般管理費等				式			
工事価格							
消費税相当額				式			
合 計							

工事費内訳書

頁0-0008/0123

費目・工種・種別・細目	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
附帯工事費(1)						
道路改良						
道路土工						
作業土工						
床掘り						
埋戻し	1		式			工種 第0023号明細表
残土処理工	1		式			工種 第0024号明細表
土砂等運搬						
残土等処分	1		式			工種 第0025号明細表
	1		式			工種 第0026号明細表

工事費内訳書

頁0-0009/0123

費目・工種・種別・細目	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
排水構造物工						
管渠工						
暗渠排水管						
基礎材	1		式			工種 第0027号明細表
止壁工	1		式			工種 第0028号明細表
止壁工						
土間コンクリート	1		式			工種 第0029号明細表
土間コンクリート						
土間コンクリート	1		式			工種 第0030号明細表
構造物撤去工						

工事費内訳書

頁0-0010/0123

費目・工種・種別・細目	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
構造物取壊し工						
コンクリート構造物取壊し						
	1		式			工種 第0031号明細表
運搬処理工						
殻運搬						
	1		式			工種 第0032号明細表
殻処分						
	1		式			工種 第0033号明細表
仮設工						
交通管理工						
交通誘導警備員						
	1		式			工種 第0034号明細表
直接工事費計						

工事費内訳書

頁0-0011/0123

費目・工種・種別・細目	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
共通仮設費計						
共通仮設費率分			式			
純工事費計						
現場管理費						
工事原価計			式			
一般管理費等						
工事価格			式			
消費税相当額						
合 計			式			

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
自由勾配側溝 B:600×H: 700	28	m			施工 第0-0007号内訳表
自由勾配側溝 B:600×H: 700 土留め	132	m			施工 第0-0009号内訳表
自由勾配側溝 B:600×H: 800	23	m			施工 第0-0011号内訳表
自由勾配側溝 B:600×H: 800 土留め	5	m			施工 第0-0012号内訳表
合 計	1	式			

工種明細表

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
殻運搬 コンクリート(無筋)構造物とりこわし	13	m3			施工 第0-0040号内訳表
殻運搬 コンクリート(鉄筋)構造物とりこわし	10	m3			施工 第0-0041号内訳表
殻運搬 舗装版破碎	0.2	m3			施工 第0-0042号内訳表
合 計	1	式			

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
仮設材等の積込み・取卸し 〔積込み取卸し(往復分)〕	0.3	t			施工 第0-0052号内訳表
仮設材等の運搬 製品長->12m以内	0.3	t			施工 第0-0053号内訳表
仮設材等の運搬 製品長->12m以内	0.3	t			施工 第0-0053号内訳表
合 計	1	式			

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
硬質塩化ビニル管布設工 径 450mm 管材料 計上する	4	m			施工 第0-0058号内訳表
硬質塩化ビニル管布設工 VU φ300	2	m			施工 第0-0060号内訳表
削孔 300mm用	1	孔			施工 第0-0062号内訳表
防護コンクリート 300mm用	1	箇所			施工 第0-0065号内訳表
合 計	1	式			

止壁工

工種明細表

工種 第0029号明細表

頁0-0041/0123

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
止壁1	1	箇所			施工 第0-0069号内訳表
止壁2	1	箇所			施工 第0-0071号内訳表
止壁3	1	箇所			施工 第0-0072号内訳表
止壁4	1	箇所			施工 第0-0073号内訳表
合計	1	式			

床掘り
 [規格1] 土砂 平均施工幅1m以上2m未満

[規格2] 土留->無し

積算単価算出表

施工 第0-0001号内訳表

頁0-0047/0123
 m3 当り

標準単価	代表機材規格			構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
K1	バックホウ 山積0.45m3(平積0.35) [クローラ型後方超小旋回型] 超低騒音型・排出ガス対策型含					バックホウ(排出ガス対策型・超低騒音型含) 油圧クローラ後方超小旋回 山積0.45m3級			
K									
R1	運転手(特殊)					運転手(特殊)			
R									
Z1	軽油 1.2号 バトル給油					軽油			
Z									
						計			
積算単価 =									
A	土質	=1		土砂					
B	施工方法	=2		平均施工幅1m以上2m未満					
C	土留方式の種類	=1		無し					
D	障害の有無	=1		無し					

埋戻し
[規格1] 最大埋戻幅1m未満

[規格2]

積算単価算出表

施工 第0-0002号内訳表

1
頁0-0048/0123
m3 当り

標準単価	代表機材規格	構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
K1	バックホウ(クローラ型) 山積0.45m3(平積0.35m3) [標準型・排出ガス対策型(第1次基準値)]			バックホウ(クローラ型) [標準型・排出ガス対策型(第1次基準値)] 0.45/0.35m3			
K2	タンバ及びランマ 質量60~80kg			タンバ(ランマ) 60~80kg			
K							
R1	普通作業員			普通作業員			
R2	特殊作業員			特殊作業員			
R3	運転手(特殊)			運転手(特殊)			
R							
Z1	軽油 1.2号 パトロール給油			軽油			
Z2	ガソリン レキユール スタンド			レキユールガソリン			
Z							
				計			
積算単価 =							
A	施工方法	=4	最大埋戻幅1m未満				

積算単価算出表

標準単価	代表機材規格		構成比	基準単価	積算規格	単 価	補 正 構成比	備 考
K								
R1		普通作業員			普通作業員			
R								
Z								
					計			
積算単価 =								

土砂等運搬

[規格1] 土質->土砂(岩塊・玉石混り土含む)

[規格2]

積算単価算出表

[摘要]

施工 第0-0005号内訳表

頁0-0051/0123

1

m3 当り

標準単価	代表機材規格	構成比	基準単価	積算規格	単 価	補 正 構成比	備 考
K1	ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級(タイヤ損耗費及び補修費(良好)含む)			ダンプトラック 10t積級[オンロード・ディーゼル] タイヤ損耗費及び補修費(良好)含む			
K							
R1	運転手(一般)			運転手(一般)			
R							
Z1	軽油 1.2号 ハトロール給油			軽油			
Z							
				計			
積算単価 =							
A	土砂等発生現場	=1	標準				
B	積込機種・規格	=3	バックホウ山積0.45m3(平積0.35m3)				
C	土質	=1	土砂(岩塊・玉石混り土含む)				
D	DID区間の有無	=2	有り				
E	運搬距離	=16	7.0km以下				

施工単価表

施工 第0-0007号内訳表

頁0-0053/0123

自由勾配側溝

[規格1]B:600×H: 700

[規格2]

[摘要]

10

m

当り

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
自由勾配側溝 (Cドレーン) 600×700×2000	5	個			
自由勾配側溝 機械・労務	10	m			施工 第0-0008号内訳表
生コンクリート 18-12-20BB 水セメント比60%以下	0.7	m3			
生コンクリート 18-8-40BB 水セメント比指定なし	0.9	m3			
再生切込砕石 (0~30mm・0~40mm)	1.6	m3			
合 計	10	m			
単 位 当 り	1	m			

施工単価表

施工 第0-0008号内訳表

頁0-0054/0123

自由勾配側溝 機械・労務

[規格 1]

[規格 2]

[摘要]

1

m

当り

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
自由勾配側溝 L=2000mm [昼間] 1000kg/個以下 制約無		m			
単位当り	1	m			
A 夜間作業の有無		=1			
B 規格・仕様区分		=1			
C 時間的制約の有無		=1			
D 基礎砕石施工の有無		=1			

昼間作業
L=2000mm 1000kg/個以下
時間的制約なし
有り

施工単価表

施工 第0-0009号内訳表

頁0-0055/0123

自由勾配側溝

[規格1]B:600×H: 700 土留め

[規格2]

[摘要]

10

m

当り

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
自由勾配側溝 (Cドレーン) 土留め 600×700×2000	5	個			
自由勾配側溝 機械・労務	10	m			施工 第0-0010号内訳表
生コンクリート 18-12-20BB 水セメント比60%以下	0.7	m3			
生コンクリート 18-8-40BB 水セメント比指定なし	1.2	m3			
再生切込砕石 (0~30mm・0~40mm)	2.1	m3			
合 計	10	m			
単 位 当 り	1	m			

施工単価表

施工 第0-0011号内訳表

頁0-0057/0123

自由勾配側溝

[規格1]B:600×H: 800

[規格2]

[摘要]

10

m

当り

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
自由勾配側溝 (Cドレーン) 600×800×2000	5	個			
自由勾配側溝 機械・労務	10	m			施工 第0-0010号内訳表
生コンクリート 18-12-20BB 水セメント比60%以下	0.9	m3			
生コンクリート 18-8-40BB 水セメント比指定なし	0.9	m3			
再生切込砕石 (0~30mm・0~40mm)	1.6	m3			
合 計	10	m			
単 位 当 り	1	m			

施工単価表

施工 第0-0012号内訳表

頁0-0058/0123

自由勾配側溝

[規格1]B:600×H: 800 土留め

[規格2]

[摘要]

10

m

当り

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
自由勾配側溝 (Cドレーン) 土留め 600×800×2000	5	個			
自由勾配側溝 機械・労務	10	m			施工 第0-0010号内訳表
生コンクリート 18-12-20BB 水セメント比60%以下	0.9	m3			
生コンクリート 18-8-40BB 水セメント比指定なし	1.2	m3			
再生切込砕石 (0~30mm・0~40mm)	2.1	m3			
合 計	10	m			
単 位 当 り	1	m			

現場打ち集水桝・街渠桝(本体)
 [規格1] 18-12-20BB[水セメント比 60%以下]

積算単価算出表

施工 第0-0016号内訳表

頁0-0062/0123

[規格2] 1箇所当りCo使用量->0.61m3を超え0.65m3以下 [摘要]

1

箇所 当り

標準単価	代表機材規格	構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
K1	バックホウ 山積0.8m3(平積0.6m3) [クローラ型] 排出ガス対策型含			バックホウ(排出ガス対策型含) 油圧式クローラ型山積0.8m3級			
K							
R1	型わく工			型わく工			
R2	普通作業員			普通作業員			
R3	土木一般世話役			土木一般世話役			
R4	特殊作業員			特殊作業員			
R							
Z1	生コンクリート 高炉18-8-25(20) W/C=60%			生コンクリート 18-12-20BB 水セメント比60%以下			
Z2	軽油 1.2号 パトロール給油			軽油			
Z							
				計			
積算単価 =							
A	コンクリート規格	=2	18-12-20BB[水セメント比 60%以下]				
B	1箇所当りコンクリート使用量	=18	0.61m3を超え0.65m3以下				
C	コンクリート打設工法	=2	人力打設				
D	養生工の種類	=1	一般養生・特殊養生(練炭)				

現場打ち集水桝・街渠桝(本体)
 [規格1] 18-8-40BB[水セメント比 60%以下]

積算単価算出表

施工 第0-0018号内訳表

頁0-0064/0123

[規格2] 1箇所当りCo使用量->0.77m3を超え0.82m3以下 [摘要]

1

箇所 当り

標準単価	代表機材規格	構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
K1	バックホウ 山積0.8m3(平積0.6m3) [クローラ型] 排出ガス対策型含			バックホウ(排出ガス対策型含) 油圧式クローラ型山積0.8m3級			
K							
R1	型わく工			型わく工			
R2	普通作業員			普通作業員			
R3	土木一般世話役			土木一般世話役			
R4	特殊作業員			特殊作業員			
R							
Z1	生コンクリート 高炉18-8-25(20) W/C=60%			生コンクリート 18-8-40BB 水セメント比60%以下			
Z2	軽油 1.2号 パトロール給油			軽油			
Z							
				計			
積算単価 =							
A	コンクリート規格	=1	18-8-40BB[水セメント比 60%以下]				
B	1箇所当りコンクリート使用量	=22	0.77m3を超え0.82m3以下				
C	コンクリート打設工法	=2	人力打設				
D	養生工の種類	=1	一般養生・特殊養生(練炭)				

現場打ち集水桝・街渠桝(本体)
 [規格1] 18-12-20BB[水セメント比 60%以下]

積算単価算出表

施工 第0-0020号内訳表

頁0-0066/0123

[規格2] 1箇所当りCo使用量->0.69m3を超え0.73m3以下 [摘要]

1

箇所 当り

標準単価	代表機材規格	構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
K1	バックホウ 山積0.8m3(平積0.6m3) [クローラ型] 排出ガス対策型含			バックホウ(排出ガス対策型含) 油圧式クローラ型山積0.8m3級			
K							
R1	型わく工			型わく工			
R2	普通作業員			普通作業員			
R3	土木一般世話役			土木一般世話役			
R4	特殊作業員			特殊作業員			
R							
Z1	生コンクリート 高炉18-8-25(20) W/C=60%			生コンクリート 18-12-20BB 水セメント比60%以下			
Z2	軽油 1.2号 パトロール給油			軽油			
Z							
				計			
積算単価 =							
A	コンクリート規格	=2	18-12-20BB[水セメント比 60%以下]				
B	1箇所当りコンクリート使用量	=20	0.69m3を超え0.73m3以下				
C	コンクリート打設工法	=2	人力打設				
D	養生工の種類	=1	一般養生・特殊養生(練炭)				

現場打ち集水桝・街渠桝(本体)
 [規格1] 18-12-20BB[水セメント比 60%以下]

[規格2] 1箇所当りCo使用量->1.44m3を超え1.52m3以下 [摘要]

積算単価算出表

施工 第0-0022号内訳表

頁0-0068/0123

1 箇所 当り

標準単価	代表機材規格	構成比	基準単価	積算規格	単 価	補 正 構成比	備 考
K1	バックホウ 山積0.8m3(平積0.6m3)2.9t吊 [クローラ型クレーン付] 超低騒音型・排出ガス対策型含			バックホウ(排出ガス対策型・超低騒音型含) 油圧式クローラ型クレーン付(2.9t) 山積0.80m3級			
K2	バックホウ 山積0.8m3(平積0.6m3) [クローラ型] 排出ガス対策型含			バックホウ(排出ガス対策型含) 油圧式クローラ型山積0.8m3級			
K							
R1	型わく工			型わく工			
R2	普通作業員			普通作業員			
R3	土木一般世話役			土木一般世話役			
R4	特殊作業員			特殊作業員			
R							
Z1	生コンクリート 高炉18-8-25(20) W/C=60%			生コンクリート 18-12-20BB 水セメント比60%以下			
Z2	軽油 1.2号 パトロール給油			軽油			
Z							
				計			
積算単価 =							
A	コンクリート規格	=2	18-12-20BB[水セメント比 60%以下]				
B	1箇所当りコンクリート使用量	=33	1.44m3を超え1.52m3以下				
C	コンクリート打設工法	=1	バックホウ(クレーン機能付)打設				
D	養生工の種類	=1	一般養生・特殊養生(練炭)				

施工単価表

施工 第0-0025号内訳表

頁0-0071/0123

現場打U型側溝

[規格1] 名称・規格	[規格2] 数	[単位] 単位	[摘要] 単価	金額	備考
基礎碎石 碎石厚->17.5cmを超え20.0cm以下 再生クワッチャン RC-30, RC-40	9.3	m2			施工 第0-0026号内訳表
型枠 一般型枠 均しコンクリート	2.0	m2			施工 第0-0027号内訳表
コンクリート 無筋・鉄筋構造物	0.9	m3			施工 第0-0028号内訳表
型枠 一般型枠 小型構造物	37.0	m2			施工 第0-0029号内訳表
コンクリート 小型構造物	3.2	m3			施工 第0-0030号内訳表
鉄筋工 異形棒鋼 (SD345) D13mm	0.244	t			施工 第0-0023号内訳表
合 計	10	m			
単 位 当 り	1	m			

基礎砕石

[規格1] 砕石厚->17.5cmを超え20.0cm以下

[規格2] 再生クラッシャー RC-30, RC-40

積算単価算出表

施工 第0-0026号内訳表

頁0-0072/0123

[摘要]

1

m2 当り

標準単価	代表機労材規格		構成比	基準単価	積算規格	単 価	補 正 構成比	備 考
K1		バックホウ 山積0.8m3(平積0.6m3) [クローラ型] 排出ガス対策型含			バックホウ(排出ガス対策型含) 油圧式クローラ型山積0.8m3級			
K								
R1		普通作業員			普通作業員			
R2		特殊作業員			特殊作業員			
R3		運転手(特殊)			運転手(特殊)			
R4		土木一般世話役			土木一般世話役			
R								
Z1		再生クラッシャー RC-40			再生切込砕石 (0~30mm・0~40mm)			
Z2		軽油 1.2号 パトロール給油			軽油			
Z								
					計			
積算単価 =								
A	砕石の厚さ	=4	17.5cmを超え20.0cm以下					
B	砕石の種類	=1	再生クラッシャー RC-30, RC-40					

型枠
[規格1] 一般型枠

[規格2] 均しコンクリート

積算単価算出表

施工 第0-0027号内訳表

頁0-0073/0123
m2 当り

標準単価	代表機材規格		構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
K							1	
R1		型わく工			型わく工			
R2		普通作業員			普通作業員			
R3		土木一般世話役			土木一般世話役			
R								
Z								
					計			
積算単価 =								
A	型枠の種類	=1	一般型枠					
B	構造物の種類	=4	均しコンクリート					

積算単価算出表

標準単価	代表機労材規格		構成比	基準単価	積算規格	単 価	補 正 構成比	備 考
K								
R1		普通作業員			普通作業員			
R2		特殊作業員			特殊作業員			
R3		土木一般世話役			土木一般世話役			
R								
Z1		生コンクリート 高炉24-12-25(20) W/C=55%			生コンクリート 18-8-40BB 水セメント比60%以下			
Z								
					計			
積算単価 =								
A	構造物種別	=1	無筋・鉄筋構造物					
B	打設工法	=4	人力打設					
C	コンクリート規格	=9	18-8-40BB[水セメント比 60%以下]					
E	養生工の種類	=2	一般養生					
G	現場内小運搬の有無	=2	無し					

型枠
[規格1] 一般型枠

[規格2] 小型構造物

積算単価算出表

施工 第0-0029号内訳表

頁0-0075/0123
m2 当り

標準単価	代表機労材規格		構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
K							1	
R1		型わく工			型わく工			
R2		普通作業員			普通作業員			
R3		土木一般世話役			土木一般世話役			
R								
Z								
					計			
積算単価 =								
A	型枠の種類	=1	一般型枠					
B	構造物の種類	=2	小型構造物					

積算単価算出表

標準単価	代表機材規格		構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
K								
R1		普通作業員			普通作業員			
R2		土木一般世話役			土木一般世話役			
R3		特殊作業員			特殊作業員			
R								
Z1		生コンクリート 高炉24-12-25(20) W/C=55%			生コンクリート 24-12-20BB 水セメント比55%以下			
Z								
					計			
積算単価 =								
A	構造物種別	=2		小型構造物				
B	打設工法	=4		人力打設				
C	コンクリート規格	=18		24-12-20BB[水セメント比 55%以下]				
E	養生工の種類	=2		一般養生				
G	現場内小運搬の有無	=2		無し				

施工単価表

施工 第0-0031号内訳表

頁0-0077/0123

現場打側溝蓋

[規格1] 名称・規格	[規格2] 数	[単位] 単位	[摘要] 単価	金額	備考
埋設鋼板型枠	6.9	m ²			施工 第0-0032号内訳表
型枠 一般型枠 鉄筋・無筋構造物	3.0	m ²			施工 第0-0033号内訳表
コンクリート 無筋・鉄筋構造物	1.2	m ³			施工 第0-0034号内訳表
鉄筋工 異形棒鋼 (SD345) D13mm	0.098	t			施工 第0-0023号内訳表
鉄筋工 異形棒鋼 (SD345) D13mm	0.008	t			施工 第0-0035号内訳表
合計	10	m			
単位当り	1	m			

型枠
[規格1] 一般型枠

[規格2] 鉄筋・無筋構造物

積算単価算出表

施工 第0-0033号内訳表

頁0-0079/0123
m2 当り

標準単価	代表機労材規格		構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
K							1	
R1		型わく工			型わく工			
R2		普通作業員			普通作業員			
R3		土木一般世話役			土木一般世話役			
R								
Z								
					計			
積算単価	=							
A	型枠の種類	=1		一般型枠				
B	構造物の種類	=1		鉄筋・無筋構造物				

積算単価算出表

標準単価	代表機材規格		構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
K								
R1		普通作業員			普通作業員			
R2		特殊作業員			特殊作業員			
R3		土木一般世話役			土木一般世話役			
R								
Z1		生コンクリート 高炉24-12-25(20) W/C=55%			生コンクリート 24-12-20BB 水セメント比55%以下			
Z								
					計			
積算単価 =								
A	構造物種別	=1	無筋・鉄筋構造物					
B	打設工法	=4	人力打設					
C	コンクリート規格	=18	24-12-20BB[水セメント比 55%以下]					
E	養生工の種類	=2	一般養生					
G	現場内小運搬の有無	=2	無し					

舗装版切断(アスファルト舗装版)
[規格1] As舗装版厚->15cm以下

[規格2]

積算単価算出表

施工 第0-0038号内訳表

頁0-0084/0123
m 当り

標準単価	代表機材規格		構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
K1		コンクリートカッタ 切削深20cm級 [ハキューム式・湿式]			コンクリートカッタ [ハキューム式・湿式] 20cm級			
K								
R1		特殊作業員			特殊作業員			
R2		土木一般世話役			土木一般世話役			
R3		普通作業員			普通作業員			
R								
Z1		コンクリートカッタ(プレート) 径22インチ			舗道版切断 カッタープレート 径22インチ			
Z2		カソリン レギュラー スタンド			レギュラーカソリン			
Z								
					計			
積算単価 =								
A	舗装版種別	=1		アスファルト舗装版				
B	アスファルト舗装版厚	=1		15cm以下				

積算単価算出表

標準単価	代表機材規格		構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
K1	コンクリート圧砕機(単体) [大割機] 開口幅735~850mm 破碎力550~980kN				バックホウ用アタッチメント [コンクリート圧砕装置(大割機)] 開口幅735~850mm 破碎力550~980kN			
K2	バックホウ 山積0.45m3(平積0.35m3) [クローラ型] 排出ガス対策型含				バックホウ(排出ガス対策型含) 油圧式クローラ型山積0.45m3級			
K								
R1	運転手(特殊)				運転手(特殊)			
R2	普通作業員				普通作業員			
R3	土木一般世話役				土木一般世話役			
R								
Z1	軽油 1.2号 パトロール給油				軽油			
Z								
					計			
積算単価 =								
A	舗装版種別	=1		アスファルト舗装版				
B	障害等の有無	=1		無し				
C	騒音振動対策	=2		必要				
D	舗装版厚	=1		15cm以下				
F	積込作業の有無	=1		有り				

殻運搬

[規格 1] コンクリート(無筋)構造物とりこわし

[規格 2]

積算単価算出表

施工 第0-0040号内訳表

頁0-0086/0123

[摘要]

1

m3 当り

標準単価	代表機材規格		構成比	基準単価	積算規格	単 価	補 正 構成比	備 考
K1		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級(タイヤ損耗費及び補修費(良好)含む)			ダンプトラック 10t積級[オンロード・ディーゼル] タイヤ損耗費及び補修費(良好)含む			
K								
R1		運転手(一般)			運転手(一般)			
R								
Z1		軽油 1.2号 ハトロール給油			軽油			
Z								
					計			
積算単価 =								
A	殻発生作業	=1	コンクリート(無筋)構造物とりこわし					
B	積込工法区分	=1	機械					
C	DID区間の有無	=2	有り					
D	運搬距離	=20	8.0km以下					

殻運搬

[規格 1] コンクリート(鉄筋)構造物とりこわし

[規格 2]

積算単価算出表

施工 第0-0041号内訳表

頁0-0087/0123

[摘要]

1

m3 当り

標準単価	代表機材規格		構成比	基準単価	積算規格	単 価	補 正 構成比	備 考
K1		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級(タイヤ損耗費及び補修費(良好)含む)			ダンプトラック 10t積級[オンロード・ディーゼル] タイヤ損耗費及び補修費(良好)含む			
K								
R1		運転手(一般)			運転手(一般)			
R								
Z1		軽油 1.2号 ハトロール給油			軽油			
Z								
					計			
積算単価 =								
A	殻発生作業	=2	コンクリート(鉄筋)構造物とりこわし					
B	積込工法区分	=1	機械					
C	DID区間の有無	=2	有り					
D	運搬距離	=20	8.0km以下					

積算単価算出表

標準単価	代表機材規格	構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
K1	ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級(タイヤ損耗費及び補修費(良好)含む)			ダンプトラック 10t積級[オンロード・ディーゼル] タイヤ損耗費及び補修費(良好)含む			
K							
R1	運転手(一般)			運転手(一般)			
R							
Z1	軽油 1.2号 ハトロール給油			軽油			
Z							
				計			
積算単価 =							
A	殻発生作業 =3		舗装版破碎				
B	積込工法区分 =2		機械(騒音対策不要, 15cm超or騒音対策必要)				
C	DID区間の有無 =2		有り				
D	運搬距離 =18		7.0km以下				

施工単価表

施工 第0-0045号内訳表

頁0-0091/0123

処分費

[規格1]アスファルト殻

[規格2]

[摘要]

1 式 当り

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
投棄料	1.00	式			1 処分費
単位当り	1	式			
A 種類 B 処分量(m ³ 又はt) C ★★投棄料(円/t)		=2	As 殻		
		=0.2	処分量(m ³ 又はt)		
		=	★★投棄料(円/t)		

施工単価表

施工 第0-0046号内訳表

頁0-0092/0123

アルミ板建込引抜工（両側分）

[規格1]	[規格2]	[摘要]			
名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役		人			
特殊作業員		人			
普通作業員		人			
バックホ運転		時間			
合 計	100	m			
単 位 当 り	1	m			
A 作業種別		=3	建込+引抜		
B 掘削深		=3	掘削深 2.5m以下		
C バックホ規格		=4	バックホ 山積0.45m3	クレーン機能付 2.9t吊	

上層路盤(車道・路肩部)
 [規格1] 粒調碎石 M-25, M-30, M-40

[規格2] t = 100mm

積算単価算出表

施工 第0-0050号内訳表

頁0-0095/0123
 m2 当り

標準単価	代表機労材規格	構成比	基準単価	積算規格	単 価	補 正 構成比	備 考
K1	モータグレーダ フレート幅3.1m [土工用・排出ガス対策型(第2次基準値)]			モータグレーダ [土工用・排出ガス対策型(第2次基準値)] 3.1m			
K2	ロッドローラ 質量10t [マカダム・排出ガス対策型(第2次基準値)]			ロッドローラ [マカダム・排出ガス対策型(第2次基準値)] 10t			
K3	タイヤローラ 質量8~20t 排出ガス対策型含			タイヤローラ(排出ガス対策型含) 8~20t			
K							
R1	運転手(特殊)			運転手(特殊)			
R2	特殊作業員			特殊作業員			
R3	普通作業員			普通作業員			
R4	土木一般世話役			土木一般世話役			
R							
Z1	再生粒度調整碎石 RM-40 全厚t=150mm			粒調碎石 (0~25mm・0~30mm・0~40mm)			
Z2	軽油 1.2号 バトル給油			軽油			
Z							
				計			
積算単価 =							
A	材料	=3	粒調碎石 M-25, M-30, M-40				
D	全仕上り厚(mm)	=100	全仕上り厚(mm)				
E	施工区分	=1	1層施工				

表層(車道・路肩部)
[規格1] t = 50mm

[規格2] 密粒度アスコン[再](13)

積算単価算出表

施工 第0-0051号内訳表

頁0-0096/0123
m2 当り

標準単価	代表機材規格	構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
K1	振動ローラ(舗装用) 質量0.5~0.6t [ハンドガイド式]			振動ローラ(舗装用) [ハンドガイド式] 0.5~0.6t			
K2	振動コンパクタ 質量40~60kg [前進型]			振動コンパクタ [前進型] 40~60kg			
K							
R1	特殊作業員			特殊作業員			
R2	普通作業員			普通作業員			
R3	土木一般世話役			土木一般世話役			
R							
Z1	密粒度アスコン TOP20 t=50mm			再生密粒度アスコン TOP13			
Z2	カソリン レキユール スタンド			レキユールカソリン			
Z3	軽油 1.2号 パトロール給油			軽油			
Z							
				計			
積算単価 =							
A	平均幅員	=1	1.4m未満(1層当り平均厚50mm以下)				
B	1層当り平均仕上り厚(mm)	=50	1層当り平均仕上り厚(mm)				
C	材料	=8	密粒度アスコン[再](13)				
D	夜間割増の有無	=1	無し				
E	瀝青材料種類	=5	無し				

床掘り
[規格1] 土砂 上記以外(小規模)

[規格2]

積算単価算出表

施工 第0-0054号内訳表

頁0-0099/0123
m3 当り

1

標準単価	代表機労材規格		構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
K1		バックホウ(クローラ型) 山積0.28m3 (平積0.2m3) [後方超小旋回型・排ガス(第2次)]			バックホウ(クローラ型) [後方超小旋回型・排ガス対策型(第2次)] 0.28/0.2m3			
K								
R1		運転手(特殊)			運転手(特殊)			
R2		普通作業員			普通作業員			
R								
Z1		軽油 1.2号 バトル給油			軽油			
Z								
					計			
積算単価 =								
A	土質	=1	土砂					
B	施工方法	=5	上記以外(小規模)					

埋戻し
[規格1] 上記以外(小規模) 土砂

[規格2]

積算単価算出表

施工 第0-0055号内訳表

頁0-0100/0123
m3 当り

1

標準単価	代表機材規格	構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
K1	バックホウ(クローラ型) 山積0.28m3 (平積0.2m3) [後方超小旋回型・排ガス(第2次)]			バックホウ(クローラ型) [後方超小旋回型・排ガス対策型(第2次)] 0.28/0.2m3			
K2	タンバ及びランマ 質量60~80kg			タンバ及びランマ [ランマ] 60~80kg			
K							
R1	普通作業員			普通作業員			
R2	特殊作業員			特殊作業員			
R3	運転手(特殊)			運転手(特殊)			
R							
Z1	軽油 1.2号 パトロール給油			軽油			
Z2	ガソリン レキユール スタンド			レキユールガソリン			
Z							
				計			
積算単価 =							
A	施工方法	=5	上記以外(小規模)				
B	土質	=1	土砂				

土砂等運搬

[規格1] 土質->土砂(岩塊・玉石混り土含む)

[規格2]

積算単価算出表

施工 第0-0056号内訳表

頁0-0101/0123

[摘要]

1

m3 当り

標準単価	代表機材規格		構成比	基準単価	積算規格	単 価	補 正 構成比	備 考
K1		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 4t積級(タイヤ損耗費及び補修費(良好)含む)			ダンプトラック 4t積級[オンロード・ディーゼル] タイヤ損耗費及び補修費(良好)含む			
K								
R1		運転手(一般)			運転手(一般)			
R								
Z1		軽油 1.2号 ハトロール給油			軽油			
Z								
					計			
積算単価 =								
A	土砂等発生現場	=2	小規模					
B	積込機種・規格	=5	バックホウ山積0.28m3(平積0.2m3)					
C	土質	=1	土砂(岩塊・玉石混り土含む)					
D	DID区間の有無	=2	有り					
E	運搬距離	=16	7.0km以下					

施工単価表

施工 第0-0058号内訳表

頁0-0103/0123

硬質塩化ビニル管布設工

[規格1] 径 450mm

[規格2] 管材料 計上する

[摘要]

10

m

当り

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
硬質塩化ビニル管(ゴム輪片受直管) 径450mm×厚13.2mm×4m		本			
土木一般世話役		人			
特殊作業員		人			
普通作業員		人			
バックホ運転 (賃料)		日			
諸雑費		%			
合 計	10	m			
単 位 当 り	1	m			
A 管種別 B 規格 C 管材料計上区分		=2 =6 =1	下水道用硬質塩化ビニル管(ゴム輪形) 径 450mm 管材料 計上する		

暗渠排水管
[規格1] 据付

[規格2] 直管 (200~400mm)

積算単価算出表

施工 第0-0061号内訳表

頁0-0105/0123
m 当り

標準単価	代表機材規格		構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
K							1	
R1		普通作業員			普通作業員			
R2		土木一般世話役			土木一般世話役			
R								
Z1		暗渠排水管 直管 呼び径300mm ポリエチレン吸水管			ダミー			
Z								
					計			
積算単価 =								
A	作業区分	=1	据付					
B	管種別	=1	直管					
C	呼び径	=2	200~400mm					
E	暗渠排水管 (円/m) の単価コード	=0	暗渠排水管 (円/m) の単価コード					

コンクリート削孔(コンクリート穿孔機)
 [規格1] 削孔径->180mm以上200mm以下

[規格2] 削孔深さ->50mm以上200mm未満

積算単価算出表

施工 第0-0063号内訳表

頁0-0107/0123

[摘要]

1

孔 当り

標準単価	代表機材規格		構成比	基準単価	積算規格	単 価	補 正 構成比	備 考
K1		コンクリート穿孔機 φ25cm [電動式コアローリングマシン]			コンクリート穿孔機 [電動式コアローリングマシン] [簡易仕様型] φ25cm			
K2		発動発電機 3kVA [ガソリンエンジン駆動]			発動発電機 ガソリンエンジン駆動 3kVA			
K								
R1		特殊作業員			特殊作業員			
R2		普通作業員			普通作業員			
R3		土木一般世話役			土木一般世話役			
R								
Z1		ダイヤモンドビット φ204mm			ダイヤモンドビット 径204.0mm(スタンダード)			
Z2		ガソリン レキユラー スタンド			レキユラーガソリン			
Z								
					計			
積算単価 =								
A	削孔径	=9	180mm以上200mm以下					
B	削孔深さ	=1	50mm以上200mm未満					

積算単価算出表

標準単価	代表機材規格		構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
K								
R1		普通作業員			普通作業員			
R2		土木一般世話役			土木一般世話役			
R3		特殊作業員			特殊作業員			
R								
Z1		生コンクリート 高炉24-12-25(20) W/C=55%			生コンクリート 18-12-20BB 水セメント比60%以下			
Z								
					計			
積算単価 =								
A	構造物種別	=2	小型構造物					
B	打設工法	=4	人力打設					
C	コンクリート規格	=10	18-12-20BB[水セメント比 60%以下]					
E	養生工の種類	=2	一般養生					
G	現場内小運搬の有無	=2	無し					

基礎砕石

[規格 1] 砕石厚->12.5cmを超え17.5cm以下

[規格 2] 再生クラッシャー RC-30, RC-40

積算単価算出表

施工 第0-0067号内訳表

頁0-0111/0123

[摘要]

1

m2 当り

標準単価	代表機労材規格		構成比	基準単価	積算規格	単 価	補 正 構成比	備 考
K1		バックホウ 山積0.8m3(平積0.6m3) [クローラ型] 排出ガス対策型含			バックホウ(排出ガス対策型含) 油圧式クローラ型山積0.8m3級			
K								
R1		普通作業員			普通作業員			
R2		特殊作業員			特殊作業員			
R3		運転手(特殊)			運転手(特殊)			
R4		土木一般世話役			土木一般世話役			
R								
Z1		再生クラッシャー RC-40			再生切込砕石 (0~30mm・0~40mm)			
Z2		軽油 1.2号 パトロール給油			軽油			
Z								
					計			
積算単価 =								
A	砕石の厚さ	=3	12.5cmを超え17.5cm以下					
B	砕石の種類	=1	再生クラッシャー RC-30, RC-40					

施工単価表

施工 第0-0069号内訳表

頁0-0113/0123

止壁1

[規格1]	[規格2]	[摘要]				10 箇所 当り
名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考	
型枠 一般型枠 小型構造物	5.4	m2			施工 第0-0029号内訳表	
コンクリート 小型構造物	0.4	m3			施工 第0-0066号内訳表	
鉄筋工 異形棒鋼 (SD345) D13mm	0.007	t			施工 第0-0035号内訳表	
コンクリート削孔(電動ハンマドリル)	50	孔			施工 第0-0070号内訳表	
合 計	10	箇所				
単 位 当 り	1	箇所				

標準単価	代表機材規格		構成比	基準単価	積算規格	単 価	補 正 構成比	備 考
K1		発動発電機 2kVA [ガソリンエンジン駆動]			発動発電機 ガソリンエンジン駆動 2kVA			
K2		電動ハンマドリル [穴あけ能力 φ38~40mm]			その他 [電動ハンマドリル] φ38mm~40mm			
K								
R1		特殊作業員			特殊作業員			
R2		普通作業員			普通作業員			
R3		土木一般世話役			土木一般世話役			
R								
Z1		ガソリン レキユラー スタンド			レキユラーガソリン			
Z								
					計			
積算単価 =								
A	削孔深さ	=1	30mm以上200mm未満					

積算単価算出表

標準単価	代表機材規格		構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
K								
R1		普通作業員			普通作業員			
R2		特殊作業員			特殊作業員			
R3		土木一般世話役			土木一般世話役			
R								
Z1		生コンクリート 高炉24-12-25(20) W/C=55%			生コンクリート 18-12-20BB 水セメント比60%以下			
Z								
					計			
積算単価 =								
A	構造物種別	=1		無筋・鉄筋構造物				
B	打設工法	=4		人力打設				
C	コンクリート規格	=10		18-12-20BB[水セメント比 60%以下]				
E	養生工の種類	=2		一般養生				
G	現場内小運搬の有無	=2		無し				

土砂等運搬
[規格1] 土質→軟岩

[規格2]

積算単価算出表

施工 第0-0078号内訳表

頁0-0122/0123
m3 当り

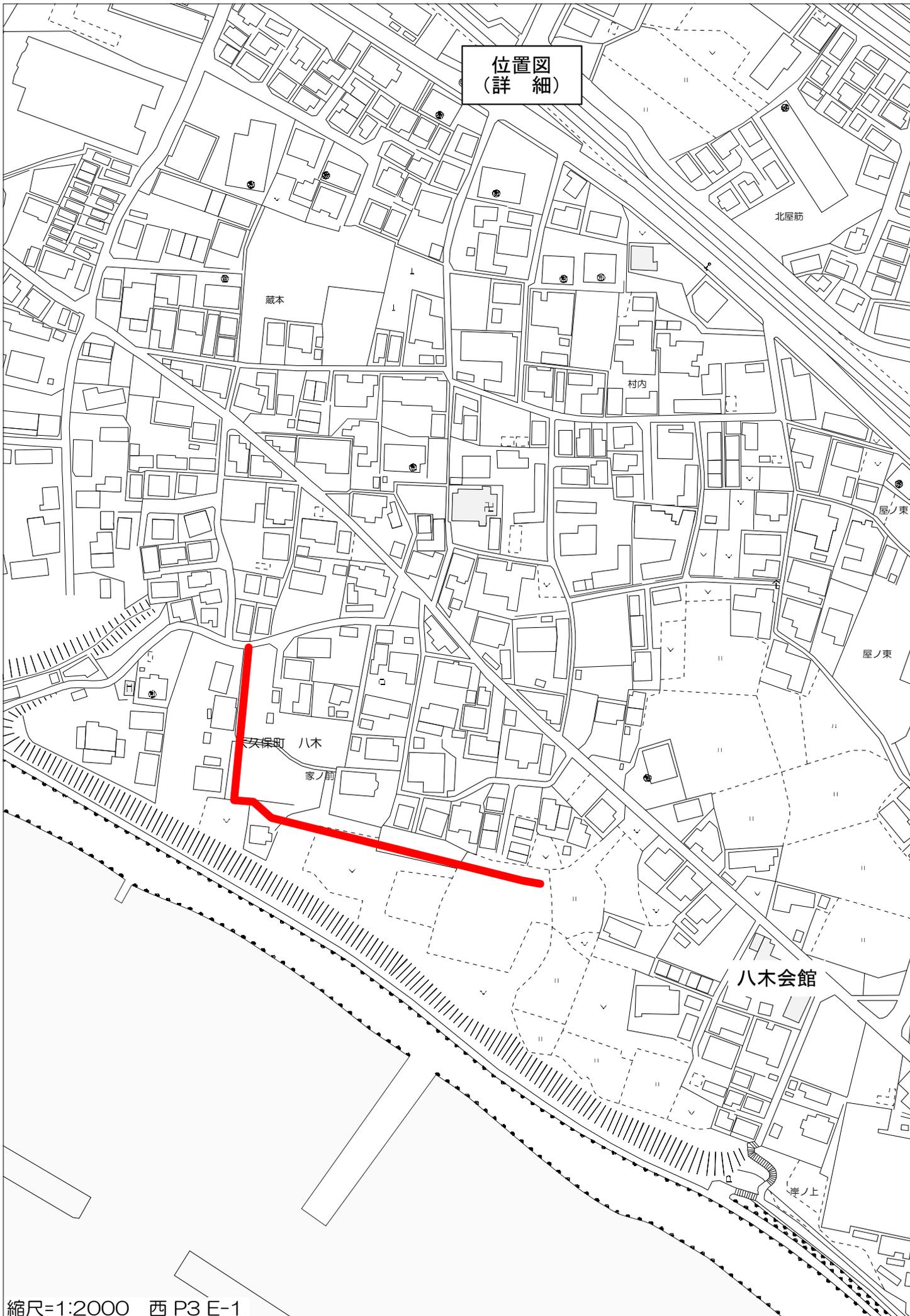
1

標準単価	代表機材規格	構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
K1	ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 2t積級(タイヤ損耗費及び補修費(良好)含む)			ダンプトラック 2t積級[オンロード・ディーゼル] タイヤ損耗費及び補修費(良好)含む			
K							
R1	運転手(一般)			運転手(一般)			
R							
Z1	軽油 1.2号 ハトロール給油			軽油			
Z							
				計			
積算単価 =							
A	土砂等発生現場	=3	現場制約あり				
B	積込機種・規格	=7	人力				
C	土質	=2	軟岩				
D	DID区間の有無	=2	有り				
E	運搬距離	=14	6.0km以下				

位置図
(広域)



位置図
(詳細)



令和 4年度 八木家ノ前污水管布設工事

工事設計図書
(当初設計)

工事番号

路線名等

工事箇所 明石市大久保町八木字家ノ前 地内

工 種

契約数量表

頁0-0001/0007

費目・工種明細など	規格1・規格2	単 位	数量 (前回)	数量 (今回)	数量増減
本工事費					
管路					
管きよ工	(管径200mm)				
管路土工					
管路掘削		式		1	
舗装版破碎(アスファルト舗装版)		m2		0.9	
床掘り	土砂 平均施工幅1m以上2m未満	m3		62	
機械掘削工		m3		207	
管路埋戻		式		1	
埋戻し		m3		44	
埋戻工	再生切込碎石	m3		159	
発生土処理		式		1	
残塊処分工 (アスファルト)		m3		0.05	
残土処分工 (土砂)		m3		62	
残土処分工 (土砂)		m3		207	
管布設工					
硬質塩化ビニル管		式		1	
硬質塩化ビニル管設置工	呼び径 200mm	m		193.6	

契約数量表

頁0-0002/0007

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量増減
埋設標識		式		1	
管明示	幅50mm, 塩化ビニル製	m		193.6	
管基礎工					
砂基礎		式		1	
砂基礎工(機械投入)		m ³		58	
管路土留工					
たて込み簡易土留		式		1	
建込工		m		127.6	
引抜工		m		127.6	
鋼材賃料		式		1	
たて込み簡易土留材賃貸料金					
たて込み簡易土留材整備費					
マンホール工					
組立マンホール工					
組立1号マンホール		式		1	
組立マンホール設置工	1号 マンホール深さ3m以下	箇所		6	
削孔代 0号, 1号 組立式(V型)	φ200mm用	箇所		6	
車道用 耐スリップ蓋・枠 T-14 φ600		個		1	

契約数量表

頁0-0003/0007

費目・工種明細など	規格1・規格2	単 位	数量 (前回)	数量 (今回)	数量増減
車道用 デザイン蓋・枠 T-14 φ600		個		5	
蓋取付ボルト 200mm (3ヶ1組)	調整ブロック100mm用	セット		3	
蓋取付ボルト 250mm (3ヶ1組)	調整ブロック150mm用	セット		1	
蓋取付ボルト 350mm (3ヶ1組)	調整ブロック250mm用	セット		2	
調整リグ 組立式(V型)	600×50mm	個		7	
調整リグ 組立式(V型)	600×100mm	個		2	
調整リグ 組立式(V型)	600×150mm	個		2	
調整リグ 組立式(V型)	600×80mm	個		1	
転落防止はしご		台		2	
1号斜壁 組立式(V型)	600×900×600mm	個		6	
1号底付	900×700mm	個		4	
1号底付	900×1300mm	個		2	
底部工 [組立式]		箇所		6	
可とう継手 VU φ200 (拡張型)	塩ビ管用	個		12	
取付管およびます工					
管路土工					
管路掘削		式		1	
床掘り	土砂 上記以外(小規模)	m3		14	

契約数量表

頁0-0004/0007

費目・工種明細など	規格1・規格2	単 位	数量 (前回)	数量 (今回)	数量増減
管路埋戻		式		1	
埋戻し		m3		8	
発生土処理		式		1	
残土処分工 (土砂)		m3		14	
取付管布設工					
取付管 (塩ビ管)		式		1	
取付管布設および支管取付工	管径 150mm, コンクリート製・陶製以外の管	箇所		13	
管明示テープ	幅50mm, 塩化ビニール製	m		32.5	
塩ビ・仮止めキャップ (差口用)	φ 150	個		13	
付帯工					
人孔付帯工					
既設人孔連絡工		式		1	
削孔代 0号, 1号 組立式 (V型)	φ 200mm用	箇所		1	
防護コンクリート工	φ 200	箇所		1	
底部工		式		1	
構造物とりこわし工	無筋構造物	m3		0.1	
底部工 [組立式]		箇所		1	
殻運搬処理		式		1	

契約数量表

頁0-0005/0007

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量増減
残塊処分工(無筋コンクリート)		m3		0.1	
舗装仮復旧工					
仮復旧		式		1	
表層(車道・路肩部)	t = 50mm	m2		0.9	
舗装撤去工					
舗装版切断		式		1	
舗装版切断(アスファルト舗装版)	As舗装版厚->15cm以下	m		3	
舗装復旧工					
上層路盤		式		1	
上層路盤(車道・路肩部)	粒調碎石 M-25, M-30, M-40	m2		0.9	
仮設工					
交通管理工					
交通誘導警備員		式		1	
交通誘導警備員 B					
交通誘導警備員 B					
仮設材運搬費		式		1	
仮設材等の積込み・取卸し					
仮設材等の運搬					

契約数量表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量増減
附帯工事費(1)					
管路					
付帯工					
人孔付帯工					
人孔蓋取替工		式		1	
蓋据付・調整コンクリートブロック撤去工		箇所		1	
蓋据付・調整コンクリートブロック据付工	無収縮モルタル有	箇所		1	
車道用 耐スリップ蓋・枠 T-14 φ600		個		1	
調整リング 組立式(V型)	600×50mm	個		1	
調整リング 組立式(V型)	600×100mm	個		1	
蓋取付ボルト 250mm (3ヶ1組)	調整ブロック150mm用	セット		1	
試掘調査工		式		1	
試掘調査工					
土質等試験費		式		1	
埋戻し土(流用土)判定					

数量計算総括表

八木家ノ前污水管布設工事

明石市都市局下水道室下水道整備課

管理情報

情報名称	当初	変更
年度	令和4年度	
発注工事名	八木家ノ前污水管布設工事	
施工場所	明石市大久保町八木字家ノ前 地内	
発注者	明石市都市局下水道室下水道整備課	

開削工数量総括表

汚水:本管:VUφ200										
名称	集計単位	単位	合計数量	数量						
下流側路線番号				大汚_11598	3437-1	3437-1	3437-1	3437-1	3437-1	3437-1
〃 接続番号				(既)大汚_11598	No. 1	No. 2	No. 3	No. 4	No. 4+8. 40	No. 5
上流側路線番号				3437-1	3437-1	3437-1	3437-1	3437-1	3437-1	3437-1
〃 接続番号				No. 1	No. 2	No. 3	No. 4	No. 4+8. 40	No. 5	No. 6
■開削工										
区間延長		m	199.00	3.50	21.00	14.50	24.00	8.40	54.60	73.00
平均掘削深		m		1.437	1.475	1.461	1.448	1.451	1.654	1.915
掘削幅		m		0.60	0.60	0.60	0.60	0.60	0.90	0.90
■管布設工										
管布設延長		m	193.60	2.60	20.10	13.60	23.10	7.95	54.15	72.10
管体延長		m	193.60	2.60	20.10	13.60	23.10	7.95	54.15	72.10
管本数		本	48.4	0.65	5.03	3.40	5.78	1.99	13.54	18.03
下流人孔継手		本	0	0	0	0	0	0	0	0
上流人孔継手		本	0	0	0	0	0	0	0	0
副管用継手		本	0	0	0	0	0	0	0	0
■管基礎工										
基礎数量	機械投入: VUφ200: 水砕スラグ360	m3	58.2	0.74	4.46	3.08	5.10	1.79	18.42	24.63
■その他管渠布設工										
■土工										
■舗装掘削工										
舗装直接掘削積込	AS: 0.05	m2	0.9	0.90						
ガラ処分	AS: 処分	m3	0.0	0.05						
■掘削工										
全掘削土量		m3	269.7	2.97	18.65	12.70	20.88	7.31	81.08	126.14
土留掘削土量	素掘	m3	62.5	2.97	18.65	12.70	20.88	7.31		
	土留	m3	207.2						81.08	126.14
掘削土量	素掘: 砂・砂質土	m3	62.5	2.97	18.65	12.70	20.88	7.31		
■埋戻し工										
BC区分埋戻し量	素掘: 碎石: 購入	m3	44.5	2.00	13.34	9.09	14.86	5.22		
	土留: 碎石: 購入	m3	159.3						60.84	98.48
埋戻し量合計	素掘: 碎石: 購入	m3	44.5	2.00	13.34	9.09	14.86	5.22		
	土留: 碎石: 購入	m3	159.3						60.84	98.48
■残土処分工										
処分量	素掘: 砂・砂質土: 処分	m3	62.5	2.97	18.65	12.70	20.88	7.31		
	土留: 砂・砂質土: 処分	m3	207.2						81.08	126.14

組立人孔築造工

汚水:V型楕円				
名称	集計単位	単位	合計数量	数量
路線番号				大汚_11598
接続番号				(既)大汚_11598
■組立人孔築造工				
■人孔設置工				
人孔深		m		1.294
■上部工				
■ブロック				
■底部工				
■管補強工				
■その他				

組立人孔築造工 (2)

汚水:V型1号									
名称	集計単位	単位	合計数量	数量					
路線番号				3437-1	3437-1	3437-1	3437-1	3437-1	3437-1
接続番号				No. 1	No. 2	No. 3	No. 4	No. 5	No. 6
■組立人孔築造工									
■人孔設置工									
人孔深		m		1.383	1.460	1.386	1.574	2.019	2.134
人孔設置工	3m以下	箇所	6	1	1	1	1	1	1
削孔工	VUφ200	箇所	6	1	1	1	1	1	1
■上部工									
蓋設置工	耐スリップ型T14	箇所	1	1					
	T14	箇所	5		1	1	1	1	1
調整工		箇所	6	1	1	1	1	1	1
蓋取付ボルト	調整100mm用	組	3	1		1		1	
	調整150mm用	組	1		1				
	調整250mm超用	組	2				1		1
調整リング	H50	組	7	2	1	2		2	
	H100	組	2		1		1		
	H150	組	2				1		1
	H80	組	1						1
セフティーラダー		箇所	2	0	0	0	0	1	1
■ブロック									
斜壁ブロック	H600	組	6	1	1	1	1	1	1
躯体ブロック (底付等)	H700	組	4	1	1	1	1		
	H1300	組	2					1	1
■底部工									
インパート		箇所	6	1	1	1	1	1	1
砕石	砕石	箇所	6	1	1	1	1	1	1
■管補強工									
管補強工	ジョイントパーツ: VUφ200	箇所	12	2	2	2	2	2	2
■その他									

柵設置工確認

汚水								
名称	集計単位	単位	合計数量	数量				
下流側路線番号				3437-1	3437-1	3437-1	3437-1	3437-1
〃 接続番号				No. 2	No. 3	No. 4	No. 4+8. 40	No. 5
上流側路線番号				3437-1	3437-1	3437-1	3437-1	3437-1
〃 接続番号				No. 3	No. 4	No. 4+8. 40	No. 5	No. 6
■柵設置確認								
管布設延長	NO. 柵 1	m	12. 50	2. 50	2. 50	2. 50	2. 50	2. 50
	NO. 柵 2	m	7. 50		2. 50		2. 50	2. 50
	NO. 柵 3	m	5. 00				2. 50	2. 50
	NO. 柵 4	m	5. 00				2. 50	2. 50
	NO. 柵 5	m	2. 50					2. 50
■取付管延長別箇所数								
箇所数	3m未満	箇所	13	1	2	1	4	5

区間部付帯工

名称	集計単位	単位	合計数量	数量
下流側路線番号				大汚_11598
〃 接続番号				(既)大汚_11598
上流側路線番号				3437-1
〃 接続番号				No. 1
■区間部付帯工				
■舗装切断				
本管部 (全体部で集計)	AS: 0.05	m	3.0	
■仮復旧工				
■本管部舗装仮復旧工				
舗装仮復旧	AS: 0.05	m2	0.9	0.90
路盤 (全体部で集計)	粒調碎石: 10cm: 0.1	m2	0.9	0.90
■取付管部舗装仮復旧工				
■合計				
舗装仮復旧	AS: 0.05	m2	0.9	0.90
路盤 (全体部で集計)	粒調碎石: 10cm: 0.1	m2	0.9	0.90
■柵取付管補強工				
■その他本管部付帯工				
■その他柵付帯工				

接続部付帯工

V型楕円				
名称	集計単位	単位	合計数量	数量
路線番号				大汚_11598
接続番号				(既)大汚_11598
■接続部付帯工				
■既設人孔連絡工				
既設人孔連絡工	VU φ 200	個所	1	1
■その他人孔付帯工				
削孔工	VU φ 200	箇所	1	1
底部工		箇所	1	1

数量計算総括表

八木家ノ前污水管布設工事(附帯工)

明石市都市局下水道室下水道整備課

人蓋取替え数量

八木家ノ前污水管布設工事

舗装打替時施工

人孔番号	舗装撤去範囲		首部高さ (mm)	蓋高さ (mm)	調整高さ (mm)	調整ブロック				蓋取付 ボルト	蓋種	
	L (m)	W (m)				50	80	100	150		デザイン	耐スリップ
大汚_11592	0.0	0.0	310	130	30	1		1		150mm用		○
					0							
					0							
					0							
					0							
					0							
					0							
					0							
					0							
					0							
					0							
					0							
					0							
平均	0.0	0.0			2							
合計						1	0	1	0		0	1

八木家ノ前污水管布設工事

特記仕様書

明石市都市局下水道室下水道整備課

特記仕様書

工 事 名 八木家ノ前汚水管布設工事
 工 事 場 所 明石市大久保町八木字家ノ前 地内

工期

本工事の工期は令和5年3月31日までとする。
 (ただし、本件について国庫補助事業の繰越承認等がされた場合は、工期を令和5年7月20日までとする予定である。)

適用

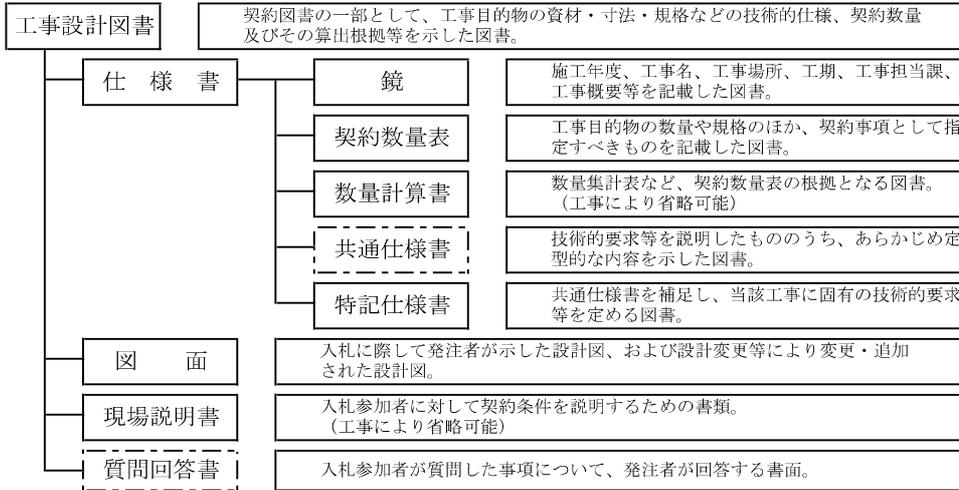
本仕様書は、明石市都市局下水道室下水道整備課が発注する『八木家ノ前汚水管布設工事』に適用する。

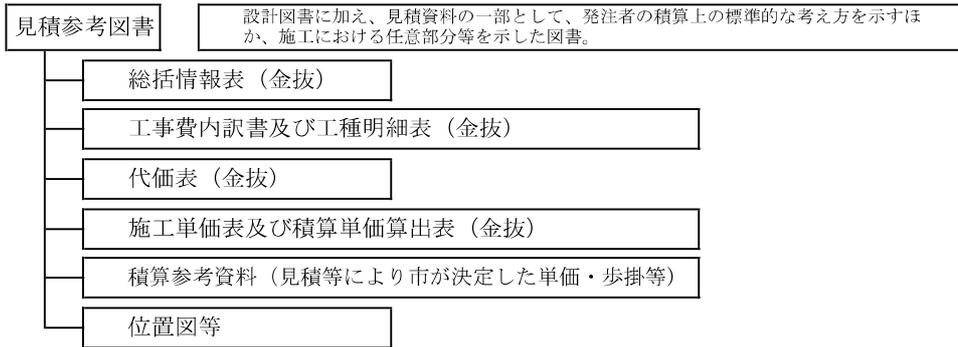
基準図書

- 図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、次の図書による。
- ※ 兵庫県県土整備部「土木工事請負必携（平成29年(令和元年10月一部改訂版)）」
 - ※ 兵庫県県土整備部「土木工事共通仕様書（平成29年(令和元年10月一部改訂版)）」
 - ※ 兵庫県県土整備部「土木工事施工管理基準（平成29年(令和元年10月一部改訂版)）」
 - ※ 兵庫県県土整備部「小型構造物標準図集（平成25年12月(第3回改訂版)）」

設計図書

- 本工事においては、明石市工事請負契約約款 第1条に規定するものを設計図書とする。
- 設計図書の他に交付する「見積参考図書」とは入札（見積）参加者の適正かつ迅速な見積に資するための資料であり、明石市工事請負契約約款 第1条でいう設計図書ではない。従って、「見積参考図書」は請負契約上の拘束力を生じるものではなく、受注者は施工条件及び地質条件等を十分考慮して、仮設、施工方法及び安全対策等、工事目的物を完成するための一切の手段について、受注者の責任において定めるものとする。なお、「見積参考図書」の有効期限は、本工事の入札（開札日）までとする。





施工範囲における留意事項

工事内容のうち現場条件等により工事内容を変更する可能性がある。よって、工事着手前に工事内容について監督員の確認を受けるものとする。なお、工事内容に変更を伴う場合は、監督員の指示によるものとし、設計変更の対象とする。

施工中に設計変更が生じる場合、必ず事前に監督員と文書にて協議すること。協議文書無き事項は設計変更の対象とはしない。

最終の設計変更に伴う資料については、工期の1ヶ月前までに受注者が十分精査したうえで提出すること。

設計図書の照査

現地測量は、測量標（仮BM等）、工食用多角点の設置及び用地境界、中心線、縦断、横断等を確認すること。また、特に、排水勾配・舗装縦断勾配においては測量結果を着手前に監督員へ提出すること。

測量結果が設計図書に示されている数値と差異を生じた場合は監督員の指示を受けること。

側溝高等に変更が生じた場合や、その他地元協議等によるものも含め変更に伴う測量・施工図面の修正・新規追加及び数量計算については、受注者の負担により行うものとする。

埋蔵文化財・有価物件の処理

工事の施工中に埋蔵文化財等を発見した場合は直ちに作業を一時中止し、その取扱いについて監督員の指示を受けること。

現場において発生した有価物件は、そのままの状態に保ち、監督員の指示により処理するものとする。

基準点

公共基準点（基準点、水準点、街区基準点、街区点等）の有無について確認し、監督員に報告すること。また、公共基準点の周辺にて施工する場合は、「明石市公共基準点管理保全要綱」に基づき適正に申請及び復元等の処理をすること。

安全確保

工事施工に伴う諸手続きは、受注者の責任において関係諸官庁に提出し許可を得ること。

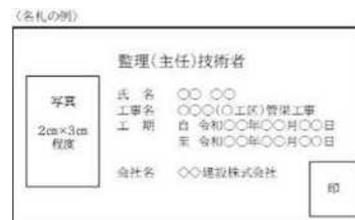
工事の施工にあたって予想される地下埋設物件及び架空線は、管理者と現地立会のうえ、当該物件の位置・深さ（高さ）を確認し、保安対策について十分打合せを行い、事故の発生を防止すること。

試掘調査及び沈下観測孔の設置については、近接する施設の管理者との立ち会い及び協議により実施箇所を決定するものとする。その結果、設計図書と相違が生じた場合は、監督員と協議のうえ、設計変更の対象とする。

既設人孔等に入る時は、人孔内の安全には特に注意し、ガス検知器を用いて3名以上で確認後、作業に着手すること。

受注者の責により地下埋設物件に損害を与えた場合は、すみやかに監督員に報告するとともに関係機関に連絡し応急措置をとり、受注者の負担によりこれを補修しなければならない。

- 埋設物件等の管理者不明のものがある場合は、監督員に報告し、その処置については、占用企業者全体の立会を求め、管理者を明確にしなければならない。その結果、死管の処置を受注者が企業者より依頼を受けた場合には、文書によってその責任を明確にしておかなければならない。
 - 工事施工のため支障となる道路の付属物並びに占用物件がある場合には、その処置について予め監督員と打合せを行うものとする。
 - 施工にあたっては、第三者に対する安全対策はもとより、作業要領や作業従事者にかかる安全衛生対策、労働災害防止対策に十分配慮するとともに、これら工事中において、降雨等による災害事故が発生しないよう万全の体制を図ること。また、工事現場及びその周辺状況や施設の特性を踏まえて、事故防止対策を講じるよう、施工計画を作成し、工事を実施すること。
- 仮設用水、仮設電気**
 関係部署への申請・届出とも費用はすべて受注者の負担とする。
 - 保険等**
 明石市契約約款に記載されている保険については必ず加入すること。なお、監督員には保険証の写しを添付した報告書にて報告を行うこと。
 - 工事説明会**
 監督員の要請がある場合は協力すること。また決定事項に従い作業を行うこと。
 - 事故および苦情**
 発生した場合は速やかに応対し、処置状況を監督員に連絡すること。
 - 段階確認**
 受注者は、兵庫県土木工事共通仕様書に定める工種については、事前に立会願を監督員に提出し段階確認を受けなければならない。
 - 境界確認**
 構造物を境界上に設置する場合は、測量・立会等により境界を確認のうえ設置すること。もし、境界点や境界ラインに構造物が設置されていないと事後発覚した場合は、受注者の負担で再度構造物を設置しなおすこと。
 - 施工計画書の作成**
 工事着手時までに施工計画書を作成し監督員の確認後作業を行うこと。
 - 工事カルテの提出**
 請負500万円以上の工事は受注・変更（工期・技術者）・完成時に監督員の確認を受け平日10日以内に登録のこと。
 変更時と完成時の間が10日に満たない場合は、変更時の提出を省略できる。
 後日、「登録内容確認書」を提出すること。
 - 施工体制台帳および施工体系図**
 作成し速やかに提出すること。また建設業許可証・契約書（下請負契約も含む）の写しも提出すること。なお、本工事に関連する全ての業者に適用する。
 施工体制台帳は工事現場に備え付けること。
 施工体系図は公衆の見やすい場所に掲示すること。
 - 身分証明**
 受注者の現場代理人、監理技術者、主任技術者は工事現場内において工事名、工期、写真、所属会社および社印の入った名札を着用するものとする。
 - 使用建設機械**
 - 低騒音型、低振動型建設機械を使用すること。
 - バックホウ、発動発電機、油圧ユニット、空気圧縮機、ロードローラー、タイヤローラー、振動ローラー、ホイールクレーンについては排出ガス対策型建設機械を使用するものとする。
 - 工事現場において確認できる写真を撮影し、完成書類として提出すること。
 - 使用する車両及び建設機械等の燃料として、不正軽油（地方税法第700条の22の2（製造等の承認を受ける義務等）の規定に違反する燃料をいう。）を使用してはならない。万一、不正軽油の使用が判明した場合は、速やかに是正措置を講じなければならない。



工事関係車輛

- 夜間駐車及び現場外駐車は行わず適切な管理を行うこと。

足場その他

- 足場及び支保工の安全確認は、チェックリスト等で確認して保管すること。

建設副産物

- 再資源化施設への搬入を要する建設副産物
 - コンクリート塊
 - アスファルト塊
- 下記の書類を提出すること。
 - 再生資源利用(促進)計画書(実施書)を作成する際、建設副産物情報交換システム(COBRIS)を用いて作成し、施工計画書に添付すること。
 - 竣工時には書面の他に、電子媒体も提出すること。
 - 建設リサイクル法第11条に基づく通知を行うため、再生資源利用(促進)計画書を建設副産物情報交換システム(COBRIS)を用いて作成し、監督員に提出すること。

発生材の処分地例及び問合先

本工事は施工箇所が点在する。

積算で採用している処分地は以下の通りであるが、処理施設を指定するものではない。

アスファルト塊	(株)美建	運搬距離 6.6 km
アスファルト塊(小規模)	(株)明神リサイクルセンター	運搬距離 5.8 km
コンクリート塊(無筋)(人力)	(株)明神リサイクルセンター	運搬距離 5.8 km
建設発生土	田口建材(株)	運搬距離 6.1 km

- 運搬に際しては、処分地まで飛散しないように留意を行い、直接運搬すること。
- 仮置きを行う場合、保管場所の選定は受注者の責任において行い、保管に要する費用を負担すること。
- 受注者の判断で他処分地を採用した場合でも設計変更の対象とはしない。
- 兵庫県ホームページ「ホーム > まちづくり・環境 > 設計・工事 > 制度・基準 > 積算単価表」に記載されている処分地とすること。
- 建設副産物処理計画書を提出して監督員の確認を得ること。
- 処分が終了したら伝票を提出して監督員の確認を得ること。
- 木くずは、産業廃棄物として取り扱い、チップ化等再利用の促進に努めなければならない。伐採木、伐採根等のうち再利用を促進することが困難なものは、施工計画等の策定時に適切な処理先を確保しなければならない。

仮設材の運搬

仮設材の運搬については、積算上、運搬距離10kmを見込んでいる。運搬距離については、積算参考条件として明示しているものであり、受注者が実施する条件と異なる場合においても設計変更の対象とはしない。

履行報告

工事履行報告書を作成し、工程表及び工事状況写真を添付し、毎月末に監督員に提出すること。

交通誘導警備員、安全管理、安全教育

- 安全対策については、交通誘導警備員を計上している。道路管理者及び所轄警察署の打合せの結果により変更等が生じた場合は監督員と協議するものとし、設計変更の対象とする。また、条件変更及び受注者にて特に必要と認めた場合は、その対策等について監督員と協議するものとし、設計変更の対象とするが、出来高に合わせた変更は行わない。
- 標識類、防護柵等の安全施設類については、現場条件に応じて設置する他、道路管理者及び所轄警察署と打合わせを行い実施するものとする。なお、打合わせの結果又は条件変更等に伴い、道路保安施設設置基準（案）以上の保安施設類が必要な場合、監督員と協議するものとし、設計変更の対象とする。
- 交通誘導警備員については、作業時間中（調査・測量時期は除くが試掘調査時は配置）配置すること。なお、現場状況及び関係機関との調整によりこれによりがたい場合は、監督員と別途協議することとし、設計変更の対象とする。また、工事関係車両や歩行者安全通路の適切な管理・誘導を行うこと。昼休みなども交替で休憩をとり安全対策を怠らないこと。
- 交通誘導警備員の1日当たりの配置人数は、下記のとおりとする。

交差点	交通誘導警備員B 4名、交替要員B 1名	合計5名
上記以外	交通誘導警備員B 2名、交替要員B 1名	合計3名

交通誘導警備員A

警備業者の警備員（警備業法第2条第4項に規定する警備員をいう。）で、交通誘導警備業務（警備員等の検定等に関する規則第1条第1項第4号に規定する交通誘導警備業務をいう。）に従事する交通誘導警備業務に係る1級検定合格警備員又は2級検定合格警備員

交通誘導警備員B

警備業者の警備員で、交通誘導警備員A以外の交通の誘導に従事するもの

交替要員

昼休みなどの休憩中も交替で交通誘導を行うものとし、現場の必要配置人数とは別に計上するもの。積算単価は交通誘導員B。

- 受注者は下記の書類の何れかを確認後、現地に従事する者の名簿を作成し監督員に提出するものとする。
 - ・交通誘導警備検定合格証（写し）
 - ・警備員指導教育責任者資格者証（写し）
 - ・指定講習修了証明書（写し）
 - ・警備業法施行規則 第二十六条第二項に定める基本教育、及び同条第2項、第3項に定める業務別教育（警備業法第二条第一項第二号の警備業務）を受講したことを証明する警備員名簿及び教育実施状況等の写し、及び交通誘導に関する警備業務に従事した期間（実務経験）が1年以上であることを証明する書類
- 全作業員を対象とし、次の各号から実施する内容を選択し、定期的に安全教育・研修訓練を行うものとする。なお、工事期間中月1回(半日)以上実施し監督員に報告書を提出するとともに、その実施状況については、工事報告等に記録した資料を提出すること。また、安全教育・研修訓練に要する必要な費用(労務者の日当)は、現場管理費の中に含んでいる。
 - ① 安全活動のビデオ等視覚資料による安全教育
 - ② 当該工事内容等の周知徹底
 - ③ 土木工事安全施工技術指針等の周知徹底
 - ④ 当該工事における災害対策訓練
 - ⑤ 当該工事現場で予想される事故対策
 - ⑥ その他、安全・訓練等として必要な事項
- 各工事中のすりつけ及び段差表示、夜間照明等安全対策は、特に徹底すること。
- 工事中の仮区画線の明示・工事予告看板の設置も徹底すること。

掲示物

以下の項目については、工事関係者及び公衆の見やすい場所に掲示すること。

- 建設業許可の標識掲示
- 施工体系図の掲示
- 建設業退職金共済制度適用事業主工事現場の標識掲示（掛金収納書の提出要）
- 労災保険関係成立票の掲示
- 緊急連絡体制の掲示

備品

以下の項目については、現場事務所内に備えつけること。

- 施工体制台帳
- 新規入場者教育記録
- 受注者の安全巡視、KY活動の記録

緊急時の連絡体制の作成

年末年始、夏期休暇等により長期間現場の作業を休止する場合は、事前に緊急時の連絡体制についての説明書を作成し、監督員に提出すること。

また、大雨時及び台風上陸予定時も上記と同様の扱いとする。

工程管理

工程管理については計画工程に基づき実施工程、出来高曲線について管理すること。

写真管理

工事写真の管理については、写真管理基準(土木工事施工管理基準)に準じるものとし、デジタル写真で提出する場合は、デジタル写真管理情報基準(案)に準じること。

品質管理

コンクリート工場、水セメント比、少量の打設、二次製品

適マーク取得工場に限定する。

鉄筋コンクリートについては55%以下、無筋コンクリートについては60%以下とする。

底部(インバート)工、既設人孔連絡工等における少量のレディーミクストコンクリートの規格については、積算時における参考の条件として明示している。請負者は、止水性、施工性の良い適切な材料を選定し、施工計画書に含め、監督員と協議すること。なお、受注者の選定した材料が、積算参考条件と異なる場合においても設計変更の対象とはしない。

セメントコンクリート二次製品の品質確認は、兵庫県ホームページ「ホーム > まちづくり・環境 > 設計・工事 > 制度・基準 > 土木の技術管理に関する事」に記載される「セメントコンクリート二次製品の取扱要領」に基づき実施すること。

再生切込砕石、粒調砕石の修正CBR値

30%以上、80%以上とする。

境界ブロック

下水汚泥溶融スラグを用いたコンクリートにより製作された製品とする。

現場密度試験

舗装工、路盤工の『現場密度の測定』の試験は、1,000㎡につき1個とし、施工面積が2,000㎡未満の場合の規格値はX3の場合の規格値とする。施工面積が500㎡未満においては、実績や定期試験で得られている基準密度の試験結果を提出することにより、『現場密度の測定』の試験を省略できるものとする。ただし、道路管理者および監督員の指示による場合は試験を実施すること。

使用材料一般

日本下水道協会(JSWAS)、日本水道協会(JWWAS)の規格認定品については、認定書等により、使用する製品が認証製品であることを確認することとし、材料の試験成績表等の品質証明書の提出(『使用材料承諾願』への添付)は不要とする。

埋戻土については、試掘にて掘削箇所の土砂を採取し、別添「埋戻し工に関する仕様書」に基づき土質試験を実施し、その結果、掘削土を埋戻土として使用が可能な場合は設計変更の対象とする。

人孔

人孔接合部の使用材料については、ジョイントブーツを使用すること。使用箇所は監督員に確認すること。

ブロック人孔設置における調整ブロックは、2個以上かつ合計10cm以上25cm以下にて設置すること。

鉄蓋据付時には、調整モルタルとして無収縮モルタルを使用し、本市の施工マニュアルに基づいて施工すること。

鉄蓋表面(蓋裏も含む)及び受枠に補修剤を塗装する場合は、ポキアクリル樹脂を主成分とした塗料もしくは、鋳鉄用の黒ワズを使用すること。

耐スリップ型マンホール蓋の使用箇所については監督員に確認すること。

副管設置箇所については、監督員に確認すること。

舗装復旧

舗装復旧工事における復旧範囲及び舗装構成については、市道管理者と立会をし決定すること。

路盤での交通開放は行わないものとし、本復旧が不可能な場合は監督員と協議すること。

地域への配慮

本工事区域は一般家屋及び店舗が建ち並ぶ区域のため、低騒音、低振動、排出ガス対策等を施した建設機械を使用するとともに、迂回路対策等を適切に行うこと。

ダンプトラックの過積載や積みこぼしのないことは勿論のこと、作業終了時における清掃も怠らないようにすること。

官民境界付近での施工

- 公道と民地の境界が明確でない箇所について、本工事の施工により民地側に影響を与える恐れがある場合、あらかじめ所有者の承諾を得たうえで工事をおこなうこと。また、工事終了時に所有者の承諾のもと、復旧を行うこと。

完成図書等

- 図面はA1（B5折り）で提出すること。
- 発注用のCADデータを貸与するので完成図をCADデータで提出すること。
CADデータは、AutoCAD形式（拡張子：dwg）にて貸与する。
CADデータの変換が必要な場合は、受注者の責において対応すること。
- 工事写真においてダイジェスト版を各工種毎に1部整理して別綴で提出すること。
- 保存バインダーや保存箱は、金属金具等を使用していない可燃性のものとする。

架空線（関西電力）の防護管取付け

- 関西電力が保有する架空線等に防護管の設置が必要な場合は、防護管施工会社へ申込みの上、監督員とともに防護管施工会社と立会を行い、防護管の必要範囲を決定すること。また、防護管施工会社より見積書及び請求書を受領した際は、その写しを監督員へ提出し確認を受けること。

その他特記事項

- 本工事は、都市局道路安全室道路整備課が発注する「大久保848号線道路改良工事」、水道局工務担当が発注する「大久保町八木地内配水管布設工事」との合併工事である。
- 本工事については、本合併工事以外の工事との現場代理人の兼務を認めない。
- 本工事は、合併工事と共通仮設費、現場管理費、一般管理費の経費調整を行っている。
- 本工事においては、合併工事との調整を十分に行い施工すること。

☑ 埋戻し工に関する仕様書

- ☑ 発生土の効率的な利用を図るため、「発生土利用基準について」（平成18年8月10日付 国官技第112号、国官総第309号、国営計第59号）に基づき、下記試験を実施し、土質区分の判定を行うものとする。

- ・ 締固めた土のコーン指数試験（JIS A 1228）
- ・ 土の含水比試験（JIS A 1203）
- ・ 土の粒度試験（JIS A 1204）
- ・ 土の液性限界・塑性限界試験（JIS A 1205）

上記試験の結果、第1種及び第2種建設発生土に区分された土（適用用途：工作物の埋戻し）をCBRの指定がある道路（明石市道及び法定外道路など）に利用しようとする場合は、下記試験を実施する。

- ・ CBR試験（JIS A 1211）

CBRの指定がない道路に利用しようとする場合及び、上記試験の結果、指定されたCBRを満足した場合は、発生土を埋戻土として利用するものとし、下記試験を実施する。

- ・ 突固めによる土の締固め試験（JIS A 1210）

なお、追加実施した試験に要する費用は設計変更の対象とする。

☑ 埋戻し土の品質管理について

現場密度の測定は下記のいずれかを実施すること。なお、試験位置、時期及び試験基準については監督員と協議し試験を実施すること。（平成26年10月適用）

「品質管理基準」

試験項目	試験方法	品質規格値
現場密度の測定	最大粒径 ≤ 53mm :	土木工事施工管理基準（平成26年10月）
	砂置換法 JIS A 1214	品質管理基準及び規格値
	最大粒径 > 53mm :	21道路土工 参照
	突砂法（舗装調査・試験法便覧[4] - 185）	

試験基準

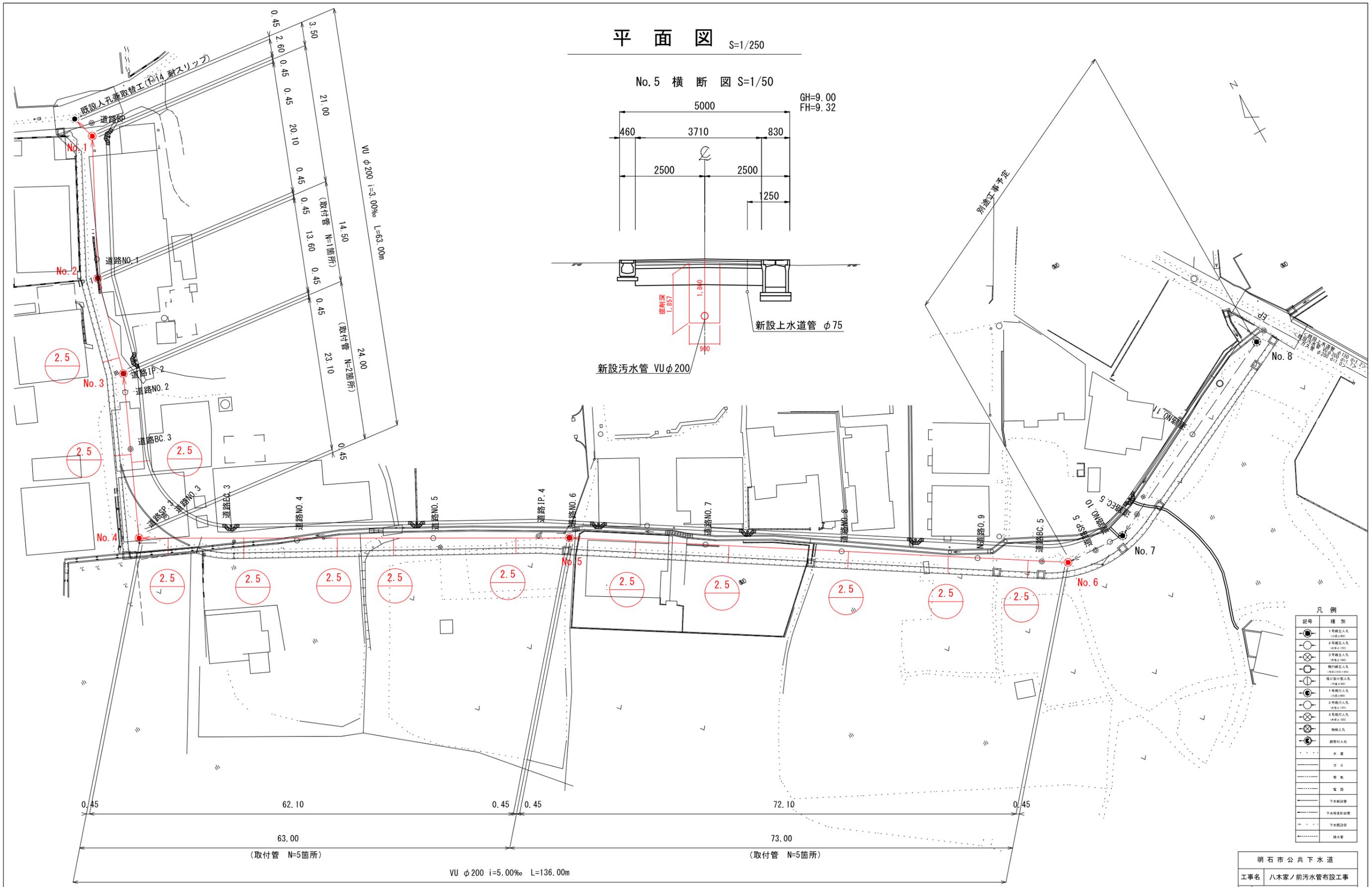
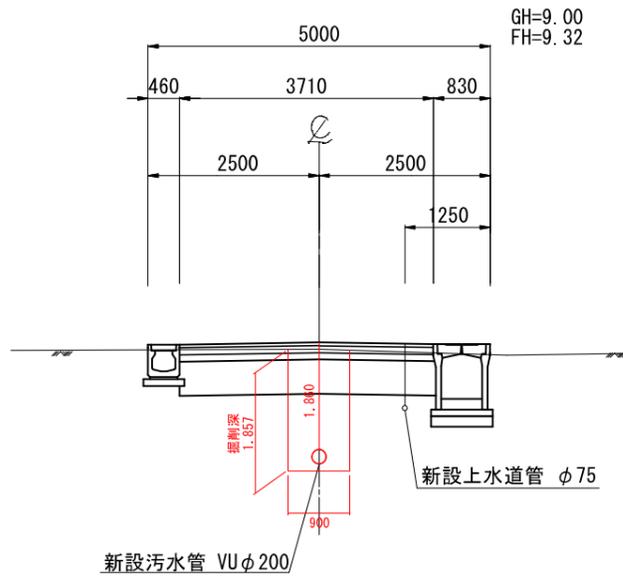
路体の場合、1,000m³につき1回の割合で行う。ただし、5,000m³未満の工事は、1工事当たり3回以上。路床及び構造物取付け部の場合、500m³につき1回の割合で行う。ただし、1,500m³未満の工事は1工事当たり3回以上。1回の試験につき3孔で測定し、3孔の最低値で判定を行う。

※ 試験に要する費用は、受注者の負担とする。

- ☑ 管の天端または暗渠のスラブ天端から30cmは、管渠に衝撃を与えないよう注意しながら、両側同時に埋め戻し、一層の厚さが20cmを超えない範囲で一層毎に木蛸の類により十分に締め固めること。砂あるいは水砕スラグを用いる場合には良質のものを用い、水締め等を行って、管の下端へ十分に砂が回り込むようにし、管に点荷重がかからないように均一に締固め布設すること。
- ☑ 前項の埋戻しが完了した後、人力又は掘削機械等により管渠に影響を与えないよう土砂を投入し、これを人力により敷き均し、一層の厚さが20cmを超えない範囲で一層毎にタンパ等を用いて十分に締め固めること。なお、機械による埋戻しについては、管の天端より30cmを超え100cmまでは投入高を50cm以下とし、それを超える部分の投入高は、150cm以下とする。
- ☑ 掘削溝内に埋設物がある場合には、埋設物管理者との協議に基づく防護を施し、埋設物付近の埋戻し土が将来沈下しないようにすること。
- ☑ 掘削幅が広く、支保工に支障がなく掘削溝に露出した埋設物を損傷する恐れがない場合には、ブルドーザーにより転圧することができる。この場合においても、一層の厚さが30cmを超えない範囲で一層毎に転圧すること。
- ☑ 土留め矢板の引抜きは、埋戻し土の安定を待って徐々に行うよう方法が望ましいが、この方法が困難な場合には、数本おきに矢板を引抜き、引抜き時の空洞には砂等を充てんし、ゆるみが生じないように施工すること。
- ☑ 埋戻し路床の仕上面は、均一な支持力が得られるよう施工し、道路占用許可条件に従わなければならない。なお、監督員が必要と認めて指示する試験は行わなければならない。
- ☑ 埋戻し後、舗装復旧までの期間は常に埋戻し路面の点検を行い、維持補修を行わなければならない。

平面図 S=1/250

No. 5 横断図 S=1/50

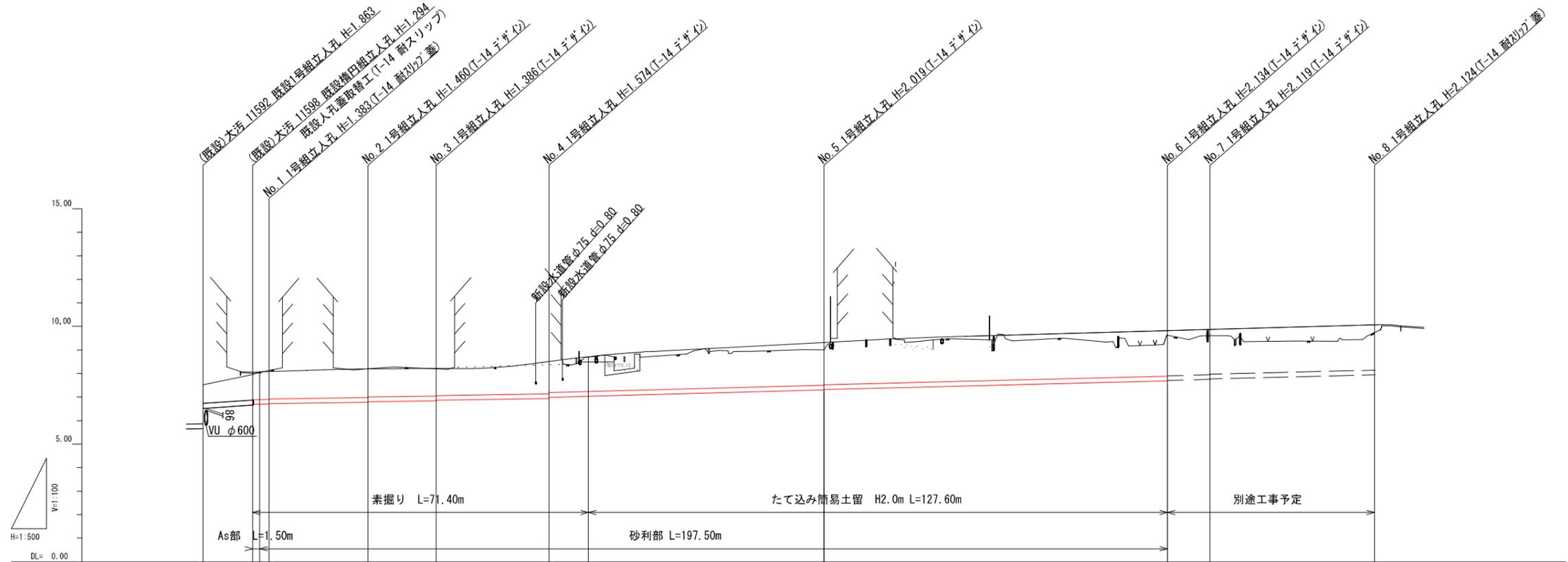


凡例

記号	種別
●	1号検出人孔 (内径φ900)
○	2号検出人孔 (内径φ1000)
⊗	3号検出人孔 (内径φ1200)
⊕	機井検出人孔 (内径φ1000)
⊙	集約検出人孔 (内径φ900)
⊘	1号検行人孔 (内径φ900)
⊚	2号検行人孔 (内径φ1000)
⊛	3号検行人孔 (内径φ1200)
⊜	特殊人孔
⊝	調整人孔
---	水溝
---	溝蓋
---	管溝
---	電溝
---	下水取込管
---	下水取込針管
---	下水取込管
---	排水管

明石市公共下水道			
工事名	八木家ノ前污水管布設工事		
図面名称	平面図・横断図		
施工年度	R4	図面番号	1/2
縮尺	1:50	幅尺	1:250

縦断図 S=1/100
S=1/500



路線番号	大汚_11592	3437-1	3437-1
管径	VU φ200	VU φ200	VU φ200
勾配	18.00‰	3.00‰	5.00‰
土被り	1.07 1.18 1.16	1.25 1.23 1.18 1.16	1.37 1.32 1.48
掘削深	1.382 1.491 1.471	1.478 1.458 1.464 1.444	1.462 1.402 1.500
管底高	5.657 6.620 6.666 6.697 6.717	6.780 6.800 6.844 6.864	6.936 6.896 7.028
計画高	7.96 8.08	8.24 8.23	8.51 8.72
地盤高	7.52 7.96 8.08	8.15 8.20	8.28 8.42
追加距離	0.00 3.50	24.50 39.00	63.00 71.40
単距離	0.00 3.50	21.00 14.50	24.00 8.40
測点	大汚_11592 大汚_11598 No.1	No.2 No.3	No.4 No.4&8 No.5 No.6 No.7 No.8

令和 4年度 八木家ノ前污水管布設工事

見積参考図書
(当初設計)

工事番号

路線名等

工事箇所 明石市大久保町八木字家ノ前 地内

工 種

総括情報表

単価適用年月日	0-04.10.01(0)		
	今 回		前 回
工種区分 (公共) 施工地域区分	04 道路改良 36 市街地(DID補正)(1)-3		

工事費内訳書

頁0-0002/0098

費目・工種・種別・細目	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
本工事費						
管路						
管きよ工 (管径200mm)	(199.0) m			
管路土工						
管路掘削						
		1	式			工種 第0001号明細表
管路埋戻						
		1	式			工種 第0002号明細表
発生土処理						
		1	式			工種 第0003号明細表
管布設工						
硬質塩化ビニル管						
		1	式			工種 第0004号明細表

工事費内訳書

頁0-0003/0098

費目・工種・種別・細目	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
埋設標識 ^{テープ}	1		式			工種 第0005号明細表
管基礎工						
砂基礎	1		式			工種 第0006号明細表
管路土留工						
たて込み簡易土留	1		式			工種 第0007号明細表
鋼材賃料	1		式			工種 第0008号明細表
マンホール工	(6)		箇所			
組立マンホール工						
組立1号マンホール	1		式			工種 第0009号明細表

工事費内訳書

頁0-0004/0098

費目・工種・種別・細目	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
取付管およびます工	(13) 箇所			
管路土工						
管路掘削						
	1		式			工種 第0010号明細表
管路埋戻						
	1		式			工種 第0011号明細表
発生土処理						
	1		式			工種 第0012号明細表
取付管布設工						
取付管(塩ビ管)						
	1		式			工種 第0013号明細表
付帯工						
人孔付帯工						

工事費内訳書

頁0-0005/0098

費目・工種・種別・細目	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
既設人孔連絡工						
	1		式			工種 第0014号明細表
底部工						
	1		式			工種 第0015号明細表
殻運搬処理						
	1		式			工種 第0016号明細表
舗装仮復旧工						
仮復旧						
	1		式			工種 第0017号明細表
舗装撤去工						
舗装版切断						
	1		式			工種 第0018号明細表
舗装復旧工						
上層路盤						
	1		式			工種 第0019号明細表

工事費内訳書

頁0-0006/0098

費目・工種・種別・細目	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
仮設工						
交通管理工						
交通誘導警備員						
	1		式			工種 第0020号明細表
直接工事費計						
共通仮設費計						
運搬費						
			式			
仮設材運搬費						
	1		式			工種 第0021号明細表
共通仮設費率分						
			式			
純工事費計						

工事費内訳書

頁0-0007/0098

	費目・工種・種別・細目	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
現場管理費			式			
工事原価計						
一般管理費等			式			
工事価格						
消費税相当額			式			
合 計						

工事費内訳書

頁0-0008/0098

費目・工種・種別・細目	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
附帯工事費(1)						
管路						
付帯工						
人孔付帯工						
人孔蓋取替工	1		式			工種 第0022号明細表
直接工事費計						
共通仮設費計						
準備費			式			
試掘調査工	1		式			工種 第0023号明細表

工事費内訳書

頁0-0009/0098

費目・工種・種別・細目	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
技術管理費						
			式			
土質等試験費						
	1		式			工種 第0024号明細表
共通仮設費率分						
			式			
純工事費計						
現場管理費						
			式			
工事原価計						
一般管理費等						
			式			
工事価格						
消費税相当額						
			式			

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
組立マンホール設置工 1号 マンホール深さ3m以下	6	箇所			施工 第0-0023号内訳表
削孔代 0号,1号 組立式(V型) φ200mm用	6	箇所			
車道用 耐スリップ蓋・枠 T-14 φ600	1	個			
車道用 デザイン蓋・枠 T-14 φ600	5	個			
蓋取付ボルト 200mm (3ヶ1組) 調整ブロック100mm用 バイコン	3	セット			
蓋取付ボルト 250mm (3ヶ1組) 調整ブロック150mm用 バイコン	1	セット			
蓋取付ボルト 350mm (3ヶ1組) 調整ブロック250mm用 バイコン	2	セット			
調整リング 組立式(V型) 600×50mm	7	個			
調整リング 組立式(V型) 600×100mm	2	個			

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
調整リング 組立式(V型) 600×150mm	2	個			
調整リング 組立式(V型) 600×80mm	1	個			
転落防止はしご	2	台			
1号斜壁 組立式(V型) 600×900×600mm	6	個			
1号底付 900×700mm	4	個			
1号底付 900×1300mm	2	個			
底部工 [組立式]	6	箇所			施工 第0-0024号内訳表
可とう継手 VU φ200 (拡張型) 塩ビ管用	12	個			
合計	1	式			

工種明細表

	名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
	床掘り 土砂 上記以外(小規模)	14	m3			施工 第0-0028号内訳表
	合 計	1	式			

工種明細表

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
削孔代 0号,1号 組立式(V型) φ200mm用	1	箇所			
防護コンクリート工 φ200	1	箇所			施工 第0-0032号内訳表
合 計	1	式			

工種明細表

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
仮設材等の積込み・取卸し 〔積込み取卸し(往復分)〕	3.5	t			施工 第0-0043号内訳表
仮設材等の運搬 製品長->12m以内	3.5	t			施工 第0-0044号内訳表
仮設材等の運搬 製品長->12m以内	3.5	t			施工 第0-0044号内訳表
合 計	1	式			

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
蓋据付・調整コンクリートブロック撤去工	1	箇所			施工 第0-0045号内訳表
蓋据付・調整コンクリートブロック据付工 無収縮モルタル有 調整高さH=30mm	1	箇所			施工 第0-0046号内訳表
車道用 耐スリップ蓋・枠 T-14 φ600	1	個			
調整リング 組立式(V型) 600×50mm	1	個			
調整リング 組立式(V型) 600×100mm	1	個			
蓋取付ボルト 250mm (3ヶ1組) 調整ブロック150mm用 バイコン	1	セット			
合 計	1	式			

残塊処分工 (アスファルト)

代 価 表

代価 第0001号内訳表

頁0-0036/0098

直接

1 m3 当り

名称・規格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
搬運 舗装版破碎	1	m3			施工 第0-0001号内訳表
処分費 アスファルト (株美建)	1	式			施工 第0-0002号内訳表
単 位 当 り	1	m3			

積算単価算出表

標準単価	代表機労材規格		構成比	基準単価	積算規格	単 価	補 正 構成比	備 考
K1		ダンプトラック[ワンロード・ティール] 10t積級(タイヤ損耗費及び補修費(良好)含む)			ダンプトラック 10t積級[ワンロード・ティール] タイヤ損耗費及び補修費(良好)含む			
K								
R1		運転手(一般)			運転手(一般)			
R								
Z1		軽油 1.2号 バトル給油			軽油			
Z								
					計			
積算単価	=							
A	殻発生作業	=3	舗装版破碎					
B	積込工法区分	=2	機械(騒音対策不要、15cm超or騒音対策必要)					
C	DID区間の有無	=2	有り					
D	運搬距離	=18	7.0km以下					

積算単価算出表

土砂等運搬

[規格1] 土質→土砂(岩塊・玉石混り土含む)

[規格2]

[摘要]

施工 第0-0006号内訳表

頁0-0045/0098

1 m3 当り

標準単価	代表機材規格	構成比	基準単価	積算規格	単 価	補 正 構成比	備 考
K1	ダンプトラック[ワンロード・ディーゼル] 10t積級(タイヤ損耗費及び補修費(良好)含む)			ダンプトラック 10t積級[ワンロード・ディーゼル] タイヤ損耗費及び補修費(良好)含む			
K							
R1	運転手(一般)			運転手(一般)			
R							
Z1	軽油 1.2号 バトル給油			軽油			
Z							
				計			
積算単価 =							
A	土砂等発生現場	=1	標準				
B	積込機種・規格	=3	バックホ山積0.45m3(平積0.35m3)				
C	土質	=1	土砂(岩塊・玉石混り土含む)				
D	DID区間の有無	=2	有り				
E	運搬距離	=16	7.0km以下				

積算単価算出表

土砂等運搬

[規格1] 土質→土砂(岩塊・玉石混り土含む)

[規格2]

[摘要]

施工 第0-0007号内訳表

頁0-0046/0098

1

m3 当り

標準単価	代表機材規格	構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
K1	ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 4t積級(タイヤ損耗費及び補修費(良好)含む)			ダンプトラック 4t積級[オンロード・ディーゼル] タイヤ損耗費及び補修費(良好)含む			
K							
R1	運転手(一般)			運転手(一般)			
R							
Z1	軽油 1.2号 バトル給油			軽油			
Z							
				計			
積算単価 =							
A	土砂等発生現場	=2	小規模				
B	積込機種・規格	=5	バックホ山積0.28m3(平積0.2m3)				
C	土質	=1	土砂(岩塊・玉石混り土含む)				
D	DID区間の有無	=2	有り				
E	運搬距離	=16	7.0km以下				

土砂等運搬
[規格1] 土質→軟岩

[規格2]

積算単価算出表

施工 第0-0008号内訳表

頁0-0047/0098
m3 当り

標準単価	代表機材規格			構成比	基準単価	積算規格			単価	補正 構成比	備考
K1		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 2t積級(タイヤ損耗費及び補修費(良好)含む)				ダンプトラック 2t積級[オンロード・ディーゼル] タイヤ損耗費及び補修費(良好)含む					
K											
R1		運転手(一般)				運転手(一般)					
R											
Z1		軽油 1.2号 バトル給油				軽油					
Z											
						計					
	積算単価 =										
A	土砂等発生現場	=3	現場制約あり								
B	積込機種・規格	=7	人力								
C	土質	=2	軟岩								
D	DID区間の有無	=2	有り								
E	運搬距離	=14	6.0km以下								

舗装版破碎(アスファルト舗装版)
[規格1]

[規格2] 撤去厚->15cm以下

積算単価算出表

施工 第0-0010号内訳表

頁0-0049/0098
m2 当り

標準単価	代表機材規格	構成比	基準単価	積算規格	単価	補正構成比	備考
K1	コンクリート圧砕機(単体) [大割機]開口幅735~850mm破碎力550~980kN			バックホウ用アタッチメント [コンクリート圧砕装置(大割機)] 開口幅735~850mm 破碎力550~980kN			
K2	バックホウ 山積0.45m3(平積0.35m3) [クローラ型] 排出ガス対策型含			バックホウ(排出ガス対策型含) 油圧式クローラ型山積0.45m3級			
K							
R1	運転手(特殊)			運転手(特殊)			
R2	普通作業員			普通作業員			
R3	土木一般世話役			土木一般世話役			
R							
Z1	軽油 1.2号 バトル給油			軽油			
Z							
				計			
積算単価 =							
A	舗装版種別 =1		アスファルト舗装版				
B	障害等の有無 =1		無し				
C	騒音振動対策 =2		必要				
D	舗装版厚 =1		15cm以下				
F	積込作業の有無 =1		有り				

床掘り
[規格1] 土砂 平均施工幅1m以上2m未満

[規格2] 土留->無し

積算単価算出表

施工 第0-0011号内訳表

頁0-0050/0098
m3 当り

標準単価	代表機材規格			構成比	基準単価	積算規格		単価	補正 構成比	備考
K1	バックホウ 山積0.45m3(平積0.35) [クロー型後方超小旋回型] 超低騒音型・排出ガス対策型含					バックホウ(排出ガス対策型・超低騒音型含) 油圧クロー後方超小旋回 山積0.45m3級				
K										
R1	運転手(特殊)					運転手(特殊)				
R										
Z1	軽油 1.2号 バトル給油					軽油				
Z										
						計				
積算単価 =										
A	土質	=1		土砂						
B	施工方法	=2		平均施工幅1m以上2m未満						
C	土留方式の種類	=1		無し						
D	障害の有無	=1		無し						

埋戻し
[規格1] 最大埋戻幅1m未満

[規格2]

積算単価算出表

施工 第0-0015号内訳表

頁0-0053/0098
m3 当り

1

[摘要]

標準単価	代表機材規格		構成比	基準単価	積算規格		単価	補正 構成比	備考
K1		バックホウ(クローラ型) 山積0.45m ³ (平積0.35m ³) [標準型・排出ガス対策型(第1次基準値)]			バックホウ(クローラ型) [標準型・排出ガス対策型(第1次基準値)] 0.45/0.35m ³				
K2		タンバ及びブレンダ 質量60~80kg			タンバ(ブレンダ) 60~80kg				
K									
R1		普通作業員			普通作業員				
R2		特殊作業員			特殊作業員				
R3		運転手(特殊)			運転手(特殊)				
R									
Z1		軽油 1.2号 バトル給油			軽油				
Z2		ガソリン レギュラー スタンド			レギュラーガソリン				
Z									
					計				
積算単価 =									
A	施工方法	=4		最大埋戻幅1m未満					

施工単価表

施工 第0-0016号内訳表

頁0-0054/0098

埋戻工

[規格1]再生切込砕石

[規格2]

[摘要]

100

m3

当り

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役		人			
普通作業員		人			
再生切込砕石 (0~30mm・0~40mm)		m3			
バックホ運転		時間			
タンバ締固め	100.00	m3			施工 第0-0017号内訳表
合計	100	m3			
単位当り	1	m3			
A 埋戻し材の種類 B 土留の種類 C バックホ規格		=6 =1 =6	再生切込砕石 たて込み簡易・軽量鋼矢板・アルミ矢板 バックホ 山積0.45m3 クレーン機能付 2.9t吊		

タンパ締固め
[規格1]

[規格2]

積算単価算出表

施工 第0-0017号内訳表

1
頁0-0055/0098
m3 当り

標準単価	代表機材規格		構成比	基準単価	積算規格	単 価	補 正 構成比	備 考
K1	タンパ及びアンマ 質量60~80kg				タンパ (アンマ) 60~80kg			
K								
R1	特殊作業員				特殊作業員			
R2	普通作業員				普通作業員			
R								
Z1	ガソリン レキユーアースタント				レキユーアースタント			
Z								
					計			
積算単価 =								

積算単価算出表

コンクリート
[規格1] 無筋・鉄筋構造物

[規格2]

[摘要]

施工 第0-0025号内訳表

頁0-0063/0098
m3 当り

標準単価	代表機材規格	構成比	基準単価	積算規格	単 価	補 正 構成比	備 考
K							
R1	普通作業員			普通作業員			
R2	特殊作業員			特殊作業員			
R3	土木一般世話役			土木一般世話役			
R							
Z1	生コンクリート 高炉24-12-25(20) W/C=55%			生コンクリート 18-8-40BB 水セメント比60%以下			
Z							
				計			
積算単価 =							
A	構造物種別 =1		無筋・鉄筋構造物				
B	打設工法 =4		人力打設				
C	コンクリート規格 =9		18-8-40BB[水セメント比 60%以下]				
E	養生工の種類 =2		一般養生				
G	現場内小運搬の有無 =2		無し				

モルタル練
[規格1] 高炉 混合比→1:2

[規格2]

積算単価算出表

施工 第0-0027号内訳表

頁0-0065/0098
m3 当り

標準単価	代表機材規格			構成比	基準単価	積算規格	単 価	補 正 構成比	備 考
K									
R1		普通作業員				普通作業員			
R									
Z1		セメント 高炉B 25kg袋入				高炉セメント(B種) (袋物25kg入り)			
Z2		砂 細目(洗い)				砂 洗砂			
Z									
						計			
積算単価 =									
A	セメント種別		=3	高炉					
B	砂種類		=1	洗砂					
C	混合比		=2	1:2					

床掘り
[規格1] 土砂 上記以外(小規模)

[規格2]

積算単価算出表

施工 第0-0028号内訳表

頁0-0066/0098
m3 当り

標準単価	代表機材規格		構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
K1		バックホウ(クローラ型) 山積0.28m3 (平積0.2m3) [後方超小旋回型・排ガス(第2次)]			バックホウ(クローラ型) [後方超小旋回型・排ガス対策型(第2次)] 0.28/0.2m3		1	
K								
R1		運転手(特殊)			運転手(特殊)			
R2		普通作業員			普通作業員			
R								
Z1		軽油 1.2号 バトル給油			軽油			
Z								
					計			
積算単価 =								
A 土質		=1		土砂				
B 施工方法		=5		上記以外(小規模)				

埋戻し
[規格1] 上記以外(小規模) 土砂

[規格2]

積算単価算出表

施工 第0-0030号内訳表

頁0-0068/0098
m3 当り

1

標準単価	代表機材規格		構成比	基準単価	積算規格	単 価	補 正 構成比	備 考
K1		バックホウ(クローラ型) 山積0.28m3 (平積0.2m3) [後方超小旋回型・排ガス(第2次)]			バックホウ(クローラ型) [後方超小旋回型・排ガス対策型(第2次)] 0.28/0.2m3			
K2		タンバ 及びびランマ 質量60~80kg			タンバ 及びびランマ [ランマ] 60~80kg			
K								
R1		普通作業員			普通作業員			
R2		特殊作業員			特殊作業員			
R3		運転手(特殊)			運転手(特殊)			
R								
Z1		軽油 1.2号 バトル給油			軽油			
Z2		ガソリン レギュラー スタンド			レギュラーガソリン			
Z								
					計			
積算単価 =								
A	施工方法	=5	上記以外(小規模)					
B	土質	=1	土砂					

積算単価算出表

コンクリート
[規格1] 小型構造物

[規格2]

施工 第0-0033号内訳表

頁0-0071/0098
m3 当り

標準単価	代表機材規格	構成比	基準単価	積算規格	単 価	補 正 構成比	備 考
K							
R1	普通作業員			普通作業員			
R2	土木一般世話役			土木一般世話役			
R3	特殊作業員			特殊作業員			
R							
Z1	生コンクリート 高炉24-12-25(20) W/C=55%			生コンクリート 18-8-20BB 水セメント比60%以下			
Z							
				計			
積算単価 =							
A	構造物種別 =2		小型構造物				
B	打設工法 =4		人力打設				
C	コンクリート規格 =26		18-8-20BB[水セメント比 60%以下]				
E	養生工の種類 =2		一般養生				
G	現場内小運搬の有無 =2		無し				

型枠
[規格1] 一般型枠

[規格2] 小型構造物

積算単価算出表

施工 第0-0034号内訳表

頁0-0072/0098
m2 当り

標準単価	代表機労材規格		構成比	基準単価	積算規格	単 価	補 正 構成比	備 考
K							1	
R1		型わく工			型わく工			
R2		普通作業員			普通作業員			
R3		土木一般世話役			土木一般世話役			
R								
Z								
					計			
積算単価 =								
A	型枠の種類	=1	一般型枠					
B	構造物の種類	=2	小型構造物					

基礎砕石

[規格1] 砕石厚->7.5cmを超え12.5cm以下

[規格2] 再生クワッシャー RC-30, RC-40

積算単価算出表

施工 第0-0035号内訳表

頁0-0073/0098

[摘要]

1

m2 当り

標準単価	代表機材規格		構成比	基準単価	積算規格	単 価	補 正 構成比	備 考
K1		バックホウ 山積0.8m3(平積0.6m3) [クローラ型] 排出ガス対策型含			バックホウ(排出ガス対策型含) 油圧式クローラ型山積0.8m3級			
K								
R1		普通作業員			普通作業員			
R2		特殊作業員			特殊作業員			
R3		運転手(特殊)			運転手(特殊)			
R4		土木一般世話役			土木一般世話役			
R								
Z1		再生クワッシャー RC-40			再生切込砕石 (0~30mm・0~40mm)			
Z2		軽油 1.2号 バトル給油			軽油			
Z								
					計			
積算単価	=							
A	砕石の厚さ	=2	7.5cmを超え12.5cm以下					
B	砕石の種類	=1	再生クワッシャー RC-30, RC-40					

表層(車道・路肩部)

[規格1] t = 50mm

[規格2] 密粒度アスコン[再](13)

積算単価算出表

施工 第0-0038号内訳表

頁0-0076/0098

1 m2 当り

標準単価	代表機材規格			構成比	基準単価	積算規格			単価	補正構成比	備考
K1		振動ローラ(舗装用) 質量0.5~0.6t [ハンドガイド式]				振動ローラ(舗装用) [ハンドガイド式] 0.5~0.6t					
K2		振動コンパクタ 質量40~60kg [前進型]				振動コンパクタ [前進型] 40~60kg					
K											
R1		特殊作業員				特殊作業員					
R2		普通作業員				普通作業員					
R3		土木一般世話役				土木一般世話役					
R											
Z1		密粒度アスコン TOP20 t=50mm				再生密粒度アスコン TOP13					
Z2		ガソリン レギュラー スタンド				レギュラーガソリン					
Z3		軽油 1.2号 バトル給油				軽油					
Z											
						計					
	積算単価 =										
A	平均幅員	=1				1.4m未満(1層当り平均厚50mm以下)					
B	1層当り平均仕上り厚(mm)	=50				1層当り平均仕上り厚(mm)					
C	材料	=8				密粒度アスコン[再](13)					
D	夜間割増の有無	=1				無し					
E	瀝青材料種類	=5				無し					

舗装版切断(アスファルト舗装版)
[規格1] As舗装版厚->15cm以下

[規格2]

積算単価算出表

施工 第0-0039号内訳表

頁0-0077/0098
m 当り

標準単価	代表機材規格		構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
K1		コンクリートカッタ 切削深20cm級 [ハキュム式・湿式]			コンクリートカッタ [ハキュム式・湿式] 20cm級			
K								
R1		特殊作業員			特殊作業員			
R2		土木一般世話役			土木一般世話役			
R3		普通作業員			普通作業員			
R								
Z1		コンクリートカッタ(プレート) 径22インチ			舗道版切断 カッタープレート 径22インチ			
Z2		カソリン レギュラー スタント			レギュラーカソリン			
Z								
					計			
積算単価 =								
A	舗装版種別	=1		アスファルト舗装版				
B	アスファルト舗装版厚	=1		15cm以下				

上層路盤(車道・路肩部)
[規格1] 粒調碎石 M-25, M-30, M-40

[規格2] t = 100mm

積算単価算出表

施工 第0-0040号内訳表

頁0-0078/0098
m2 当り

標準単価	代表機材規格	構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
K1	モータロータプレート幅3.1m [土工用・排出ガス対策型(第2次基準値)]			モータロータ [土工用・排出ガス対策型(第2次基準値)] 3.1m			
K2	ロードローラ 質量10t [マカダム・排出ガス対策型(第2次基準値)]			ロードローラ [マカダム・排出ガス対策型(第2次基準値)] 10t			
K3	タイヤローラ 質量8~20t 排出ガス対策型含			タイヤローラ(排出ガス対策型含) 8~20t			
K							
R1	運転手(特殊)			運転手(特殊)			
R2	特殊作業員			特殊作業員			
R3	普通作業員			普通作業員			
R4	土木一般世話役			土木一般世話役			
R							
Z1	再生粒度調整碎石 RM-40 全厚t=150mm			粒調碎石 (0~25mm・0~30mm・0~40mm)			
Z2	軽油 1.2号 バトル給油			軽油			
Z							
				計			
積算単価 =							
A	材料	=3	粒調碎石 M-25, M-30, M-40				
D	全仕上り厚(mm)	=100	全仕上り厚(mm)				
E	施工区分	=1	1層施工				

施工単価表

施工 第0-0048号内訳表

頁0-0086/0098

試掘調査工

[規格1]	[規格2]	[摘要]	1	箇所	当り
名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
舗装版切断(アスファルト舗装版) As舗装版厚→15cm以下	6	m			施工 第0-0039号内訳表
舗装版破碎積込(小規模土工)	2	m ²			施工 第0-0049号内訳表
床掘り 土砂 現場制約あり	2.9	m ³			施工 第0-0050号内訳表
埋戻し 小規模土工 材→再生切込砕石	1.4	m ³			施工 第0-0029号内訳表
埋戻し 小規模土工 材→砂	1.3	m ³			施工 第0-0051号内訳表
殻運搬 舗装版破碎	0.1	m ³			施工 第0-0052号内訳表
処分費 アスファルト殻	1	式			施工 第0-0053号内訳表 (株明神リサイクルセンター)
土砂等運搬 土質→土砂(岩塊・玉石混り土含む)	2.9	m ³			施工 第0-0007号内訳表
処分費 土砂	1	式			施工 第0-0054号内訳表 (田口建材(株))
上層路盤(車道・路肩部) 粒調砕石 M-25, M-30, M-40 t = 100mm	2.0	m ²			施工 第0-0040号内訳表
仮復旧工 t = 50mm 密粒度アスコン[再](13)	2.0	m ²			施工 第0-0055号内訳表
単 位 当 り	1	箇所			

標準単価	代表機労材規格		構成比	基準単価	積算規格	単 価	補 正 構成比	備 考
K1		小型バックホウ積込0.13m ³ (平積0.10m ³) [クローラ型・排出ガス対策型(第2次基準値)]			小型バックホウ(クローラ型) [標準型・排出ガス対策型(第2次基準値)] 0.13/0.10m ³			
K								
R1		運転手(特殊)			運転手(特殊)			
R								
Z1		軽油 1.2号 バトル給油			軽油			
Z								
					計			
積算単価	=							

積算単価算出表

床掘り
[規格1] 土砂 現場制約あり

[規格2]

[摘要]

施工 第0-0050号内訳表

頁0-0088/0098
1
m3 当り

標準単価	代表機材規格	構成比	基準単価	積算規格	単 価	補 正 構成比	備 考
K							
R1	普通作業員			普通作業員			
R							
Z							
				計			
積算単価 =							
A	土質	=1	土砂				
B	施工方法	=6	現場制約あり				

殻運搬
[規格1] 舗装版破碎

[規格2]

積算単価算出表

施工 第0-0052号内訳表

頁0-0090/0098
m3 当り

標準単価	代表機労材規格		構成比	基準単価	積算規格	単 価	補 正 構成比	備 考
K1		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 2t積級(タイヤ損耗費及び補修費(良好)含む)			ダンプトラック 2t積級[オンロード・ディーゼル] タイヤ損耗費及び補修費(良好)含む			
K								
R1		運転手(一般)			運転手(一般)			
R								
Z1		軽油 1.2号 バトル給油			軽油			
Z								
					計			
積算単価	=							
A	殻発生作業	=3	舗装版破碎					
B	積込工法区分	=4	機械(小規模土工)					
C	DID区間の有無	=2	有り					
D	運搬距離	=17	6.5km以下					

仮復旧工
[規格1] t = 50mm

[規格2] 密粒度アスコン[再](13)

積算単価算出表

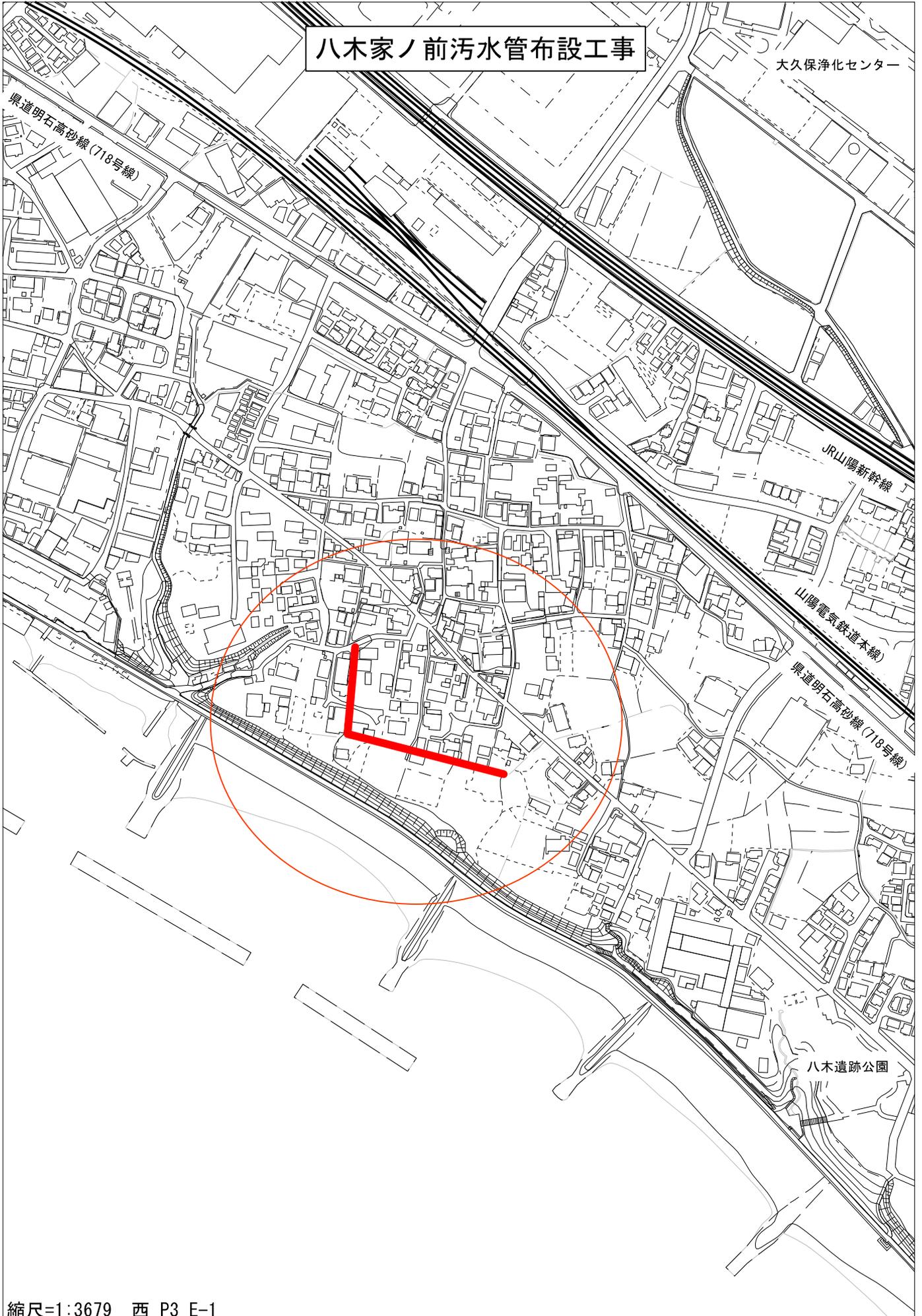
施工 第0-0055号内訳表

頁0-0093/0098
m2 当り

標準単価	代表機材規格		構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
K1		振動ローラ(舗装用) 質量0.5~0.6t [ハンドガイド式]			振動ローラ(舗装用) [ハンドガイド式] 0.5~0.6t		1	
K2		振動コンパクタ 質量40~60kg [前進型]			振動コンパクタ [前進型] 40~60kg			
K								
R1		特殊作業員			特殊作業員			
R2		普通作業員			普通作業員			
R3		土木一般世話役			土木一般世話役			
R								
Z1		密粒度アスコン TOP20 t=50mm			再生密粒度アスコン TOP13			
Z2		ガソリン レギュラー スタンド			レギュラーガソリン			
Z3		軽油 1.2号 バトル給油			軽油			
Z								
					計			
	積算単価 =							
A	平均幅員	=1		1.4m未満(1層当り平均厚50mm以下)				
B	1層当り平均仕上り厚(mm)	=50		1層当り平均仕上り厚(mm)				
C	材料	=8		密粒度アスコン[再](13)				
D	夜間割増の有無	=1		無し				
E	瀝青材料種類	=5		無し				

八木家ノ前污水管布設工事

大久保浄化センター



工 事 設 計 図 書									
年 度	令和4年度	技術管理者	課長	係長	係長	精算者	設計者	第3次整備事業費	
工 事 番 号	04-1201							設 計 年 月 日	令和4年 10月26日
着 工 番 号			精 算 年 月 日	令和4年 10月26日					
施 工 理 由									
施 工 箇 所	明石市大久保町八木地内					施 工 方 法 及 び 工 事 期 限		<input type="checkbox"/> 請負 単価契約 令和5年7月20日まで	
工 事 名 称	大久保町八木地内配水管布設工事					支 払 い 方 法		前 払 金	あり (40%以内)
								中 間 前 払 金	あり (20%以内)
								部 分 払	あり (2回以内)
工 事 概 要	配水管布設工計 L=185.3m								
	配水管布設工 φ75 L=185.3m								
	仕切弁設置工 φ75 2箇所								
	消火栓設置工 φ75 1箇所								
	舗装復旧工 1式								
当初設計金額	円	消費税相当額	円	当初請負金額	円	消費税相当額	円		
変更設計金額	円	消費税相当額	円	変更請負金額	円	消費税相当額	円		
増 減	円	増 減	円	増 減	円	増 減	円		

契約数量表

本工事費	費目・工種明細など	規格1・規格2	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量増減
管路(開削)						
φ75管路						
φ75管布設工			式		1	
材料			式		1	
DGX-S 直管 φ 75×4000	ゴム輪・ロックリング(ホルダー含)		本		45	
DGX 曲管 φ 75×45°	ロックリング含		個		4	
DGX 曲管 φ 75×11° 1/4	ロックリング含		個		6	
DGX 両受曲管 φ 75×45°	ロックリング含		個		2	
DGX フランジ付きT字管 φ 75× 75	ロックリング含		個		1	
DGX 短管1号 φ 75	ロックリング含		個		1	
ソトソール仕切弁付割T字管 φ 75× 75	密着コア(SUS製) 含む		基		1	
フランジ耐震金具 φ 75(3DkN以上)			組		1	
フランジ接合補強具(LSP形) φ 75	7.5K LSPパッキン		組		4	
GX形ソトソール仕切弁(受挿し) φ 75	ロックリング含		基		2	
仕切弁ボックス(円形1号)(H=740)	鉄蓋含む		組		3	
ケルップ式単口消火栓(浅埋形) φ75×65	JWWA B 103, 地下式, 単口式, 0.75MPa		基		1	
フランジ短管 φ 75×150	0.75MPa		個		1	

契約数量表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単 位	数量 (前回)	数量 (今回)	数量増減
補修弁 (キャップ式) φ75×100	JWWA B 126, 0.75MPa	基		1	
消火栓ボックス(円形3号) (H=640)	鉄蓋及び無収縮モルタル含む	組		1	
GX形P-Linkセット φ 75	切管直管受用	組		2	
GX形G-Linkセット φ 75	切管異形管受用	組		3	
GX形接合セット φ 75	異形管・V用	組		15	
GX形ラ付 φ 75	ライボート含	組		12	
DGX 帽 φ 75		個		1	
表示帯		m		185.3	
ポリethyleneスリーブ φ 75	固定材料含む	m		185.3	
管明示テープ (幅50mm 1巻 20m)	年号入り	巻		13	
手間		式		1	
鋳鉄管吊込み据付 (機械力)	呼び径 75mm以下	m		184.3	
鋳鉄管(新設管)切断工(エンジンカッター)	ダクタイル鋳鉄管 呼び径75mm	口		3	
不断水連絡工(φ75mm×φ75mm)		箇所		1	
密着コア取付工 φ 75		個		1	
鋳鉄製仕切弁(機械力)設置	縦型仕切弁 呼び径 100mm以下	基		2	
円形1号ボックス設置工(H=740)	鉄蓋設置含む	箇所		3	
消火栓(地下式 単口)設置工	機械施工 フランジ接合1口含む	箇所		1	

契約数量表

頁0-0003/0006

費目・工種明細など	規格1・規格2	単 位	数量 (前回)	数量 (今回)	数量増減
フランジ継手 接合(呼び径 75(80)mm)	J W W A 7.5K	口		3	
円形3号ボックス設置工(H=640)	鉄蓋設置含む	箇所		1	
G X継手接合(呼び径 75mm)	直管	口		44	
G X継手接合(呼び径 75mm)	P-Linkの接合	口		2	
G X継手接合(呼び径 75mm)	G-Linkの接合	口		3	
G X継手接合(呼び径 75mm)	異形管	口		15	
管明示シート工		m		185.3	
ポリエチレンスリーブ被覆(呼び径 75mm)		m		185.3	
管明示テープ工	φ75	m		185.3	
φ75管布設土工		式		1	
土工		式		1	
舗装版切断(アスファルト舗装版)	As舗装版厚→15cm以下	m		19	
舗装版取壊し積込工	舗装厚⇒0cm越え 10cm以下	m2		6	
掘削積込工		m3		110	
掘削積込工(補助的作業なし)		m3		0.9	
掘削(人力)	土砂 現場制約あり	m3		0.9	
残塊処分工(アスファルト)	〔(株)明神リサイクルセンター〕	m3		0.3	
残塊処分工(土砂)	〔田口建材〕	m3		110	

契約数量表

頁0-0004/0006

費目・工種明細など	規格1・規格2	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量増減
仮復旧工 [密粒度[再](13)]	厚 5cm	m2		6	
路盤工(粒調碎石)	上層路盤 施工幅: 1.8m 未満 仕上り厚10cm	m2		6	
埋戻工(埋戻し材→再生切込砕石)		m3		67	
埋戻工(埋戻し材→スクリーンングス)		m3		44	
舗装復旧工		式		1	
アスファルト1層式(車道)		式		1	
舗装版切断(アスファルト舗装版)	As舗装版厚→15cm以下	m		8	
舗装版取壊し積込工	舗装厚⇒0cm越え 10cm以下	m2		63	
残塊処分工(アスファルト)	〔株明神リサイクルセンター〕	m3		3	
不陸整正工(粒調碎石)	施工幅: 1.8m 以上、補足材厚3cm	m2		63	
表層(車道・路肩部)	t = 50mm	m2		63	
給水管					
給水管布設工		式		1	
管材		式		1	
PP管 φ20	二層管, 1種(軟質)	m		5	
給水管切替 φ20 (材料)	サドル分水栓含まない	箇所		2	
サドル分水栓(鋳鉄用) φ75×20	密着コア込	個		2	
PP管 φ25	二層管, 1種(軟質)	m		1.5	

契約数量表

頁0-0005/0006

費目・工種明細など	規格1・規格2	単 位	数量 (前回)	数量 (今回)	数量増減
給水管切替φ25 (材料)	ナール分水栓含まない	箇所		1	
ナール分水栓 (鋳鉄用) φ 75×25	密着コア込	個		1	
表示帯		m		6.5	
管明示テープ (幅50mm 1巻 20m)	年号入り	巻		1	
手間		式		1	
ポリエチレン管 据付	呼び径 20mm	m		5	
給水管切替工 (φ 75~150× φ 20)		箇所		2	
ポリエチレン管 据付	呼び径 25mm	m		1.5	
給水管切替工 (φ 75~150× φ 25)		箇所		1	
管明示シート工		m		6.5	
管明示テープ工 (ポリエチレン管)	呼び径 φ 50mm 天端明示無し	m		6.5	
給水管布設土工		式		1	
土工		式		1	
掘削積込工		m3		2	
掘削積込工 (補助的作業なし)		m3		0.7	
掘削 (人力)	土砂	m3		0.2	
残塊処分工 (土砂)	〔田口建材〕	m3		3	
埋戻工 (埋戻し材→再生切込碎石)		m3		2	

特記仕様書
(令和4年度 大久保町八木地区内配水管布設工事)

項目以下数字の左側に※がある項目を本工事の該当項目とする。

章																									
1	<p>一般共通事項</p> <p>※ 1 現場代理人の兼務 ※ 1 本合併工事については、本合併工事以外の工事の現場代理人の兼務を認めない。</p> <p>※ 2 合併工事 ※ 1 本工事は、道路整備課、下水道整備課発注工事との合併工事である。</p> <p>※ 3 近接工事 ※ 1 発注時に、確認している近接工事は無いが、近接工事が確認された場合は、関連他業者との連絡を密にし、互いの工事の影響が少ないように工程管理すること。</p> <p>※ 4 占用関係</p> <table style="margin-left: 40px; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding-right: 20px;">1 国道()</td> <td style="border-left: 1px solid black; padding-left: 20px;">2 県道()</td> </tr> <tr> <td style="padding-right: 20px;">③ 市道()</td> <td style="border-left: 1px solid black; padding-left: 20px;">4 法定外道路()</td> </tr> <tr> <td style="padding-right: 20px;">5 港湾()</td> <td style="border-left: 1px solid black; padding-left: 20px;">6 河川()</td> </tr> <tr> <td style="padding-right: 20px;">7 その他()</td> <td style="border-left: 1px solid black; padding-left: 20px;"></td> </tr> </table> <p style="margin-left: 40px;">上記のチェックが入っている占用について、監督員と協議して必要な書類を提出すること。</p> <p>※ 5 協議関係(上記占用以外)</p> <table style="margin-left: 40px; border-collapse: collapse;"> <tr><td>1 鉄道等()</td></tr> <tr><td>2 バス道等()</td></tr> <tr><td>3 学校関係()</td></tr> <tr><td>4 その他()</td></tr> </table> <p style="margin-left: 40px;">上記1～4のいずれかにチェックが入っている場合は、各関係者に施工内容や時期を報告し、場合によっては施工協議をする必要も出てくるので、監督員と充分協議すること。</p> <p>※ 6 工事の範囲 ※ 1 当該工事予定範囲について、地元要望等及び現地の状況により、施工範囲の増減が生じる可能性がある。その場合は、協議のうえ設計変更の対象とする。</p> <p>※ 7 交通誘導警備員 ※ 1 交通誘導警備員の人数は、下表のとおりとする。</p> <table style="margin-left: 40px; border-collapse: collapse; width: 300px;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">種類</th> <th style="width: 20%;">合計</th> <th style="width: 50%;">配水</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">A</td> <td style="text-align: center;">0名</td> <td style="text-align: center;">0名</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">B</td> <td style="text-align: center;">31名</td> <td style="text-align: center;">31名</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">合計</td> <td style="text-align: center;">31名</td> <td style="text-align: center;">31名</td> </tr> </tbody> </table> <p style="margin-left: 40px;">※ 1日1現場当り3名(標準)</p> <p style="margin-left: 40px;">※ 1日1現場当りT字交差点部 5名</p> <p style="margin-left: 40px;">※ 1日1現場当り舗装復旧5名</p> <p style="margin-left: 40px;">その他1日1現場当り追加 1名(バス停)</p> <p style="margin-left: 40px;">※ 道路管理者及び警察署との協議及び地元要望等に伴い、上記の配置員数に増減が生じた場合は、協議のうえ設計変更の対象とする。また、その配置を監督員と協議すること。</p> <p style="margin-left: 40px;">なお、交通誘導員A、Bの定義は次のとおりとする。</p> <p style="margin-left: 80px;">交通誘導警備員A;警備業者の警備員(警備業法第2条第4項に規定する警備員を言う。)で、交通誘導警備業務(警備員等の検定等に関する規則第1条</p>	1 国道()	2 県道()	③ 市道()	4 法定外道路()	5 港湾()	6 河川()	7 その他()		1 鉄道等()	2 バス道等()	3 学校関係()	4 その他()	種類	合計	配水	A	0名	0名	B	31名	31名	合計	31名	31名
1 国道()	2 県道()																								
③ 市道()	4 法定外道路()																								
5 港湾()	6 河川()																								
7 その他()																									
1 鉄道等()																									
2 バス道等()																									
3 学校関係()																									
4 その他()																									
種類	合計	配水																							
A	0名	0名																							
B	31名	31名																							
合計	31名	31名																							

特記仕様書
(令和4年度 大久保町八木地区内配水管布設工事)

項目以下数字の左側に※がある項目を本工事の該当項目とする。

章	
	<p style="text-align: center;">第4号に規定する交通誘導警備業務をいう。)に従事する交通誘導警備業務に係る1級検定合格警備員又は2級検定合格警備員 交通誘導警備員B;警備業者の警備員で交通誘導警備員A以外の交通の誘導に従事するもの</p> <p>8 低入札調査基準価格または最低制限価格の算定方法について</p> <p style="margin-left: 2em;">1 低入札調査基準価格または最低制限価格の算定については、スクラップ控除を直接工事費に含めて算定している。</p> <p>※ 9 断水作業及び管内清掃作業等に伴う弁栓類操作および放水作業について</p> <p style="margin-left: 2em;">※ 1 受注者は、弁栓類操作および放水作業にかかる作業員を用意すること。</p> <p style="margin-left: 2em;">※ 2 上記作業については、監督員または水道局職員の指導のもと、受注者が行うものとする。</p> <p style="margin-left: 2em;">※ 3 上記作業に伴い濁水等が発生した場合は直ちに監督員に連絡の上、監督員の作業指示に従い、監督員と協力の上、濁水等の処理を行うこと。</p> <p style="margin-left: 2em;">※ 4 受注者は、上記作業に伴う放水用器具を1セット用意すること。 (放水用器具1セット:消火栓スタンド、バルブキー2本、放水用ホース)</p> <p>※ 10 工事日報について</p> <p style="margin-left: 2em;">※ 1 工事日報は該当箇所作業後、該当箇所の日報を2週間以内にセンター監督員に提出すること。</p> <p style="margin-left: 2em;">※ 2 工事日報は以下の工種について提出するものとする。</p> <p style="margin-left: 4em;">① 試掘工 ② 仮配水管、仮給水管布設撤去工</p> <p style="margin-left: 4em;">③ 水道本管布設撤去工(残置処理配管共)</p> <p style="margin-left: 4em;">④ 給水管布設工 ⑤ 水圧試験</p> <p style="margin-left: 4em;">⑥ 白紙様式3枚(検査合格報告書分)</p> <p style="margin-left: 2em;">なお、提出工種に疑義が生じた場合は、監督員と協議の上、提出内容を決定すること。</p> <p style="margin-left: 2em;">※ 3 その他内容については、水道工事標準仕様書(6.提出書類)に基づくものとする。</p> <p>※ 11 その他事項</p> <p style="margin-left: 2em;">※ 1 設計図書とは、明石市水道局工事請負契約約款第1条に規定する設計図書及び工事設計書のことをいう。</p> <p style="margin-left: 2em;">※ 2 工期については、配水管布設替工事については契約締結日の翌日から令和5年7月20日までとしている。</p> <p style="margin-left: 2em;">※ 3 当該工事設計書は令和3年度水道施設整備費に係る歩掛表に基づいて積算している。</p> <p style="margin-left: 2em;">※ 4 間接工事費等の算定における管材費には、従来の材料に加えて仮配管も含めている。</p>

章	
2	<p>管きょ工</p> <p>※ 1 使用材料</p> <p style="margin-left: 2em;">※ 1 使用材料確認願(様式29-1)には、明石市水道工事標準仕様書4.1に記載している指定品及びその他土木工事等材料を記載すること。</p> <p style="margin-left: 2em;">添付書類は、県土整備部指定様式のほか、使用するメーカーの日本水道協会検査工場登録通知書、構造図(承認図)(不断水バルブ、割T字管(付属バルブ)、特殊な仕切弁、消火栓、空気弁、補修弁、排泥弁、止水栓、サドル分水栓、その他監督員が必要と認める材料)とする。</p> <p style="margin-left: 2em;">※ 2 土木工事承諾願(様式30-1)には、指定品以外の水道材料及び受注者が監督員に承諾を求める材料を記載すること。</p>

特記仕様書
(令和4年度 大久保町八木地区内配水管布設工事)

項目以下数字の左側に※がある項目を本工事の該当項目とする。

章	
	<p>添付書類は、県土整備部指定様式のほか、水道材料については、使用するメーカーの日本水道協会検査工場登録通知書と構造図(承認図)またはそれらに替わる書類、土木工事等材料については、その性能等を証明する書類とする。</p> <p>※ 3 水道使用材料納品後、立会願を提出し、監督員の材料確認状況及び材料のメーカーマークが分かる写真を工事写真帳に添付すること。</p> <p>※ 4 在庫品を使用する場合、工事打合せ簿にて使用したい在庫品の一覧表を添付すること。また、立会願を提出し、監督員は在庫品を確認し、使用可能かを工事打合せ簿で回答すること。確認状況写真を工事写真帳に添付すること。</p> <p>※ 2 一体化長さ</p> <p style="padding-left: 20px;">※ 1 設計水圧0.75Mpa、摩擦係数0.3で設計している。</p> <p style="padding-left: 20px;">※ 2 上記の条件と管の各口径及び各土被りを考慮し一体化長さを確認し、ライナや特殊押輪の有無を適時確認して施工すること。</p> <p>※ 3 管の据付</p> <p style="padding-left: 20px;">※ 1 管路の高さを調整する場合は、スクリーニング等を詰めた土嚢を原則使用すること。</p> <p style="padding-left: 20px;">※ 2 木材を使用する場合には、防腐処理を施した材料を使用すること。</p> <p>※ 4 消火栓・空気弁</p> <p style="padding-left: 20px;">※ 1 丸型消火栓ボックスを設置する箇所については、補修弁のバルブの位置を配水管法線から、90° の位置に設置すること。</p> <p style="padding-left: 20px;">※ 2 消火栓及び空気弁の口の高さは、GL-20cm±5に収まるようにフランジ短管で調節すること。</p> <p style="padding-left: 20px;">※ 3 フランジ部で使用するボルトは75mm以上のSUS製とすること。また、ナットについては、SUS製の緩み防止仕様を使用すること。</p> <p>※ 5 水圧試験</p> <p style="padding-left: 20px;">※ 1 標準仕様書5.10(1)について以下の条件を全て満たす場合、試験水圧0.75MPa、試験時間10分間、低下率1.0%以内を許容限度とする。</p> <p style="padding-left: 40px;">・材質は铸铁管 ・口径は300mm以下 ・試験延長合計は100m未満</p> <p>6 現場発生品の処分</p> <p style="padding-left: 20px;">1 既設铸铁管、鉄蓋関係の処分については、有価物として売却すること。その場合、金属くず商の許可証の写し、物品の受領を証明する書類、計量証明書などを監督員に提出すること。また、計量伝票などの集計を設計変更の対象とする。なお、処分地は窪田窪商店で運搬距離は2.4kmを計上している。ただし、上記書類等が整えば、別の処分地でも可能とする。その場合は、設計変更の対象としない。</p> <p style="padding-left: 20px;">2 既設石綿管の撤去が発生した場合、「水道用石綿セメント管の撤去作業等における石綿対策の手引き」(平成17年8月、厚生労働省健康局水道課)を参考として作業を行うこと。その文章中のプラスチック袋等は、ポリエチレンスリーブ(2重包み)に置き換えて作業すること。処分地は特記仕様書(追記)のとおりとする。</p> <p style="padding-left: 20px;">3 既設塩ビ管、ボックス等、その他現場発生品については、その材質により適切に処分すること。処分費については、処分地等は大阪湾広域臨海環境整備センター(播磨事業所)、運搬距離8.5km、処分費目は廃プラスチック類でを計上している。ただし、計量伝票などの集計を設計変更の対象とする。</p> <p>7 スクラップの種類</p> <p style="padding-left: 20px;">1 撤去铸铁管関係については、故銑Bで計上している。</p> <p>8 その他事項</p> <p style="padding-left: 20px;">1 本工事における仮配水管の供用日数について、(1)～(4)は30日まで、(5)は121～150日まで</p>

特記仕様書
(令和4年度 大久保町八木地区内配水管布設工事)

項目以下数字の左側に※がある項目を本工事の該当項目とする。

章	
	として計上している。

章																																																																																																																																				
3	<p>土工事</p> <p style="margin-left: 20px;">1 重機</p> <p style="margin-left: 40px;">1 特殊車両(一般的制限値である幅2.5m、長さ12.0m、高さ3.8m、総重量20.0t等のいずれかを越える車両)を使用する工事なので、施工計画書に明記するとともに、施工時までに必要な書類をそろえ、監督員に提示できるようにしておくこと。</p> <p>※ 2 アスファルト切断</p> <p style="margin-left: 40px;">※ 1 アスファルト切断は、乾式または吸引式を使用すること。</p> <p>※ 3 配水管布設時の掘削幅</p> <p style="margin-left: 40px;">※ 1 矢板無の場合、単位はmm</p> <table border="1" style="margin-left: 60px; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr><th>口径</th><th>φ 75</th><th>φ 100</th><th>φ 150</th><th>φ 200</th><th>φ 250</th><th>φ 300</th><th>φ 350</th><th>φ 400</th><th>φ 450</th></tr> <tr><td>GX形</td><td>600</td><td>600</td><td>600</td><td>600</td><td>650</td><td>700</td><td>900</td><td>950</td><td>1000</td></tr> <tr><td>NS形</td><td>600</td><td>650</td><td>700</td><td>750</td><td>800</td><td>850</td><td>900</td><td>950</td><td>1000</td></tr> <tr><td>K形</td><td>600</td><td>650</td><td>700</td><td>750</td><td>800</td><td>850</td><td>900</td><td>950</td><td>1000</td></tr> </table> <p style="margin-left: 40px;">※ 2 矢板有の場合、単位はmm</p> <table border="1" style="margin-left: 60px; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr><th>口径</th><th>φ 75</th><th>φ 100</th><th>φ 150</th><th>φ 200</th><th>φ 250</th><th>φ 300</th><th>φ 350</th><th>φ 400</th><th>φ 450</th></tr> <tr><td>GX形</td><td>850</td><td>850</td><td>850</td><td>850</td><td>850</td><td>850</td><td>950</td><td>1000</td><td>1050</td></tr> <tr><td>NS形</td><td>850</td><td>850</td><td>850</td><td>850</td><td>850</td><td>900</td><td>950</td><td>1000</td><td>1050</td></tr> <tr><td>K形</td><td>850</td><td>850</td><td>850</td><td>850</td><td>850</td><td>900</td><td>950</td><td>1000</td><td>1050</td></tr> </table> <p style="margin-left: 40px;">※ 4 配水管布設時の掘削深</p> <p style="margin-left: 60px;">※ 1 配水管布設時の掘削深は、土被り+布設管外径(D2)+100を基本とする。</p> <p style="margin-left: 60px;">※ 2 既設管を撤去し、その断面で新設管を布設する場合、既設管の管底まで掘削し、上記のように掘削深から100mm程度上げた状態で管を布設することを基本とする。ただし、近接する地下埋設物の状態や既設管の配管状況により、曲管等の異形管が極力増えないように土被りを検討すること。</p> <p style="margin-left: 60px;">※ 3 会所掘箇所は、G-Link・P-Link・特殊押輪等の押しボルト設置箇所とする。</p> <p style="margin-left: 60px;">※ 4 会所掘箇所の断面は、布設管口径がφ350mm以下の場合、延長500mm、深さ200mm、φ400mm以上の場合、延長800mm、深さ500mmとし、幅はそれぞれの掘削幅とする。</p> <p style="margin-left: 20px;">5 仮配水管・仮給水管の掘削幅・掘削深</p> <p style="margin-left: 40px;">1 矢板無の場合、単位はmm</p> <table border="1" style="margin-left: 60px; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr><th>口径</th><th>φ100以下</th><th>φ 150</th><th>φ 200</th><th>φ 250</th><th>φ 300</th><th>φ 400</th></tr> <tr><td>幅</td><td>400</td><td>450</td><td>500</td><td>550</td><td>600</td><td>700</td></tr> <tr><td>深さ</td><td>400</td><td>450</td><td>500</td><td>550</td><td>600</td><td>800</td></tr> </table> <p style="margin-left: 40px;">2 矢板有の場合の掘削幅、単位はmm</p> <table border="1" style="margin-left: 60px; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr><th>口径</th><th>φ100以下</th><th>φ 150</th><th>φ 200</th><th>φ 250</th><th>φ 300</th><th>φ 400</th></tr> <tr><td>幅</td><td>700</td><td>750</td><td>800</td><td>850</td><td>900</td><td>1000</td></tr> </table> <p style="margin-left: 60px;">3 仮給水管設置撤去時の掘削幅は400mm、掘削深は300mmとすること。</p> <p style="margin-left: 60px;">4 直轄国道に布設撤去する場合は深さ600mm以上とすること。</p> <p style="margin-left: 20px;">6 既設管撤去の掘削幅</p> <p style="margin-left: 40px;">1 矢板無の場合、単位はmm</p> <table border="1" style="margin-left: 60px; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr><th>口径</th><th>φ 75~150</th><th>φ 200</th><th>φ 250</th><th>φ 300</th><th>φ 350</th><th>φ 400</th><th>φ 450</th></tr> <tr><td>幅</td><td>550</td><td>600</td><td>650</td><td>700</td><td>900</td><td>950</td><td>1000</td></tr> </table>	口径	φ 75	φ 100	φ 150	φ 200	φ 250	φ 300	φ 350	φ 400	φ 450	GX形	600	600	600	600	650	700	900	950	1000	NS形	600	650	700	750	800	850	900	950	1000	K形	600	650	700	750	800	850	900	950	1000	口径	φ 75	φ 100	φ 150	φ 200	φ 250	φ 300	φ 350	φ 400	φ 450	GX形	850	850	850	850	850	850	950	1000	1050	NS形	850	850	850	850	850	900	950	1000	1050	K形	850	850	850	850	850	900	950	1000	1050	口径	φ100以下	φ 150	φ 200	φ 250	φ 300	φ 400	幅	400	450	500	550	600	700	深さ	400	450	500	550	600	800	口径	φ100以下	φ 150	φ 200	φ 250	φ 300	φ 400	幅	700	750	800	850	900	1000	口径	φ 75~150	φ 200	φ 250	φ 300	φ 350	φ 400	φ 450	幅	550	600	650	700	900	950	1000
口径	φ 75	φ 100	φ 150	φ 200	φ 250	φ 300	φ 350	φ 400	φ 450																																																																																																																											
GX形	600	600	600	600	650	700	900	950	1000																																																																																																																											
NS形	600	650	700	750	800	850	900	950	1000																																																																																																																											
K形	600	650	700	750	800	850	900	950	1000																																																																																																																											
口径	φ 75	φ 100	φ 150	φ 200	φ 250	φ 300	φ 350	φ 400	φ 450																																																																																																																											
GX形	850	850	850	850	850	850	950	1000	1050																																																																																																																											
NS形	850	850	850	850	850	900	950	1000	1050																																																																																																																											
K形	850	850	850	850	850	900	950	1000	1050																																																																																																																											
口径	φ100以下	φ 150	φ 200	φ 250	φ 300	φ 400																																																																																																																														
幅	400	450	500	550	600	700																																																																																																																														
深さ	400	450	500	550	600	800																																																																																																																														
口径	φ100以下	φ 150	φ 200	φ 250	φ 300	φ 400																																																																																																																														
幅	700	750	800	850	900	1000																																																																																																																														
口径	φ 75~150	φ 200	φ 250	φ 300	φ 350	φ 400	φ 450																																																																																																																													
幅	550	600	650	700	900	950	1000																																																																																																																													

特記仕様書
(令和4年度 大久保町八木地区内配水管布設工事)

項目以下数字の左側に※がある項目を本工事の該当項目とする。

章																	
	<p style="text-align: center;">2 矢板有の場合、単位はmm</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;">口径</th> <th style="width: 10%;">φ75~150</th> <th style="width: 10%;">φ200</th> <th style="width: 10%;">φ250</th> <th style="width: 10%;">φ300</th> <th style="width: 10%;">φ350</th> <th style="width: 10%;">φ400</th> <th style="width: 10%;">φ450</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>幅</td> <td>850</td> <td>850</td> <td>850</td> <td>850</td> <td>950</td> <td>1000</td> <td>1050</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 7 給水管の掘削幅、掘削深、延長</p> <p style="margin-left: 20px;">※ 1 分水穿孔部について、新設管布設後の場合は本管掘削幅、延長は600mm、深さは新設管布設時の土被りとする。既設管から分岐する場合は、本管口径のK形を布設する場合の掘削幅、延長は600mm、深さは既設管土被り+既設管呼び径+100mmとする。</p> <p style="margin-left: 20px;">※ 2 給水管部は、幅500mm、延長は給水管延長(本管～止水栓距離)－分水穿孔部掘削幅/2、深さは本管土被り-100mmとする。</p> <p>※ 8 掘削・埋戻し</p> <p style="margin-left: 20px;">※ 1 埋戻し一層厚さ20cm未満とする。</p> <p style="margin-left: 20px;">※ 2 水圧がかかっている水道管周りを掘削するときは、必ず人力掘削すること。</p> <p style="margin-left: 20px;">※ 3 管路布設後、管下を埋め戻す場合には、スクリーニングス等を使用し、きちんと胴締めすること。管路布設前に余掘り分を埋め戻す場合は、再生砕石等良質土を使用し、きちんと転圧すること。</p> <p>※ 9 残土・処分地</p> <p style="margin-left: 20px;">※ 1 処分地は特記仕様書(追記)参照。</p> <p style="margin-left: 20px;">※ 2 特記仕様書(追記)は積算条件を明示しているものであり受入施設を指定するものではなく、受注者は、県登録施設から搬出先施設を選定し、土木工事共通仕様書(兵庫県県土整備部監修)に基づき施工計画書に含め、監督員に提出しなければならない。なお、受注者の選定した施設が積算条件と異なる場合においても設計変更は行わない。</p> <p style="margin-left: 40px;">ただし、特記仕様書(追記)の施設が工事発注後に県登録施設からの登録抹消等により受け入れ困難となった場合は、設計変更を行う。</p> <p>※ 10 各種試験</p> <p style="margin-left: 20px;">※ 1 「土木工事施工管理基準」(兵庫県県土整備部監修)に定める以下の試験等について、基準を次のように定める。</p> <p style="margin-left: 40px;">※ 上層路盤の現場密度の測定・・・埋戻土及び管路掘削箇所について省略する。</p> <p>11 仮設材の運搬</p> <p style="margin-left: 20px;">1 仮設材の運搬については、積算上、運搬距離10kmを見込んでいます。</p> <p style="margin-left: 40px;">なお、受注者が実施する条件と異なる場合においても設計変更を行わない。</p> <p>※ 12 その他事項</p> <p style="margin-left: 20px;">※ 1 工事範囲内にある各種鉄蓋の表面を汚さないよう処置をとること。</p>	口径	φ75~150	φ200	φ250	φ300	φ350	φ400	φ450	幅	850	850	850	850	950	1000	1050
口径	φ75~150	φ200	φ250	φ300	φ350	φ400	φ450										
幅	850	850	850	850	950	1000	1050										

章	
4	<p>舗装工</p> <p>※ 1 舗装前準備</p> <p style="margin-left: 20px;">※ 1 既設構造物(側溝、街渠等)等に損傷を与えていないか、動いていないか等を確認し、異常がある場合は、適正な方法を検討し、監督員と協議すること。</p> <p style="margin-left: 20px;">※ 2 下水道の鉄蓋で古い鉄蓋(コンクリート蓋、コンクリート巻鉄蓋等)がある場合は、舗装復旧前に下水道室が取り替えることがあるので、位置が分かるものと現況写真を提出すること。</p>

特記仕様書
(令和4年度 大久保町八木地区内配水管布設工事)

項目以下数字の左側に※がある項目を本工事の該当項目とする。

章	
	<ul style="list-style-type: none"> ※ 3 他の地下埋設物の鉄蓋で高さ調整が必要なものは、位置が分かるものと現況写真と高さ調整の程度(+〇cm等)が分かるものを提出すること。 ※ 4 舗装復旧内に古い消火栓蓋、空気弁蓋、仕切弁蓋がある場合は、取替するかどうか監督員と協議すること。 5 切削オーバーレイで施工を予定している。 土木工事共通仕様書(兵庫県県土整備部監修)及び土木工事施工管理基準(兵庫県県土整備部監修)に記載のとおり、測量し計画書を作成し、監督員の承諾を得たのち、施工すること。
	<ul style="list-style-type: none"> ※ 2 不陸整正工 <ul style="list-style-type: none"> ※ 1 補充材の有無を確認し、路床面の不陸を整正すること。 ※ 2 既設構造物、各種鉄蓋と接触する部分は、入念に清掃すること。 ※ 3 乳剤散布 <ul style="list-style-type: none"> ※ 1 ムラにならないよう、均一に散布すること。 ※ 2 既設構造物、各種鉄蓋と接触する部分等にも散布すること。 ※ 4 アスファルト舗装工 <ul style="list-style-type: none"> ※ 1 当日舗装版撤去した範囲について、表層まで復旧出来ない場合は監督員と協議すること。その場合は、周辺住民によく周知し、既設構造物、各種鉄蓋の箇所が歩行者、二輪車、自動車等の交通車両に危険が無いよう、すり合わせし、段差有の看板を立てるなど注意喚起すること。 5 区画線工 <ul style="list-style-type: none"> 1 インターロッキング舗装等のブロック舗装範囲に消火栓を設置した際の消火栓周り(黄色)の区画線は設置しないこと。 2 施工直前に施工箇所を清掃し、プライマーを塗布すること。 3 ガラスビーズを配合すること。 ※ 6 各種試験 <ul style="list-style-type: none"> ※ 1 「土木工事施工管理基準」(兵庫県県土整備部監修)に定める必要な試験等について、試験位置、試験方法等を事前に監督員に報告すること。 ※ 2 「土木工事施工管理基準」(兵庫県県土整備部監修)に定める以下の試験等について、基準を次のように定める。 <ul style="list-style-type: none"> ※ 1 アスファルトの現場密度の測定・・・同一配合のアスファルト施工面積500m²未満について省略する。 ※ 2 アスファルトコア採取・・・同一配合のアスファルト施工面積1箇所20m²以上500m²未満の箇所についてコア採取は1箇所とする。また、20m²未満については省略する。 ※ 3 表層の平坦性・・・省略する ※ 4 既設管充填処理に使用するモルタル等の強度試験・・・省略する。

特記仕様書(追記)

1 建設発生土の搬出先

品目	建設発生土
施設の名称	田口建材(株)
所在地	明石市大久保町字戌亥谷2751他4筆
運搬距離	6.1km
受入等諸条件	県土整備部の「建設副産物の処理ならびに受入価格」に掲載される当該施設の受入条件を遵守すること。
その他	監督員の指示による

2 特定建設資材の分別解体等・再資源化等

1)分別解体等の方法

工程	作業内容	分別解体等の方法
工程ごとの作業内容及び解体方法	①仮設 仮設工事 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用
	②土工 土工事 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用
	③基礎 基礎工事 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用
	④本体構造 本体構造の工事 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用
	⑤本体付属品 本体付属品の工事 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用
	⑥その他 その他の工事 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用

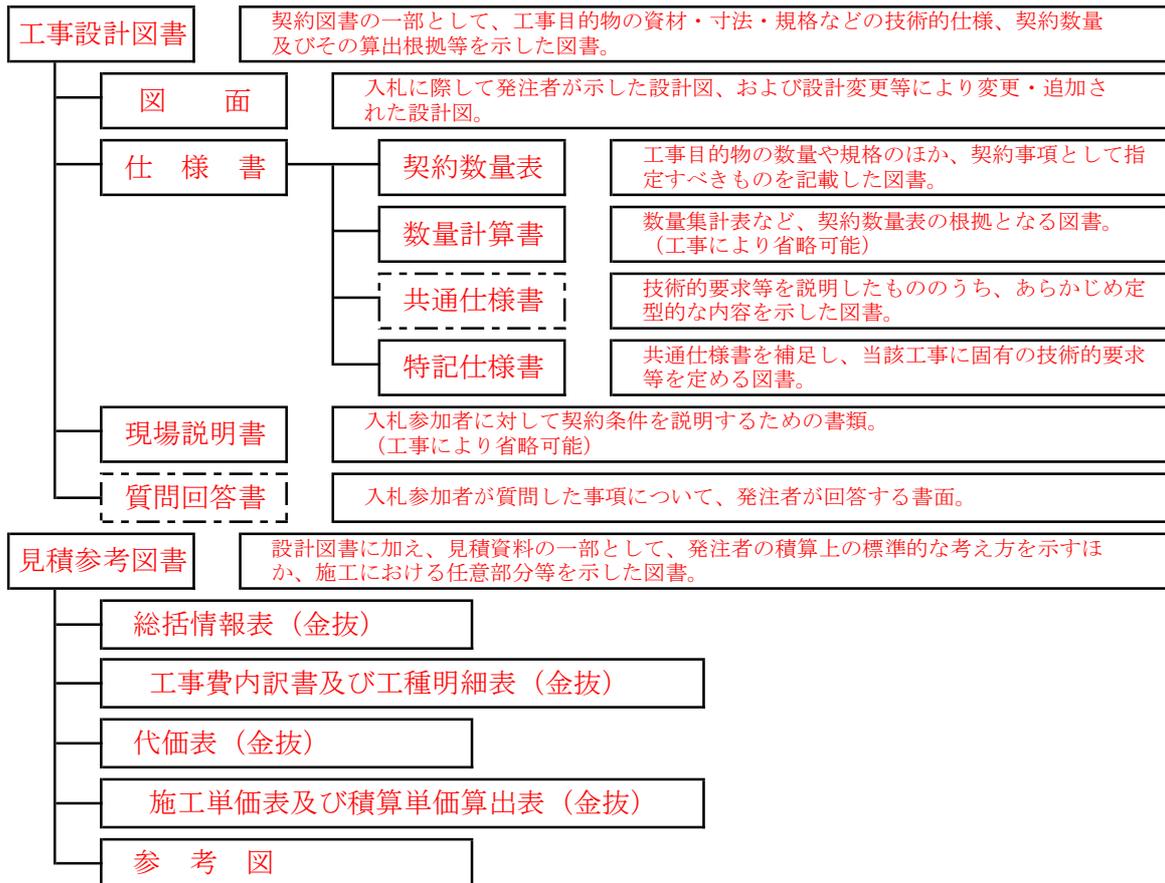
2)再資源化等をする施設の名称及び所在地

品目	アスファルト塊
施設の名称	(株)明神リサイクルセンター
所在地	神戸市西区平野町中津字大徳谷1337-3
運搬距離	5.8km
受入等諸条件	県土整備部の「建設副産物の処理ならびに受入価格」に掲載される当該施設の受入条件を遵守すること。
その他	監督員の指示による

3 仕様書

設計図書の他に交付する「見積参考図書」とは入札（見積）参加者の適正かつ迅速な見積りに資するための資料であり、明石市工事請負契約約款 第1条でいう設計図書ではない。従って、「見積参考図書」は請負契約上の拘束力を生じるものではなく、受注者は施工条件及び地質条件等を十分考慮して、仮設、施工方法及び安全対策等、工事目的物を完成するための一切の手段について、受注者の責任において定めるものとする。なお、「見積参考図書」の有効期限は、本工事の入札（見積日）までとする。

本工事の内容については、契約数量表・数量計算書・設計図面のうち、契約数量表を優先する。



水道工事標準仕様書

1 総則

1.1 (適用)

- 1 水道工事標準仕様書(以下「標準仕様書」という。)は、明石市水道局が発注する水道管(導水・送水・配水)を布設する工事及び給水管工事(以下「工事」という。)に係る工事請負契約書(頭書を含み以下「契約書」という。)及び設計図書の内容について統一的な解釈及び運用を図るとともに、その他必要な事項を定め、もって契約の適正な履行の確保を図るためのものである。
- 2 契約書及び仕様書・契約数量表・設計図(以下「設計図書」(標準仕様書を除く)という。)に記載された事項は、この標準仕様書に優先する。
- 3 本工事は、契約書及び設計図書のほか、水道工事標準仕様書(日本水道協会)・給水装置工事施行基準(明石市水道局)及びその他関係図書による。ただし、土木工事共通仕様書(兵庫県県土整備部監修)の水道編の第2章第2節については、適用しない。

1.2 (法令等の厳守)

本工事の施工にあたっては、工事に関する関係法令等を厳守し、安全に行わなければならない。

1.3 (書類の提出)

- 1 受注者は、明石市及び明石市水道局の定める様式による書類を提出すること。
- 2 提出した書類に変更が生じたときは、速やかに変更の書類を提出すること。

1.4 (監督員)

- 1 監督員とは、水道法第12条により、水道局が指定した当該工事を監督する職員(主任監督員及び監督員)をいう。

1.5 (工事实績データの登録)

水道工事を2件以上合併で発注している工事については、工事請負代金合計額が500万円以上の場合に一括の内容で登録すること。

1.6 (目的物の引渡し)

工事目的物の引渡しは、工事完成届兼(引渡書)を水道局に提出し完成検査に合格したときをもって完了とする。

2 安全管理

2.1 (事故防止)

- 1 工事中、不明管が出てきた場合には、監督員に連絡し、監督員の指示に従って、他の地下埋設物管理者に確認したうえ、適切に処理すること。
- 2 掘削及び埋戻し工事中、他の構造物及び地下埋設物の損傷及び陥没等を発見した際には、その場で監督員に連絡し、指示を受けること。その際には写真撮影し、関係部署に報告できるようにしておくこと。

また、当該施工範囲内で道路構造物や他の地下埋設物の損傷及び陥没等を発見した際には、遅滞なく監督員に連絡すること。

- 3 受注者は熱中症対策等について十分に注意し、作業員に水分補給・塩分補給・休憩等を十分とらせること。

2.2 (事故発生時の措置)

事故等緊急非常事態が発生した時は、第三者及び作業員等の人命救助、人命の安全確保を最優先させるものとし、応急措置を講じるとともに、監督員及び関係各部署へ連絡しなければならない。また、軽微な事故等についても速やかに監督員に事故報告書等で報告するとともに、その指示を受けるものとする。

2.3 (現場の整理整頓)

- 1 受注者は工事施工中、交通及び保安上の障害とならないよう機械器具、不用土砂等を使用の都度、整理整頓し、現場内及びその付近は常に清潔に保つこと。その際に、機械器具等を無断で家の敷地に置いたり、壁等に立て掛けたりしないこと。
- 2 受注者は、日々の現場作業終了時には、固定している看板類及び必要な安全施設等以外の工事関係物は仮設事務所等に持ち帰り、適切に保管すること。

3 工事施工

3.1 (一般事項)

- 1 受注者は、工事に先立ち、施工条件等を十分に把握したうえで、設計図書及び事前調査結果に基づいて検討し、施工方法、工程、安全対策、環境対策等必要な事項を記載した施工計画書を提出し、これに基づき、工事の適正な施工管理を行うこと。なお、施工計画書作成に当たっては、監督員と十分打合せを行うこと。

また、施工時において事前検討の条件と実際の施工条件との相違又は新たに生じた状況等により施工計画書に記載した内容に変更が生じるときは、監督員と協議し、速やかに施工計画書を追加及び変更すること。

- 2 施工期限が定められた箇所がある場合は、監督員と十分協議し、工程の進行を図ること。
- 3 受注者は、監督員が常に施工状況の確認が取れるように日報等の必要な資料を速やかに提出すること。

3.2 (現場立会、架線・地下埋設物調査及び現地調査)

- 1 近接構造物(家屋含む)の事前調査を行い、損傷等の有無を撮影し、関係者に提出すること。
- 2 施工範囲内の道路上の境界ピン・境界杭の有無を調査し報告すること。ある場合は監督員と協議し、その対応を検討すること。
- 3 当該工事付近に公共基準点がある場合は、明石市公共基準点管理保全要領に定めるところにより、必要な申請書等を作成するほか、公共基準点を保持するための測量をすること。
- 4 給水管切替工事がある場合、施工前に今回給水管を切替する家屋に漏水が無いかの確認及び給水管口径の確認をし、報告すること。
- 5 その他設計図書に対する疑義がある場合は、工事打合せ簿にて協議をすること。

3.3 (地元説明)

- 1 受注者は、工事着手前に所定の工事標示を行い、付近住民に工事内容を説明して協力を求め、工事の円滑な遂行をはかること。
- 2 工事のため騒音を発し、付近住民の日常生活・業務等を妨害しないように配慮すること。

- 3 施工について営業等に支障があると思われる時は、監督員並びに付近住民と協議の上で、できるだけこの軽減に努めること。
- 4 工事範囲内に自治会がある場合、当該自治会長に第 1 項と同様の工事説明を行うとともに、必要に応じて、工事広報の配布を行い工事同意書の提出を求めること。
- 5 受注者は施工前及び施工中(断水・濁水などの可能性がある場合)には、関係家屋にビラ等を配布し、周知すること。
- 6 給水管の切替等で個人の敷地内に入り、量水器または散水栓等から空気を抜く作業等を行う場合は、その旨を事前に説明し、トラブルが起らないようにすること。

3.4 (試掘調査)

試掘調査前に事前立会等で確認した試掘位置、試掘目的を工事打合簿にて報告すること。また、試掘調査後は、以下の項目について速やかに結果をまとめ、工事打合簿にて報告または協議すること。

- ・ 試掘断面の地下埋設物の状況
- ・ 既設舗装構成
- ・ 設計図書通りの撤去・埋設が可能か
- ・ 既設管の外面腐食等の異常の有無
- ・ 接続部がインチ管の場合、既設管外周長さを測定し、インチ管であることの確認
- ・ その他試掘調査結果で判明した協議事項

3.5 (夜間工事)

夜間工事をする場合は、十分な照明を行うとともに保安設備を施すこと。また、付近住民に工事のお知らせビラを配布し、説明するとともに協力を依頼すること。施工中は極力騒音・照明等により迷惑をかけないように十分配慮すること。騒音対策には、管切断時のロールカッターの使用や防音シートの使用も検討すること。

3.6 (立会)

下記の項目について事前に立会願を提出し、立会を行うものとする。

- ・ 材料納入時（在庫品使用時含む）の材料検収
- ・ 通常配管及び不断水工事箇所の水圧試験
- ・ その他監督員が必要と判断した事項

3.7 (工事関係書類の整備)

受注者は監督員の点検を随時受けられるよう、工事及び安全に関する書類を整備しておくこと。

4 材料

4.1 (水道材料の規格)

本工事に使用する水道材料は、設計図書に品質規格を規定されたものを除き、明石市水道局が材料分類ごとに指定したメーカー（別添使用材料登録業者一覧表及び給水装置工事施行基準参照）の製品（以下「指定品」という。）を使用すること。指定品以外の製品及び特殊品を使用する場合には、監督員の承諾を得た後、使用すること。

設計書及び特記仕様書に別途記載がある場合を除き、明石市水道局の規格を以下に示す。

- (1) K形ゴム輪は、同軸押輪・芯出ゴム輪又は同芯ゴム輪と同等品以上とすること。
- (2) 特殊押輪、耐震補強金具等は耐震型(離脱防止性能 3DkN 以上)を使用すること。

- (3) K形管のT頭ボルト・ナットは、酸化被膜製と同等品以上とすること。
- (4) フランジボルト・ナットは SUS 製を使用すること。特に消火栓及び空気弁の立ち上がり部におけるフランジ継手に使用するフランジナットは SUS304 製(緩み防止仕様)を使用すること。
- (5) フランジ部の粉体塗装面に接触する箇所には、ワッシャー(SUS 製)を使用すること。
- (6) 弁栓類等で使用するフランジの規格は2種(0.75MPa)とする。特に消火栓及び空気弁の立ち上がり部に使用するフランジ継手材はフランジ接合補強具(LSP 形)を使用すること。
- (7) 仕切弁・消火栓・補修弁の開閉方向は左開きとする。
- (8) 鉄蓋・受枠・ボックスは、明石市水道局性能規定書による製品とする。特に円形消火栓(空気弁)鉄蓋は耐スリップ車道用又は歩道用とする。
- (9) 割T字管の分岐口径φ150以下について、密着コアを使用すること。
- (10) サドル分水栓穿孔箇所については、密着コアを使用すること。
- (11) 直管に内面粉体塗装を使用している路線については、「粉体塗装管」と記載しているポリエチレンスリーブを使用すること。
- (12) 表示帯(管明示シート)は、15cm幅2倍折の水道を明記したエコマーク認定品を使用すること。
- (13) 管明示テープは、5cm幅の水道用(青色)、年号(工事発注年度)を明記したエコマーク認定品を使用すること。(導水管は黄色無地を併用)

4.2 (土木材料の規格)

本工事に使用する土木材料は、以下に示す規格及び設計図書に品質規格を規定されたものを除き、土木工事共通仕様書(兵庫県県土整備部監修)に示す品質規格に適合したもの、またはこれと同等以上の品質を有するものとする。

- (1) スクリーニングスは、JIS A5001 F-2.5とする。ただし、監督員と協議のうえ、砂を使用する場合は、海砂(洗砂)とする。
- (2) 再生砕石は、路盤部分はRC-30とし、その他はRC-40とする。
- (3) 粒調砕石は、M-30とする。
- (4) 再生密粒度アスファルトは、最大粒径13mm、締固め密度2.35t/m³とする。
- (5) 再生粗粒度アスファルトは、最大粒径20mm、締固め密度2.35t/m³とする。
- (6) 再生アスファルト安定処理混合物は、最大粒径25mm、締固め密度2.35t/m³とする。

4.3 (水道材料の確認)

- 1 受注者は、材料確認した材料が使用時に損傷、変質等している場合は、新品と取替、再確認を受けること。不良品は現場から直ちに搬出すること。
- 2 現地確認・試験掘削の結果等を十分反映させ、購入するものとする。
- 3 仮給水管切替は、現地確認により既設給水管の口径等を十分把握し、反映させるものとする。
- 4 支給材料については、監督員と受注者が確認した後、受領し、支給品受領書(様式15)を提出すること。

5 管布設工事

5.1 (配管技能者)

- 1 受注者は、鑄鉄管布設工事に先立ち、当該工事に適する下記の配管技能者の登録証、受講証等を施工体制台帳に添付すること。配管技能者とは、日本水道協会の配水管技能登録者(一般登録・耐震登録・大口径)又は、各管協会や各メーカーの継手接合研修会受講証等を有する者とする。日本水道協会の配管技能登録者の場合、一般登録はT・K形管等の一般継手(φ450mm以下)、耐震登録はNS・GX形管等の耐震継手(φ450mm以下)、大口径は一般継手と耐震継手(全口径)を配管出来る技能を有するものとする。各管協会や各メーカーの継手接合研修会受講証等を有する者の場合、管種・口径を指定している受講証については、その管種・口径とし、NS形・耐震管の受講証については、その口径のNS・GX形管等の耐震継手及び一般継手を配管出来る技能を有するものとする。
- 2 受注者は、鑄鉄管を布設するときには、上記の配管技能者が、当該工事で使用する管種・口径の施工要領等に従って施工すること。
- 3 受注者は、給水管の施工がある場合には、明石市水道事業指定給水装置工事事業者証及びその業者が雇用する給水装置工事主任技術者の資格証の写しを施工体制台帳に添付すること。また、その給水装置工事主任技術者が給水装置工事施行基準(明石市水道局)に基づき監督・指導すること。
- 4 受注者は、上記以外の管種(配水用ポリエチレン管・鋼管等)の施工、または、管更生等が含まれる場合、それぞれの資格証等を有する技能者が施工すること。また、その資格証等を施工体制台帳に含めて監督員に提出すること。

5.2 (工種の制限)

工事の確実性、周辺への水の濁り等を考慮して、金曜日、土曜日及び祝日の前日には、工種を制限しているので監督員と協議し施工すること。

5.3 (断水を伴う連絡工事)

- 1 断水を伴う連絡工事箇所は、監督員立会の上、試掘調査を行い、連絡する既設管及び他の近接埋設物を確認すること。
- 2 断水を伴う連絡工事にあたっては、事前に施工日時等を監督員と調整の上行うこと。ただし、断水時間は13時30分から16時を基本とすること。断水時間を極力短縮するために必要な諸設備・機械器具及び車輛等を十分点検し、経験豊富な技術者と作業員を配置すること。
- 3 断水作業及び管内洗浄作業等に必要な弁栓類操作は、監督員または水道局職員の指導のもと、受注業者及び下請業者が行う、そのために必要な人員を監督員と協議し、確保すること。
- 4 万が一、連絡工事箇所周辺で濁水及び漏水が起こったときには、水道局職員の指示により周辺家屋への対応をすること。

5.4 (広報活動)

- 1 断水工事を行う場合には、事前に断水となる家屋等を調査した資料と、断水のビラを監督員が確認したあと、当該家屋に配布すること。そのビラには、日時・区域・連絡先及びその他必要事項を記入すること。
- 2 断水を伴わない場合でも、仕切弁の開閉操作等により、工事箇所周辺に濁水のおそれがある場合は、配布する家屋等を監督員と協議したうえで、断水のビラと同様の濁水のビラを監督員

が確認したあと、当該家屋に配布すること。

3 上記の広報活動をする場合に、当該区域内にある店舗・病院・工場・浴場等には事前に個別に了解を得ること。

4 受水槽物件があれば、事前にその設置管理者と打合せを行い、ポンプ電源や流入側バルブ等の閉止措置を行うこと。

5.5 (ボルトの締め付け)

1 ボルトの締め付けに際しては、対称的な位置を順次締め、片締めにならないように、ゴム輪の圧縮を均等にさせること。

2 インパクトレンチを使用する場合には、締め付けの7割程度とし、残りはトルクレンチで締め付けること。

3 トルクの管理については、チェックシートに全箇所記載し、竣工図書で提出すること。

5.6 (使用機材)

内面粉体塗装管の分水栓穿孔作業をするときは、先端角度が90°から100°、ねじれ角度が20°から30°の電動式穿孔機を使用すること。

5.7 (管の明示)

1 管の識別を明確にするために、管明示テープを使用して、上水道管であることを明らかにすること。

2 表示帯(管明示シート)は、管天より40cmの位置に丁寧に設置すること。

5.8 (仮消火栓)

仮消火栓を配置する箇所について、「仮消火栓」の看板等を設置して明示するとともに、撤去予定の消火栓の鉄蓋に使用禁止を明示すること。

5.9 (仮舗装復旧)

本工事において仮舗装復旧した箇所について、路面表示部分を掘削した場合は、本復旧までの間、同色のペイント等で修復すること。また、水道の仮舗装箇所と分かるように水色塗料で水道マーク表示を行うこと。

5.10 (水圧試験)

1 水道管の水圧試験は、水道局職員が管内充水後、特に監督員からの指示がある場合を除き、下記の試験水圧まで加圧し確認するものとする。

(1) 通常配管(以下の特殊箇所以外)の場合、試験水圧を0.75MPaとする。30分間以上の経過後、低下率1.0%以内を許容限度とする。

(2) 不断水工事の割T字管箇所は、試験水圧を1.25MPaとする。ただし、既設管の状態が悪い場合(FC管又は表面の腐食等が激しい場合)・ACP管・VP管の場合は、最高試験水圧は1.0MPa以下でもよい。5分間以上その状態を保持し、水圧の低下の無いことを確認するものとする。

(3) 中大口径のメカニカル継手管で、監督員が認めた場合は、テストバンドによる継手の水密性検査をもって、水圧試験に代えることが出来るものとする。この場合は、水圧0.50MPaを負荷して5分経過後に0.40MPa以上保持することを確認するものとする。

(4) 管更生の場合は、管更生区間のみで水圧試験を(1)の方法で行い、その後、その区間を含めた仕切弁から仕切弁の水圧試験を再度(1)の方法で行うものとする。ただし、管更生区間

のみの水圧試験にかかる材料（栓、押輪等）等は設計で計上するものとする。

(5) 配水管用ポリエチレン管、鋼管等の場合は、監督員の指示により、試験水圧及び方法を決定する。

2 給水管の水圧試験は、サドル分水栓部分のみ 1.75MPa まで加圧し、1 分間以上のその状態を保持し、水圧の低下の無いことを確認するものとする。

5.11 (水道メーターの確認)

仮給水管、給水管切替後は水道メーターの逆付けをしてないか確認すること。

6 提出書類

受注者は、工事請負契約に必要な書類を明石市水道局の入札・契約情報のホームページ及び土木請負工事必携(兵庫県県土整備部監修)に記載されている書類を関係部署に提出するほか、下記の書類を監督員に提出すること。ただし、監督員が必要でないとした場合は、この限りでない。

1 工事日報

受注者は、契約日から竣工日までの日々の作業において、必要な工種に対して工事日報を作成し、監督員にすみやかに提出しなければならない。工事日報に記入する項目は、表側に年月日、曜日、天気、工事名、工事場所、当初設計延長（口径別）、出来形延長（口径別、日毎延長、累計延長）、作業内容、使用材料（品名、形質、数量等）を、裏側に日毎の作業内容の図示（下記竣工図(水道管)・(給水管)と同様）とする。また、白色ケント紙 110kg（A 4 サイズ）で作成すること。

2 竣工図(水道管)

受注者は、竣工図（兼出来形図）を作成し、工事完成図書に添えて提出すること。竣工図（兼出来形図）には次にあげるものをもって構成する。

(1) 配水管平面図（他の埋設管等で切り回している箇所等は別途詳細図）は、布設位置、標準断面図、土被り、延長（管種・口径毎）、防護工等を以下のことに注意して記入すること。

a. 必ず方位を記入すること。

b. 直管、切管、異形管、弁栓類等の種別及び材質を表示すること。切管等の数値はmm表示とし、整数1位を四捨五入とし、2位表示とすること。

c. 特殊押輪、普通押輪、G-Link、ライナの区別を表示すること。

d. 配管材料記号、引出線及び部材名等を赤色で表示すること。

(2) 消火栓、空気弁、仕切弁、その他監督員の指示する箇所等についてはオフセット測量し、撤去されるおそれの無いマンホールの中心点や地先境界の角、その他3点以上の照点を定め水平距離を測定し記入する。

(3) 仕切弁・バタフライ弁・消火栓・空気弁・補修弁・不断水等の弁栓類関係について、使用したメーカー名を記入すること。

(4) 掘削断面に他企業埋設管（下水管、ガス管等）が出てきた箇所については、竣工図の断面箇所図に他企業埋設管の位置、口径がわかるように図示すること。

3 竣工図(給水管)

受注者は、竣工図を作成し、白色ケント紙 110kg（A 3 サイズ）を工事完成図書に添えて提出すること。竣工図には次にあげるものをもって構成する。

平面図には、口径、延長、家屋番号を、表には家屋番号、水道番号、家屋名、サドル分水栓、

本管深さ、PPユニオン、PPエルボ、VPユニオン、止水栓、ボックス、PPパイプ、本管止水距離、備考（接続した管種）を記入すること。

4 その他提出書類

書類名	提出時期	提出部数	備考
施工計画書	工事実工程着手前	2部	配水管・給水管合併工事は併せて作成(1部返却)
使用材料確認願 土木工事承諾願	工事実工程着手前	2部	配水管・給水管合併工事は併せて作成(1部返却)
施工体制台帳	下請負契約後速やかに	2部	配水管・給水管合併工事は併せて作成(1部返却)
工事日報	施工日以後速やかに	1部	配水管・給水管合併工事は併せて作成
竣工図(原図)	竣工時	1部	JPEG(A1・カラー・解像度200dpi以上)で保存したCDを提出
竣工図(焼き図)(原則A1サイズ)	竣工時	4部	上記竣工図折図で提出 白紙(カラー)・折図(横15cm×縦23cm)

その他明石市水道事業工事検査規程及び明石市水道事業施設等工事検査要綱に基づき必要書類を提出すること。CD及びDVDで提出するものは、工事名・内容が分かるようにすること。

* 竣工図書は、B4A4サイズの文書保存箱で工事名・施工年度等を明示して納品すること。
(施行期日)

この仕様書は、2022年7月1日より施行する。

使用材料登録業者一覧表

材料分類	適用規格等	登録業者名
水道用ダクタイル鋳鉄管直管 (内面エポキシ樹脂粉体塗装)	GX形5種管(溝切するときは1種管) NS形1種管	㈱クボタ、㈱栗本鐵工所、日本鋳鉄管㈱
水道用ダクタイル鋳鉄異形管 (内面エポキシ樹脂粉体塗装)		㈱クボタ、㈱栗本鐵工所、日本鋳鉄管㈱、㈱ハズ、 ㈱岡本、朝日鋳工㈱、梅原工業㈱、九州鋳鉄管㈱、 大成機工㈱、クロダイト工業㈱、㈱イトー 鋳造
水道用ソフトシール仕切弁 (内外面エポキシ樹脂粉体塗装)	JIS B 2062又はJWWA B 120 (内外面はJIS A 5528又はJWWA A 112) 左回り開き、内ねじ式	㈱クボタ、㈱栗本鐵工所、㈱ハズ、前澤工業㈱、 ㈱清水合金製作所、清水工業㈱、㈱清水鐵工所 富士鐵工㈱、千代田工業㈱、角田鐵工㈱、宮部鐵工㈱
水道用ハタフライ弁 (内面エポキシ樹脂粉体塗装)	JWWA B 138 (内面はJIS A 5528又はJWWA A 112) 左回り開き、キャップ式	㈱クボタ、㈱栗本鐵工所、前澤工業㈱、 ㈱清水鐵工所、㈱清水合金製作所、清水工業㈱、
水道用地下式消火栓 (内外面エポキシ樹脂粉体塗装)	JWWA B 103 (内外面はJIS A 5528又はJWWA A 112) 左回り開き、キャップ式、クレップ式	㈱クボタ、㈱栗本鐵工所、㈱ハズ、前澤工業㈱、 ㈱清水合金製作所、清水工業㈱、㈱清水鐵工所、 富士鐵工㈱、千代田工業㈱、 宮部鐵工㈱、協和工業㈱、角田鐵工㈱
水道用急速空気弁 (内外面エポキシ樹脂粉体塗装)	JWWA B 137 (内外面はJIS A 5528又はJWWA A 112)	㈱クボタ、㈱栗本鐵工所、㈱ハズ、前澤工業㈱、 ㈱清水合金製作所、清水工業㈱、㈱清水鐵工所、 千代田工業㈱、宮部鐵工㈱、 協和工業㈱、角田鐵工㈱
水道用補修弁 (内外面エポキシ樹脂粉体塗装)	JWWA B 126 (内外面はJIS A 5528又はJWWA A 112) 左回り開き、キャップ式、ボール式	㈱クボタ、㈱栗本鐵工所、㈱ハズ、前澤工業㈱、 ㈱清水合金製作所、清水工業㈱、㈱清水鐵工所、 富士鐵工㈱、千代田工業㈱、 宮部鐵工㈱、角田鐵工㈱、協和工業㈱
伸縮可とう管 (内面エポキシ樹脂粉体塗装)	メーカー仕様(JWWA合格証印)	大成機工㈱、コスモ工機㈱、㈱水研、クロダイト工業㈱、 日本ヴィクトリック㈱
不断水割T字管及び不断水バルブ (接水部エポキシ樹脂粉体塗装)	メーカー仕様(JWWA合格証印)	大成機工㈱、コスモ工機㈱、㈱水研
特殊継輪 (内面エポキシ樹脂粉体塗装)	メーカー仕様(JWWA合格証印)	大成機工㈱、コスモ工機㈱、㈱水研、 川崎機工㈱、クロダイト工業㈱
特殊押輪	メーカー仕様(JWWA合格証印)	大成機工㈱、コスモ工機㈱、㈱水研、 川崎機工㈱、クロダイト工業㈱
K形ゴム輪	メーカー仕様(JWWA合格証印)	大成機工㈱、コスモ工機㈱、川崎機工㈱
ゴム輪(K形以外)、パッキン(LSP形以外)		大成機工㈱、コスモ工機㈱、川崎機工㈱、㈱クボタ ㈱栗本鐵工所、興和ゴム工業㈱、三報ゴム㈱、 日本鋳鉄管㈱、サンエス護謨工業㈱、協和工業(株)
フランジ継手材(LSP形)	メーカー仕様(JWWA合格証印)	協和工業㈱、サンエス護謨工業㈱
ボルト・ナット(緩み防止仕様以外) (GX形、NS形、フランジ形はステンレス製 、K形は酸化被膜製)		㈱クボタ、㈱栗本鐵工所、㈱岡本、クロダイト工業㈱、 ㈱水研、㈱田中、㈱エスティム、日本鋳鉄管㈱、協和工業㈱ 日本鋳螺(株)
ボルト・ナット(SUS304製 緩み防止仕様)		協和工業㈱、サンエス護謨工業㈱
水道用ダクタイル鋳鉄管用 ホリエチレンスリーブ 明示テープ(エコ認定製品)	JWWA K 158 JDPA Z 2005	㈱クボタ、㈱栗本鐵工所、三報ゴム㈱、 サンエス護謨工業㈱、ヨツギ㈱
鉄蓋・受枠	明石市性能規定書	日之出水道機器㈱、長島鋳物㈱、スズテック㈱、 ㈱ダイモン
ボックス(レジンコンクリート製)	明石市性能規定書	日之出水道機器㈱、三国プラスチック㈱、長島鋳物㈱ スズキ鋳鉄工業㈱、㈱ダイモン
仮配管	SUS管 PE管	明和工業㈱、㈱多久製作所 ㈱光明製作所

φ75配水管(材料)

直管・切管使用状況(切管の詳細は切管調書)			本数	延長	備考	
直管 (L= 4.0 m)			42	168.000		
切管使用本数			3	11.500		
甲切管	DGX-P-S		2	4.500		
乙切管①	DGX-G-S		3	7.000		
名称・形質等			管長	当初		備考
				数量	延長	
DGX-S	直管関係	φ75		45	179.500	
DGX	曲管	φ75×45°	0.397	4	1.588	
DGX	曲管	φ75×11° 1/4	0.340	6	2.040	
DGX	両受曲管	φ75×45°	0.137	2	0.274	
DGX	フランジ付T字管	φ75×φ75	0.440	1	0.440	
DGX	短管1号	φ75	0.080	1	0.080	
	ソフトシール仕切弁付割T字管	φ75×φ75		1		
	フランジ接合補強具(LSP形)	φ75		4		割T箇所
	フランジ補強金具(3DkN)	φ75		1		
GX形	ソフトシール仕切弁(受挿型)	φ75	0.490	2	0.980	
	仕切弁ボックス	H=740		3		
	ケレップ式消火栓(単口)	φ75×φ65		1		
	フランジ短管	φ75×150		1		
	補修弁(キャップ式)	φ75×100		1		
	消火栓室	H=640		1		
GX形	P-Linkセット	φ75	0.180	2	0.360	
GX形	G-Linkセット	φ75		3		
GX形	接続部品	φ75		15		
GX形	ライナ	φ75		12		
DGX	帽	φ75		1		
	表示帯			185.3		
	ポリエチレンスリーブ	φ75		185.3		
	管明示テープ(区間距離×1.33/20=)			13		
管材料延長計				185.262		

DGX-S φ 75切管調書

直管 4.0 m

切管番号	延長	甲切管		乙切管②			乙切管①	管延長	残管延長	切断数	G-Link	P-Link	特殊押輪	
				1	2	3							K形	A形
1	4.00						DGX-G 3.50	3.50	0.50	1	1			
2	4.00	DGX-P	2.50				DGX-G 1.50	4.00		1	1	1		
3	4.00	DGX-P	2.00				DGX-G 2.00	4.00		1	1	1		
既設管接続箇所														
計								11.50	0.50	3	3	2		

φ75配水管(手間)

名称・形質等	数量	摘要
鋳鉄管吊込み据付工 φ75	184.3 m	区間距離-仕切弁延長計
鋳鉄管切断工 φ75	3 口	
不断水連絡工 φ75×φ75	1 箇所	
密着コア取付工 φ75	1 箇所	
仕切弁設置工 φ75	2 箇所	
仕切弁ボックス設置工 H=740	3 箇所	
消火栓設置工	1 箇所	フランジ継手工φ75 1口含む
フランジ継手工 φ75	3 口	消火栓箇所
消火栓ボックス設置工 H=640	1 箇所	
GX継手工(直管接合) φ75	44 口	
GX継手工(異形管接合 P-Link使用) φ75	2 口	
GX継手工(異形管接合 G-Link使用) φ75	3 口	
GX継手工(異形管接合) φ75	15 口	
管明示シート工	185.3 m	
ポリエチレンスリーブ被覆工 φ75	185.3 m	
管明示テープ工 φ75	185.3 m	

φ75配水管土工集計表

	全体	土工無	土工1	土工2	土工3
延長 箇所等	186.3		178.3	7.0	1箇所
会所掘 箇所	5		4	1	

工種	合計 数量	採用 数量	単位	土工1	土工2	土工3
舗装版切断(As) t≤15cm	18.60	19	m		14.00	4.60
舗装版取壊し積込工 t≤10cm	5.52	6	m2		4.20	1.32
掘削積込工	111.69	110	m3	107.22	4.47	
掘削積込工(補助的作業なし)	0.86	0.9	m3			0.86
掘削(人力)	0.92	0.9	m3			0.92
残塊処分工(As)	0.28	0.3	m3		0.21	0.07
残塊処分工(土砂)	113.47	110	m3	107.22	4.47	1.78
仮復旧工(密粒度(再)(13))	5.52	6	m2		4.20	1.32
路盤工(粒調碎石) t=10cm	5.52	6	m2		4.20	1.32
埋戻工(再生碎石)	67.23	67	m3	64.19	2.31	0.73
埋戻工(スクリーニングス)	44.39	44	m3	41.78	1.69	0.92

φ75配水管(土工1)

道路条件

施工区分	道路区分	歩車道別	仮舗装	先行路盤	先行路盤
昼間施工	市道				

新設管

管種	管外径	管断面積
DGX-S φ75	0.093	0.007

掘削断面

土工延長(L)	掘削幅(W)	(平均)土被り(d1)	既設舗装厚	会所掘数	掘削深(H)	矢板
178.3	0.60	0.80		4	1.00	矢板無

工種	施工厚	計算式				数量
		幅等	厚	延長	箇所等	
掘削積込工 (管断面控除)	1.00	0.60 × +	1.00 × 0.20 ×	178.3 0.50 ×	4	107.22
残塊処分工(土砂)		掘削積込工と同量				107.22
埋戻工(再生碎石)	0.60	0.60 ×	0.60 ×	178.3		64.19
埋戻工(スクリーニングス) (管断面控除)	0.40	0.60 × + - 0.007	0.40 × 0.20 × ×	178.3 0.50 × 178.3	4	41.78

φ75配水管(土工2)

道路条件

施工区分	道路区分	歩車道別	仮舗装	先行路盤	先行路盤
昼間施工	市道	車道As5cm	As5cm	粒調碎石 10cm	

新設管

管種	管外径	管断面積
DGX-S φ75	0.093	0.007

掘削断面

土工延長(L)	掘削幅(W)	(平均)土被り(d1)	既設舗装厚	会所掘数	掘削深(H)	矢板
7.0	0.60	0.90	0.05	1	1.10	矢板無

工種	施工厚	計算式				数量
		幅等	厚	延長	箇所等	
舗装版切断(As) t≤15cm	0.05			7.0 ×	2	14.00
舗装版取壊し積込工 t≤10cm	0.05	0.60		× 7.0		4.20
掘削積込工 (管断面控除)	1.05	0.60 × + 0.60 ×	1.05 × 0.20 ×	7.0 0.50 ×	1	4.47
残塊処分工(As)			4.20 ×	0.05		0.21
残塊処分工(土砂)			掘削積込工と同量			4.47
仮復旧工(密粒度(再)(13))	0.05	0.60		× 7.0		4.20
路盤工(粒調碎石)	0.10	0.60		× 7.0		4.20
埋戻工(再生碎石)	0.55	0.60 ×	0.55 ×	7.0		2.31
埋戻工(スクリーニングス) (管断面控除)	0.40	0.60 × + 0.60 × - 0.007	0.40 × 0.20 × ×	7.0 0.50 × 7.0	1	1.69

φ75割丁字管(土工3)

道路条件

施工区分	道路区分	歩車道別	仮舗装	先行仮路盤	先行路盤
昼間施工	市道	車道As5cm	As5cm	粒調碎石 10cm	

施工管種

分岐元管種	分岐口径	管外径	管断面積
鑄鉄管 φ75	75	0.093	0.007

掘削断面

土工延長(L)	掘削幅(W)	管下掘削深	土被り(d1)	掘削深(H)	既設舗装厚	矢板
1.10	1.20	0.40	0.90	1.40	0.05	矢板無

工種	施工厚	計算式				数量	1箇所計
		幅等	厚	延長	箇所等		
舗装版切断(As) t≤15cm	0.05	1.20 ×	2 +	1.10 ×	2	4.60	4.60
舗装版取壊し積込工 t≤10cm	0.05	1.20	×	1.10		1.32	1.32
掘削積込工(補助的作業なし)	0.65	1.20 ×	0.65 ×	1.10		0.86	0.86
掘削(人力) (管断面控除)	0.70	1.20 × - 0.007	0.70 × ×	1.10 1.10		0.92	0.92
残塊処分工(As)		1.32 ×	0.05			0.07	0.07
残塊処分工(土砂)		0.86 +	0.92			1.78	1.78
仮復旧工(密粒度(再)(13))	0.05	1.20	×	1.10		1.32	1.32
路盤工(粒調碎石)	0.10	1.20	×	1.10		1.32	1.32
埋戻工(再生碎石)	0.55	1.20 ×	0.55 ×	1.10		0.73	0.73
埋戻工(スクリーニングス) (管断面控除)	0.70	1.20 × - 0.007	0.70 × ×	1.1 1.1		0.92	0.92

舗装復旧関係

市道車道As1層(t=5cm)

施工面積	採用面積
62.5	63

工種	施工厚等	計算式	数量	採用数量	単位
舗装版切断(As) $t \leq 15\text{cm}$	0.05	$4.4 + 4.0$	8.40	8	m
舗装版取壊し積込工 $t \leq 10\text{cm}$	0.05	62.5	62.5	63	m ²
残塊処分工(As)		62.5×0.05	3.125	3	m ³
不陸整正工(粒調碎石)	0.03	62.5	62.5	63	m ²
舗装工(密粒度(再)(13)、PK-3)	0.05	62.5	62.5	63	m ²

給水管材料・手間

口径	箇所数	延長
合計	3	6.5
20	2	5.0
25	1	1.5

名称等	材料	手間	備考
	当初	当初	
表示帯(管明示シート工)	6.5	6.5	
管明示テープ(管明示テープ工(PP管))	1	6.5	合計延長÷20(m/巻)

口径	名称等	口径等	材料	手間	備考
			当初	当初	
20	PP管	φ20	5.00	5.0	個別延長の合計
			5.00		設計数量
	給水管切替	φ20	2	2	
	サドル分水栓(鑄鉄用)	φ75×20	2	2	
25	PP管	φ25	1.50	1.5	個別延長の合計
			1.50		設計数量
	給水管切替	φ25	1	1	
	サドル分水栓(鑄鉄用)	φ75×25	1	1	

給水管土工種別表

分岐元口径	合計		舗装なし	
	箇所	延長	箇所	延長
合計	3	6.50	3	6.50
75	3	6.50	土工1	
			3	6.50

給水管土工集計表

工 種	合計 数量	採用 数量	単位	土工1	
				分水穿孔	給水管
掘削積込工	1.96	2	m2		1.96
掘削積込工(補助的作業なし)	0.66	0.7	m3	0.66	
掘削(人力)	0.21	0.2	m3	0.21	
残塊処分工(土砂)	2.83	3	m3	0.87	1.96
埋戻工(再生碎石)	1.54	2	m3		1.54
埋戻工(流用土)	0.66	0.7	m3	0.66	
埋戻工(スクリーニングス)	0.63	0.6	m3	0.21	0.42

給水管土工1

道路条件

施工区分	道路区分	歩車道別	仮舗装	先行路盤	先行路盤
昼間施工	市道	舗装なし	なし		

新設/既設	管種	管外径	管断面積
新設	鑄鉄管 φ75	0.093	0.007

分水穿孔部

箇所数	本管掘削幅(W)	個別延長	管下掘削深 管上まで	(平均)土被り(d1)	掘削深(H)	既設舗装厚
3	0.60	0.60		0.80	0.80	

給水管部

掘削幅	掘削深	給水管延長	土工延長	土工延長根拠
0.50	0.70	6.50	5.60	6.5-0.6/2×3

分水穿孔部

工種	施工厚	計算式			数量	3箇所計
		幅等	厚	延長 箇所等		
掘削積込工(補助的作業なし)	0.60	0.60 ×	0.60 ×	0.60	0.22	0.66
掘削(人力) (管断面控除)	0.20	0.60 ×	0.20 ×	0.60	0.07	0.21
残塊処分工(土砂)		掘削工の合計と同量			0.29	0.87
埋戻工(流用土)	0.60	0.60 ×	0.60 ×	0.60	0.22	0.66
埋戻工(スクリーニングス) (管断面控除)	0.20	0.60 ×	0.20 ×	0.60	0.07	0.21

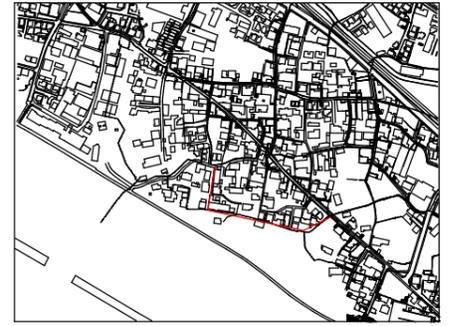
給水管部

工種	施工厚	計算式			数量
		幅等	厚	延長 箇所等	
掘削積込工	0.70	0.50 ×	0.70 ×	5.60	1.96
残塊処分工(土砂)		1.96			1.96
埋戻工(再生碎石)	0.55	0.50 ×	0.55 ×	5.60	1.54
埋戻工(スクリーニングス)	0.15	0.50 ×	0.15 ×	5.60	0.42

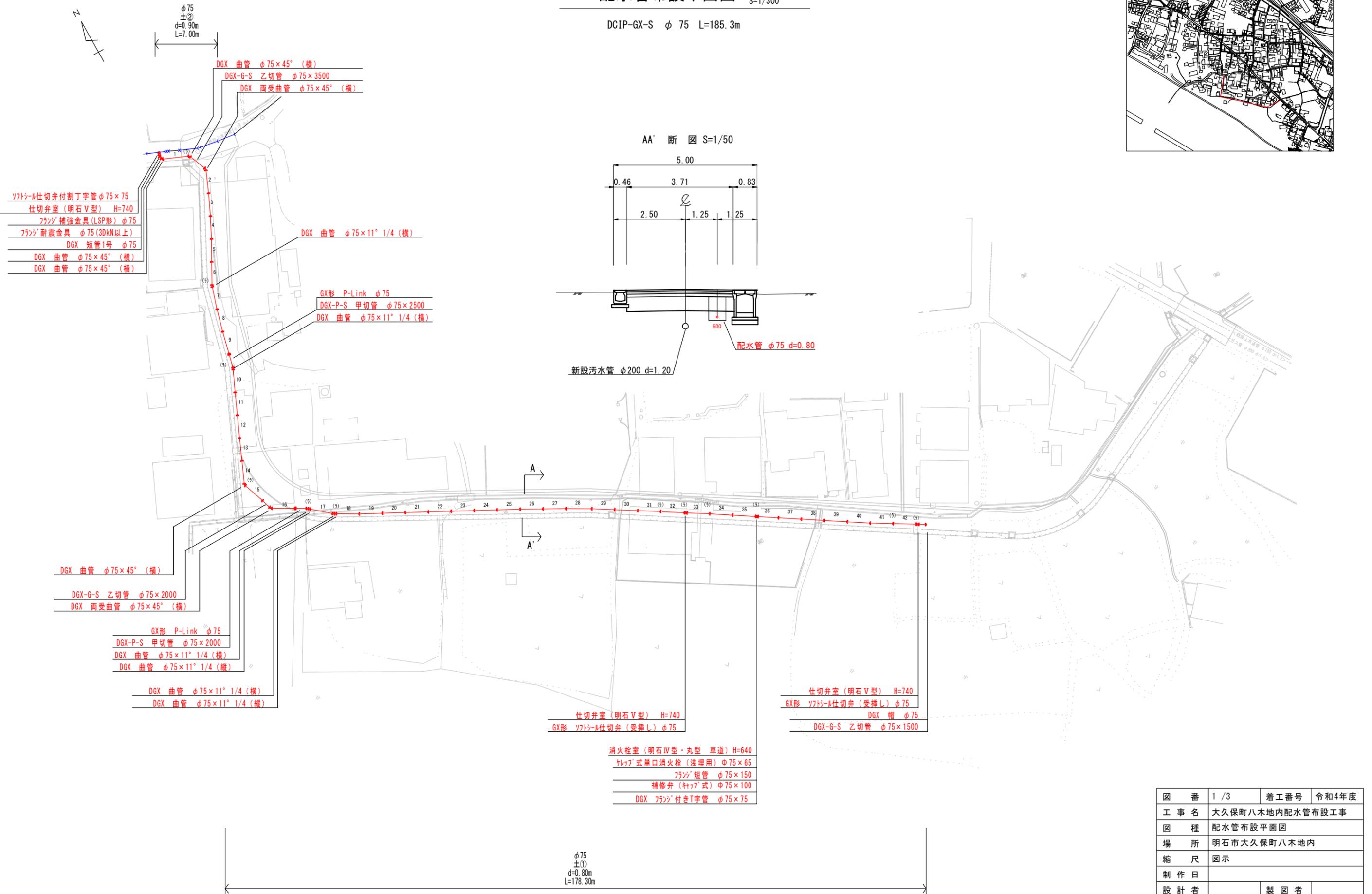
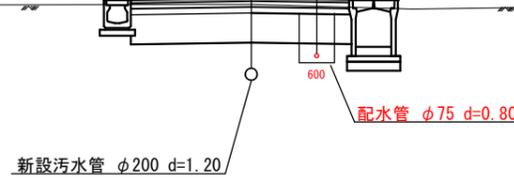
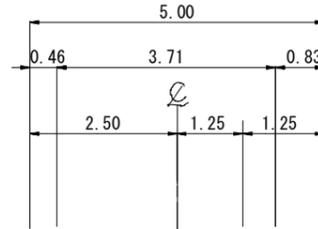
配水管布設平面図 S=1/300

DC1P-GX-S φ75 L=185.3m

位置図 S = 1/ 5000



AA' 断面 S=1/50



- ソトシ-ル仕切弁付割丁字管 φ75×75
- 仕切弁室 (明石V型) H=740
- フランジ補強金具 (LSP形) φ75
- フランジ耐震金具 φ75 (3DkN以上)
- DGX 短管1号 φ75
- DGX 曲管 φ75×45° (横)
- DGX 曲管 φ75×45° (横)

- DGX 曲管 φ75×11° 1/4 (横)
- GX形 P-Link φ75
- DGX-P-S 甲切管 φ75×2500
- DGX 曲管 φ75×11° 1/4 (横)

- DGX 曲管 φ75×45° (横)
- DGX-G-S 乙切管 φ75×2000
- DGX 両受曲管 φ75×45° (横)

- GX形 P-Link φ75
- DGX-P-S 甲切管 φ75×2000
- DGX 曲管 φ75×11° 1/4 (横)
- DGX 曲管 φ75×11° 1/4 (縦)

- DGX 曲管 φ75×11° 1/4 (横)
- DGX 曲管 φ75×11° 1/4 (縦)

- 仕切弁室 (明石V型) H=740
- GX形 ソトシ-ル仕切弁 (受挿し) φ75

- 消火栓室 (明石IV型・丸型 車道) H=640
- レップ式単口消火栓 (浅埋用) φ75×65
- フランジ短管 φ75×150
- 補修弁 (キャップ式) φ75×100
- DGX フランジ付きT字管 φ75×75

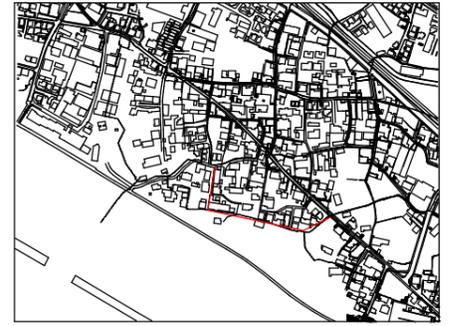
- 仕切弁室 (明石V型) H=740
- GX形 ソトシ-ル仕切弁 (受挿し) φ75
- DGX 帽 φ75
- DGX-G-S 乙切管 φ75×1500

φ75
±①
d=0.80m
L=178.30m

図番	1 / 3	着工番号	令和4年度
工事名	大久保町八木地内配水管布設工事		
図種	配水管布設平面図		
場所	明石市大久保町八木地内		
縮尺	図示		
制作日			
設計者	製図者		

舗装復旧平面図 S=1/300

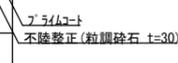
位置図 S = 1/ 5000



 市道車道As1層式

市道車道
As1層式5cm

市道車道 As1層式5cm	
番号	面積 (m2)
1-1	62.5
合計	62.5

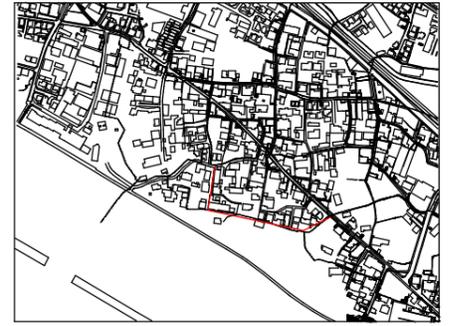
再生密粒度7.5mm t=50	 プライムコート 不陸整正(粒調砕石 t=30)
粒調砕石 t=100 (配管時施工)	

図番	2 / 3	着工番号	令和4年度
工事名	大久保町八木地内配水管布設工事		
図種	舗装復旧平面図		
場所	明石市大久保町八木地内		
縮尺	図示		
制作日			
設計者		製図者	

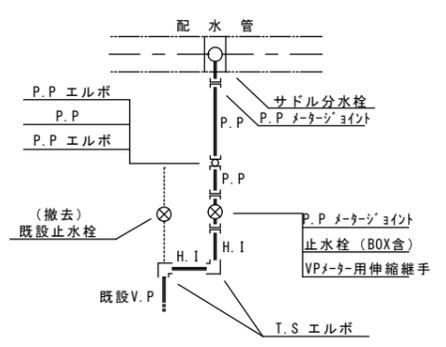
給水管切替平面図 S=1/300

給水管切替 $\phi 20$ 2箇所
 $\phi 25$ 1箇所

位置図 S = 1/ 5000



給水管切替図



図番	3 / 3	着工番号	令和4年度
工事名	大久保町八木地内配水管布設工事		
図種	給水管切替平面図		
場所	明石市大久保町八木地内		
縮尺	図示		
制作日			
設計者			製図者



見 積 参 考 図 書									
年 度	令和4年度	技術管理者	課長	係長	係長	精算者	設計者	第3次整備事業費	
工 事 番 号	04-1201							設 計 年 月 日	令和4年 10月26日
着 工 番 号			精 算 年 月 日	令和4年 10月26日					
施 工 理 由									
施 工 箇 所	明石市大久保町八木地内					施 工 方 法 及 び 工 事 期 限		<input type="checkbox"/> 請 負 単 価 契 約 令和5年7月20日まで	
工 事 名 称	大久保町八木地内配水管布設工事					支 払 い 方 法		前 払 金	あり (40%以内)
								中 間 前 払 金	あり (20%以内)
								部 分 払	あり (2回以内)
工 事 概 要	配水管布設工計 L=185.3m 配水管布設工 φ75 L=185.3m 仕切弁設置工 φ75 2箇所 消火栓設置工 φ75 1箇所 舗装復旧工 1式								
当初設計金額	円	消費税相当額	円	当初請負金額	円	消費税相当額	円		
変更設計金額	円	消費税相当額	円	変更請負金額	円	消費税相当額	円		
増 減	円	増 減	円	増 減	円	増 減	円		

総括情報表

単価適用年月日	0-04.10.01(0)		
工種区分 施工地域区分	今 回 01 開削工事及び小口推進工事 23 一般交通影響あり(2)	前 回	

工 事 費 内 訳 書

頁0-0002/0093

費目・工種・種別・細目	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
本工事費						
管路(開削)						
φ75管路						
φ75管布設工						
	1		式			工種 第0001号明細表
φ75管布設土工						
	1		式			工種 第0004号明細表
舗装復旧工						
	1		式			工種 第0006号明細表
給水管						
給水管布設工						
	1		式			工種 第0008号明細表
給水管布設土工						
	1		式			工種 第0011号明細表

工 事 費 内 訳 書

頁0-0003/0093

費目・工種・種別・細目	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
交通誘導員設置	1	式			工種 第0013号明細表
直接工事費計					
共通仮設費計					
準備費					
試掘調査	1	式			工種 第0016号明細表
技術管理費					
通水試験費	1	式			工種 第0017号明細表
共通仮設費率分					
純工事費計					

工 事 費 内 訳 書

頁0-0004/0093

	費目・工種・種別・細目	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
現場管理費			式			
工事原価計						
一般管理費等			式			
工事価格計						
消費税相当額			式			
総 計						

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
DGX-S 直管 φ 75×4000 ゴム輪・ロックリング(ホルダー含) 内面球形粉体塗装	45	本			K 管材費
DGX 曲管 φ 75×45° ロックリング含 内面球形粉体塗装	4	個			K 管材費
DGX 曲管 φ 75×11° 1/4 ロックリング含 内面球形粉体塗装	6	個			K 管材費
DGX 両受曲管 φ 75×45° ロックリング含 内面球形粉体塗装	2	個			K 管材費
DGX フランジ付きT字管 φ 75×75 ロックリング含 内面球形粉体塗装	1	個			K 管材費
DGX 短管1号 φ 75 ロックリング含 内面球形粉体塗装	1	個			K 管材費
ソフトシル仕切弁付割T字管 φ 75×75 密着コア(SUS製)含む	1	基			K 管材費
フランジ耐震金具 φ 75(3DkN以上)	1	組			
フランジ 接合補強具(LSP形) φ 75 7.5K LSPパッキン ボルト・ナット(SUS304製)緩み防止仕様	4	組			K 管材費

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
GX形ワトシール仕切弁(受挿し) φ 75 ロックリング含 内面エポキシ樹脂粉体塗装	2	基			K 管材費
仕切弁ボックス(円形1号)(H=740) 鉄蓋含む	3	組			施工 第0-0022号内訳表
ケレップ式単口消火栓(浅埋形) φ 75×65 JWWA B 103, 地下式, 単口式, 0.75MPa FCD 内外面エポキシ粉体塗装	1	基			K 管材費
フランジ短管 φ 75×150 0.75MPa 内面エポキシ粉体塗装	1	個			K 管材費
補修弁(キャップ式) φ 75×100 JWWA B 126, 0.75MPa FCD 内外面エポキシ粉体塗装	1	基			K 管材費
消火栓ボックス(円形3号)(H=640) 鉄蓋及び無収縮モルタル含む	1	組			施工 第0-0023号内訳表
GX形P-Linkセット φ 75 切管直管受用	2	組			K 管材費
GX形G-Linkセット φ 75 切管異形管受用	3	組			
GX形接合セット φ 75 異形管・V用	15	組			

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
GX形ライク φ 75 ライクボード`含	12	組			K 管材費
DGX 帽 φ 75 内面エポキシ粉体塗装	1	個			K 管材費
表示帯	185.3	m			
ポリエチレンスリーブ φ 75 固定材料含む	185.3	m			施工 第0-0024号内訳表
管明示テープ (幅50mm 1巻 20m) 年号入り エコマーク認定品	13	巻			
合 計	1	式			

手間

工種明細表

工種 第0003号明細表

頁0-0009/0093

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
鋳鉄管吊込み据付(機械力) 呼び径 75mm以下	184.3	m			施工 第0-0025号内訳表
鋳鉄管(新設管)切断工(エンジンカッター) ガクタイ鋳鉄管 呼び径75mm	3	口			施工 第0-0027号内訳表
不断水連絡工(φ75mm×φ75mm)	1	箇所			施工 第0-0028号内訳表
密着コア取付工 φ 75	1	個			
鋳鉄製仕切弁(機械力)設置 縦型仕切弁 呼び径 100mm以下	2	基			施工 第0-0029号内訳表
円形1号ボックス設置工(H=740) 鉄蓋設置含む	3	箇所			施工 第0-0030号内訳表
消火栓(地下式 単口)設置工 機械施工 フランジ 接合1口含む	1	箇所			施工 第0-0036号内訳表
フランジ継手 接合(呼び径 75(80)mm) JWWA 7.5K	3	口			施工 第0-0037号内訳表
円形3号ボックス設置工(H=640) 鉄蓋設置含む	1	箇所			施工 第0-0038号内訳表

手間

工種明細表

工種 第0003号明細表

頁0-0010/0093

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
G X継手接合(呼び径 75mm) 直管	44	口			施工 第0-0043号内訳表
G X継手接合(呼び径 75mm) P-Linkの接合	2	口			施工 第0-0044号内訳表
G X継手接合(呼び径 75mm) G-Linkの接合	3	口			施工 第0-0045号内訳表
G X継手接合(呼び径 75mm) 異形管	15	口			施工 第0-0046号内訳表
管明示シート工	185.3	m			施工 第0-0047号内訳表
ホリエフレンスリーブ被覆(呼び径 75mm)	185.3	m			施工 第0-0048号内訳表
管明示テープ工 φ75	185.3	m			施工 第0-0049号内訳表
合計	1	式			

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
舗装版切断(アスファルト舗装版) As舗装版厚→15cm以下	19	m			施工 第0-0001号内訳表
舗装版取壊し積込工 舗装厚⇒0cm越え 10cm以下	6	m ²			施工 第0-0002号内訳表
掘削積込工	110	m ³			施工 第0-0050号内訳表
掘削積込工(補助的作業なし)	0.9	m ³			施工 第0-0004号内訳表
掘削(人力) 土砂 現場制約あり	0.9	m ³			施工 第0-0051号内訳表
残塊処分工(アスファルト) 〔株明神リサイクルセンター〕 運搬距離 L=5.8km	0.3	m ³			施工 第0-0015号内訳表
残塊処分工(土砂) 〔田口建材〕 運搬距離 L=6.1km	110	m ³			施工 第0-0019号内訳表
仮復旧工〔密粒度〔再〕(13)〕 厚 5cm	6	m ²			施工 第0-0012号内訳表
路盤工(粒調碎石) 上層路盤 施工幅：1.8m 未満 仕上り厚10cm	6	m ²			施工 第0-0010号内訳表

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
舗装版切断(アスファルト舗装版) As舗装版厚→15cm以下	8	m			施工 第0-0001号内訳表
舗装版取壊し積込工 舗装厚⇒0cm越え 10cm以下	63	m ²			施工 第0-0002号内訳表
残塊処分工(アスファルト) 〔株明神リサイクルセンター〕 運搬距離 L=5.8km	3	m ³			施工 第0-0015号内訳表
不陸整正工(粒調碎石) 施工幅：1.8m 以上、補足材厚3cm	63	m ²			施工 第0-0052号内訳表
表層(車道・路肩部) t = 50mm 密粒度アスコン[再](13)	63	m ²			施工 第0-0054号内訳表
合 計	1	式			

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
PP管 φ20 二層管,1種(軟質)	5.0	m			K 管材費
給水管切替φ20 (材料) ダブル分水栓含まない	2	箇所			施工 第0-0055号内訳表
ダブル分水栓(鋳鉄用) φ 75×20 密着コア込	2	個			K 管材費
PP管 φ25 二層管,1種(軟質)	1.5	m			K 管材費
給水管切替φ25 (材料) ダブル分水栓含まない	1	箇所			施工 第0-0056号内訳表
ダブル分水栓(鋳鉄用) φ 75×25 密着コア込	1	個			K 管材費
表示帯	6.5	m			
管明示テープ(幅50mm 1巻 20m) 年号入り エコマーク認定品	1	巻			
合 計	1	式			

手間

工種明細表

工種 第0010号明細表

頁0-0018/0093

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
ポリエチレン管 据付 呼び径 20mm	5.0	m			施工 第0-0057号内訳表
給水管切替工(φ75~150×φ20)	2	箇所			施工 第0-0058号内訳表
ポリエチレン管 据付 呼び径 25mm	1.5	m			施工 第0-0064号内訳表
給水管切替工(φ75~150×φ25)	1	箇所			施工 第0-0065号内訳表
管明示シート工	6.5	m			施工 第0-0047号内訳表
管明示テープ工(ポリエチレン管) 呼び径φ50mm 天端明示無し	6.5	m			施工 第0-0071号内訳表
合 計	1	式			

土工

工種明細表

工種 第0012号明細表

頁0-0020/0093

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
掘削積込工					
	2	m3			施工 第0-0050号内訳表
掘削積込工(補助的作業なし)					
	0.7	m3			施工 第0-0004号内訳表
掘削(人力) 土砂					
	0.2	m3			施工 第0-0005号内訳表
残塊処分工(土砂) 〔田口建材〕 運搬距離 L=6.1km					
	3	m3			施工 第0-0019号内訳表
埋戻工(埋戻し材->再生切込碎石)					
	2	m3			施工 第0-0009号内訳表
埋戻工(埋戻し材->流用土)					
	0.7	m3			施工 第0-0072号内訳表
埋戻工(埋戻し材->スクリーニングス)					
	0.6	m3			施工 第0-0006号内訳表
合 計					
	1	式			

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
舗装版切断(アスファルト舗装版) As舗装版厚→15cm以下	6.0	m			施工 第0-0001号内訳表
舗装版取壊し積込工 舗装厚⇒0cm越え 10cm以下	2.0	m2			施工 第0-0002号内訳表
掘削積込工(補助的作業なし)	1.9	m3			施工 第0-0004号内訳表
掘削(人力) 土砂	1.0	m3			施工 第0-0005号内訳表
埋戻工 (埋戻し材→スクリーニングス)	1.0	m3			施工 第0-0006号内訳表
埋戻工 (埋戻し材→再生切込砕石)	1.6	m3			施工 第0-0009号内訳表
路盤工(粒調砕石) 上層路盤 施工幅:1.8m 未満 仕上り厚10cm	2.0	m2			施工 第0-0010号内訳表
仮復旧工 [密粒度[再](13)] 厚 5cm	2.0	m2			施工 第0-0012号内訳表
残塊処分工(アスファルト) 〔株明神リサイクルセンター〕 運搬距離 L=5.8km	0.1	m3			施工 第0-0015号内訳表

舗装版切断(アスファルト舗装版)
[規格1] As舗装版厚->15cm以下

[規格2]

積算単価算出表

施工 第0-0001号内訳表

頁0-0028/0093
1 m 当り

標準単価	代表機材規格		構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
K1		コンクリートカッタ 切削深20cm級 [ハキューム式・湿式]			コンクリートカッタ [ハキューム式・湿式] 20cm級			
K								
R1		特殊作業員			特殊作業員			
R2		土木一般世話役			土木一般世話役			
R3		普通作業員			普通作業員			
R								
Z1		コンクリートカッタ(プレート) 径22インチ			舗道版切断 カッタープレート 径22インチ			
Z2		ガソリン レギュラー スタンド			レギュラーガソリン			
Z								
					計			
積算単価 =								
A	舗装版種別	=1		アスファルト舗装版				
B	アスファルト舗装版厚	=1		15cm以下				

施工単価表

施工 第0-0004号内訳表

頁0-0030/0093

掘削積込工(補助的作業なし)

[規格1]	[規格2]	[摘要]	100	m3	当り
名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役		人			
バックホ運転		時間			
合計	100	m3			
単位当り	1	m3			

施工単価表

施工 第0-0006号内訳表

頁0-0032/0093

埋戻工（埋戻し材→スクリーングス）

[規格1] 名称・規格	[規格2] 数量	単位	[摘要] 単価	金額	備考
土木一般世話役		人			
普通作業員		人			
スクリーングス (0~2.5mm)		m3			
バックホウ運転		時間			
タンク運転（賃料）		日			
合 計	100	m3			
単 位 当 り	1	m3			
A 埋戻し材の種類 B バックホウ規格		=6 =3	スクリーングス バックホウ 山積0.28m3(平積0.2m3)		

施工単価表

施工 第0-0009号内訳表

頁0-0033/0093

埋戻工（埋戻し材→再生切込砕石）

[規格1] 名称・規格	[規格2] 数量	単位	[摘要] 単価	金額	備考
土木一般世話役		人			
普通作業員		人			
再生切込砕石 (0~30mm・0~40mm)		m3			
バックホ運転		時間			
クワ運転（賃料）		日			
合 計	100	m3			
単 位 当 り	1	m3			
A 埋戻し材の種類 B バックホ規格		=5 =3	再生切込砕石 バックホ 山積0.28m3(平積0.2m3)		

施工単価表

施工 第0-0012号内訳表

頁0-0035/0093

仮復旧工 [密粒度[再](13)]

[規格1]厚 5cm

[規格2]

[摘要]

100

m2

当り

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役		人			
特殊作業員		人			
普通作業員		人			
再生密粒度アスコン TOP13		t			
振動ローリ運転		日			
振動コンパクタ運転		日			
諸雑費		%			
合 計	100	m2			
単 位 当 り	1	m2			

施工単価表

施工 第0-0034号内訳表

頁0-0053/0093

レジンコンクリート製ボックス設置 (円形)

[規格1]円形1号 内径250 下部壁 高さ 300mm

[規格2]

[摘要]

1

個 当り

名称・規格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
普通作業員		人			
単 位 当 り	1	個			
A 作業区分		=1	設置		
B 規格		=1	1号 内径250		
C 調整箇所		=4	下部壁		
D 高さ		=5	高さ 300mm		

表層(車道・路肩部)
[規格1] t = 50mm

[規格2] 密粒度アスコン[再](13)

積算単価算出表

施工 第0-0054号内訳表

1
頁0-0072/0093
m2 当り

標準単価	代表機材規格	構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
K1	アスファルトフィニッシャ 舗装幅2.3~6.0m [ホイール型] 排出ガス対策型含			アスファルトフィニッシャ(排出ガス対策型含) ホイール型 舗装幅2.3~6.0m			
K2	タイヤローラ 質量8~20t 排出ガス対策型含			タイヤローラ(排出ガス対策型含) 8~20t			
K3	ロータローラ 質量10~12t [マカダム] 排出ガス対策型含			ロータローラ(排出ガス対策型含) マカダム 10~12t			
K							
R1	普通作業員			普通作業員			
R2	特殊作業員			特殊作業員			
R3	運転手(特殊)			運転手(特殊)			
R4	土木一般世話役			土木一般世話役			
R							
Z1	密粒度アスコン TOP20 t=50mm			再生密粒度アスコン TOP13			
Z2	アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用			アスファルト乳剤 PK-3(プライムコート用)			
Z3	軽油 1.2号 バトル給油			軽油			
Z							
				計			
積算単価 =							

施工単価表

施工 第0-0055号内訳表

頁0-0074/0093

給水管切替φ20（材料）

[規格1]サドル分水栓含まない

[規格2]

[摘要]

1

箇所
当り

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備	考
PPマーサジョイント φ20	2	個				K 管材費
VPマーサ用伸縮継手 φ20	1	個				K 管材費
止水栓 φ20	1	個				K 管材費
止水栓BOX 明石型 H=400	1	個				
PPエルボ φ20	2	個				K 管材費
HI エルボ φ20 JIS K 6743	2	個				K 管材費
PP管 φ20 二層管,1種(軟質)	0.5	m				K 管材費
HIVP管 φ20 JIS K 6742	0.5	m				K 管材費
単 位 当 り	1	箇所				

施工単価表

施工 第0-0056号内訳表

頁0-0075/0093

給水管切替φ25 (材料)

[規格1]サドル分水栓含まない

[規格2]

[摘要]

1

箇所
当り

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備	考
PPマーサジョイント φ25	2	個				K 管材費
VPマーサ用伸縮継手 φ25	1	個				K 管材費
止水栓 φ25	1	個				K 管材費
止水栓BOX 明石型 H=400	1	個				
PPエルボ φ25	2	個				K 管材費
HI エルボ φ25 JIS K 6743	2	個				K 管材費
PP管 φ25 二層管,1種(軟質)	0.5	m				K 管材費
HIVP管 φ25 JIS K 6742	0.5	m				K 管材費
単 位 当 り	1	箇所				

施工単価表

施工 第0-0072号内訳表

頁0-0091/0093

埋戻工（埋戻し材→流用土）

[規格1] 名称・規格	[規格2] 数量	単位	[摘要] 単価	金額	備考
土木一般世話役		人			
普通作業員		人			
流用土		m3			
バックホ運転		時間			
タンク運転（賃料）		日			
合計	100	m3			
単位当り	1	m3			
A 埋戻し材の種類 B バックホ規格		=2 =3	流用土 バックホ 山積0.28m3(平積0.2m3)		

